

第七十九回 帝國議會衆議院 民法中改正法律案外一件委員會議錄(速記)第七回

民法中二

第七十九回 帝國議會院 議會衆開議

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
不動産登記法中改正法律案（政府提出、
貴族院送付）

云フ意味ニ於テ私ハ質疑ヲ試ミタイノデアリマス、言換ヘマスレバ、此ノ法案ニ對シテ絶對的反對デアルト云フヤウナ考ヘハ持ツ

フコトニナリマスルト、是ハ甚ダ面白クナ
イ結果ニ陷ルノデアリマスルカラ、サウ云
フ點ニ付テ一ツ伺ツテ見タインデアリマ

付託議案審査終了ノモノヲ除ク
不動産登記法中改正法律案（政府提出、貴族院迄付）（第七八號）
戰時ニ於ケル領事官ノ裁判ノ特別法（政府提出、貴族院迄付）（第八一號）
ニ關スル法律案（政府提出、貴族院迄付）（第八二號）
戰時民事特別法律案（政府提出、貴族院迄付）（第八三號）
戰時刑事特別法案（政府提出、貴族院迄付）（第八四號）
裁判所構成法（政府提出、貴族院迄付）（第八五號）
貴族院迄付）（第八六號）

出席委員左ノ如シ	理事原 惣兵衛君	理事松木 弘君
理事鹽川 正藏君	理事山本 稲吉君	
池田七郎 兵衛君	池田 清秋君	
石坂 繁君	木村作次郎君	
高橋 義次君	池田	
内藤 正剛君	立川 平君	
服部 英明君	長井 源君	
松川 昌藏君	古島 義英君	
佐竹 晴記君	一松 定吉君	
三田村武夫君	北浦圭太郎君	
同日委員馬場元治君辭任ニ付其ノ補闕トシ テ曾木重貴君議長ニ於テ選定セリ		
出席國務大臣左ノ如シ		
出席政府委員左ノ如シ	司法大臣 岩村 通世君	
司法省民事局長	司法次官 岩村 通世君	
司法省刑事局長	大森 洪太君	
司法省調査部長	坂野 千里君	
司法書記官	池田 克君	
陸軍少將	齋藤 直一君	
陸軍少將 隆吉君	石田 壽君	

戰時ニ於ケル領事官ノ裁判ノ特例ニ關スル
ル法律案(政府提出、貴族院送付)
　　戰時民事特別法案(政府提出、貴族院送付)
　　裁判所構成法戰時特例案(政府提出、貴族院送付)
○野村委員長　是カラ開會致シマス——一
松君
○一松委員　私ハ司法省ガ時局ニ即應致シ
マシテ、戰時立法ノ一トシテ裁判所構成法
戰時特例案竝ニ戰時刑事特別法案、戰時民
事特別法案ヲ御提出相成リマシタ、其ノ御
精神ニハ全幅ノ敬意ヲ表スルモノアリマス
ス、而シテ此ノ法案中大部分ハ時局ニ即シ
タル法案トシテ、是亦機宜ニ適シタモノデ
アルコトヲ承認致スニ咨カナラナインノデア
リマス、併シナガラ此ノ各案ノ中ニ於キマ
シテ隨分世間ニ非難囂タル條項ナキニシ
モアラズデアリマス、又私共モ一應司法當
局、内務當局、其ノ他關係當局ノ詳細ナル
御考ヘヲ承リマシタ上デ、態度ヲ決定致シ
タイト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、サウ

テ居リマセヌ、概シテ賛成デアルガ、併シナ
ガラ疑義ヲ質シテ司法當局ノ決意ノ程ヲ伺
ウタ上デナケレバ、容易ニ賛成スルコトノ
出來ナイ事項モニ「三」ナキニシモアラズデア
リマス、其ノ點ヲ御尋ネ致シマスルニ依ツ
テ腹藏ナク御意見ヲ御發表アランコトヲ豫
メ御願ヒシテ置ク次第デアリマス

先づ第一ニ、今回ノ議會ニ御提出ニ相成
リマシタ豫算案法律案等ヲ大觀致シマスレ
バ、所謂戰爭目的完遂ノ爲ニ重點ガ置カレ
テ居ルト云フコトハ、總理大臣ノ豫算總會
ニ於ケル勝田委員ノ質問ニ對シマシテ、八
分ノ力ヲサウ云フ方面ニ使ツテ居ル、二分
ノ力ヲ他ノ行政方面ニ使ツテ居ルノデアル
ト云フ趣旨ヲ明カニセラマシタコトニ依
ツテ能ク分ルノデアリマス、又司法省ガ此
ノ戰時特別法案ヲ御出シニナルニ當リマシ
テ、司法大臣ノ御提案ノ趣旨ノ御説明ニモ
サウ云フコトガ窺ハレタノデアリマス、ソ
レデアリマスルカラ、其ノ所謂政府當局ノ
決意ト、之ヲ運用スル下僚ノ心構トニ付テ
出サレマシタ立派ナ時局法案ガ、實施セラ
ルル上ニ於テ豫期ノ效果ヲ發生シナイト云

先ツ司法省ノ是等ノ三案ニ付テ考ヘテ見
マスルニ、今私ガ申上ゲマシタヤウナ趣旨
ニ於キマシテ、所謂刑事ニ關シテ或ル犯罪
ヲ捜査スルト云フ事柄ニ關シマシテモ、此
ノ事件ヲ捜査スルコトガ戦争目的完遂ノ爲
ニ善イカ惡イカ、是ガ戦争目的完遂ノ爲メノ
目的ニ副フ所以デアルカドウカト云フコトヲ、
捜査官ノ頭ニ入レテ仕事ヲシナケレバナラ
ヌト思フノデアリマス、又刑事案件ヲ起訴
スル時ニモ、起訴官デアリマスル檢察當局
ニ於テハ、其ノ點ニ重點ヲ置イテ考ヘナケレ
バナラヌト思フノデアリマス、裁判官ガ
裁判ヲ爲ス上ニ於テモ、此ノ事案ニ對シテ
ハ斯ウ云フヤウナ判決ヲ下スノガ、此ノ戰
爭目的完遂ノ爲ニ適當デアルカドウカト云
フコトヲ、常ニ頭ニ置イテ裁判ヲシナケレ
バナラナイト思フノデアリマス、又判決ノ
ドウカト云フコトヲ先ツ一番ニ頭ニ置イテ
執行ヲスル上ニ於テモ、ヤハリ此ノ執行方
法ガ此ノ戰争目的完遂ノ爲ニ適當デアルカ
ベナラヌト私ハ確信シテ居ルノデアリマス、
今是等ノ諸點ニ付キ例ヲ擧ゲテ申上ゲマス

ルナラバ、例へバ或ル事件ニ付テ、之ヲ檢舉シヨウト云フ考ヘテ臨ミマスル時ニモ、之ヲ檢舉スルコトソレ自體ガ、此ノ戰爭目的完遂ノ爲ニ喫緊ニシテ必要缺クベカラザルモノデアルカドウカト云フコトヲ頭ニ置イテ檢舉スルノト、只漫然茲ニ或ル違反事件ガアルカラ、之ヲ爬羅剔抉シテ、法ニ照シテ處分シ、將來斯ル違反ナカラシメルヤウニシヨウト云フ考ヘトノ間ニハ、心構ヘノ點ニ於テ、立法ノ精神ニ於テ、法ノ運用ニ於テ非常ナル相違ノアルコトヲ發見スルノデアリマス、即チ犯罪ガアルカラ檢舉スルニテ、立場ノ精神ニ於テ、法ノ運用ニ於テ非常ナル相違ノアルコトヲ發見スルノデアリマス、即チ犯罪ガアルカラ檢舉スルト云フコト下ト、此ノ犯罪ヲ檢舉スルコトニ依ツテ、戰爭目的完遂ノ爲ニ資ゼントスルト云フコトハ、非常ニ相違ガアルノデアリマス、犯罪ヲ檢舉スルコトニ依ツテ戰爭目的完遂ノ爲ニ一大障礙ヲ來スノデアルト云フヤウナ場合ニハ、檢舉ノ手控エヲスルト云フヤウニモ考ヘテヤラナケレバ、此ノ臨時議會ヲ召集シタコトヤ、戰時議會トシテ戰時立法、戰時豫算ト云フコトニ重點ヲ置イテヤツタト云フコトガ、全ク下僚ノ處置如何ニ依ツテ躊躇セラレルト云フ結果ヲ招來スルト思フノデアリマス、例へバ茲ニ一ツノ經濟事犯ガアツテ、之ヲ檢舉スルコトニ依ツテ、此ノ工場ガ陸海軍ノ管理工場デアルガ、其ノ主任ガ戰爭目的完遂ノ爲ニ重要ガル任務ヲ遂行シ得ル人デアル、今之ヲ檢舉スルコトニ依ツテ此ノ工場ガ非常ナルノデアルト云フ場合ニハ、ソコニ手心ヲ打擊ヲ蒙リ、隨テソレガ軍需品ノ製作ニ重大影響ヲ及ボスノダ、サウスレバ戰爭目的ヲ完遂スルコトト、此ノ檢舉トハ相反スルノデアルト云フ場合ニハ、ソコニ手心ヲ加ヘル、ソウカト云ツテソレヲ放任スルコトハ必トハ出來マセヌカラ、捜査ヲスルコトハ必

要デアリマスガ、捜査ノ上デ諄々ト不心得ヲ說イテ、斯タノ如キヨトナカラシムルヤウニ、十分其ノ目的ヲ達スルノデアリマス、然ルニサウ云フ心構ヘガナクテ、經濟違反ヲヤツタカラ云ツテ、直グソレヲ連レテ來テブチ込ンデ、如何ニモ非國民ノ行爲ヲシテ居ルト云フヤウナコトガ、實在スルコトヲ承知シテ居ルノデアリマス、斯様ナ點ニ對シテハ捜査官ヤ起訴官ニ於テ餘程注意ヲシナケレバナラヌ、又裁判官ガ判決ヲナス上ニ於キマシテモ、之ヲ起訴サレタ以上ハ罪ヲ犯シタモノデアルカラ、無罪ノ裁判ハ出來ナイ、サウカト云ツテ之ニ體刑ヤ實刑ヲ科スルト云フコトハ、戰爭目的完遂ノ上ニ於テ相反スル結果ニナルカラシテ、本人自身ハ一層君國ノ爲ニ勵クコトノレガ即チ戰爭目的完遂ノ爲ニ合致シタ良イシウ、之ニ付テハ罰金刑ヲ言渡サウ、サウシテ本來ルヤウニシテ貴ハナケレバナラヌ、ソ判決デアルト云フ考ヘヲ以テ裁判スルト云フコトト、唯違反行為ガアルカラシテ之ニ對シテ法文ノ上ニ規定セラレテ居ル體刑罰金刑ヲ科スレバ、ソレデコト足リルト云フ考ヘデ裁判スルト云フコトハ、ソコニ戰爭目的完遂ノ爲メノ手段方法トシテ霄壤ノ相違ヲ生ズルノデアリマス、又判決ノ執行ニ違テモサウデアリマス、例へべ有罪ノ判決ヲ言渡シタ、サウシテ此ノ人ガ既決囚トシテ下獄シタ、サウ云フ時ニ法律ノ所謂三分ノ一ノ刑期ヲ済マセタナラバ、直チニ假出減ノ處ハナイト云フ風ナ心掛テ以テ取調ニ

要ノ爲ニ、此ノ有爲ノ人物ヲ使ハナケレバナラスト云フ考ヘヲ以テスレバ、刑期三分ノ一ガ到來スレバ直チニ之ヲ假出獄シテヤル、左スレバ其ノ者ノ有スル特別ノ技能ヲ發揮シテ君國ノ爲ニ御用ニ立テルト云フコトガ出來ル、然ルニ左様ナコトハ少シモ考テヤツタカラ直グ引張ツテ來テ、其ノ來テブチ込ンデ、如何ニモ非國民ノ行爲ヲシテ居ルト云フヤウニ思ハレル、經濟ハ暴行凌辱ヲ加ヘテ、之ヲ檢舉シテ得ニトヤツタカノ如ク罵詈讒謗ヲ加ヘ、甚ダシキシテ居ルト云フヤウナコトガ、實在スルコトヲ承知シテ居ルノデアリマス、斯様ナ點ニ對シテハ捜査官ヤ起訴官ニ於テ餘程注意ヲシナケレバナラヌ、又裁判官ガ判決ヲナス上ニ於キマシテモ、之ヲ起訴サレタ以上ハ罪ヲ犯シタモノデアルカラ、無罪ノ裁判ハ出來ナイ、サウカト云ツテ之ニ體刑ヤ實刑ヲ科スルト云フコトハ、戰爭目的完遂ノ上ニ於テ相反スル結果ニナルカラシテ、本人自身ハ一層君國ノ爲ニ勵クコトノレガ即チ戰爭目的完遂ノ爲ニ合致シタ良イシウ、之ニ付テハ罰金刑ヲ言渡サウ、サウシテ本來ルヤウニシテ貴ハナケレバナラヌ、ソ判決デアルト云フ考ヘヲ以テ裁判スルト云フコトト、唯違反行為ガアルカラシテ之ニ對シテ法文ノ上ニ規定セラレテ居ル體刑罰金刑ヲ科スレバ、ソレデコト足リルト云フ考ヘデ裁判スルト云フコトハ、ソコニ戰爭目的完遂ノ爲メノ手段方法トシテ霄壤ノ相違ヲ生ズルノデアリマス、又判決ノ執行ニ違テモサウデアリマス、例へべ有罪ノ判決ヲ言渡シタ、サウシテ此ノ人ガ既決囚トシテ下獄シタ、サウ云フ時ニ法律ノ所謂三分ノ一ノ刑期ヲ済マセタナラバ、直チニ假出減ノ處ハナイト云フ風ナ心掛テ以テ取調ニ

要ノ爲ニ、此ノ有爲ノ人物ヲ使ハナケレバナラスト云フ考ヘヲ以テスレバ、刑期三分ノ一ガ到來スレバ直チニ之ヲ假出獄シテヤル、左スレバ其ノ者ノ有スル特別ノ技能ヲ發揮シテ居ルト、サウ云フ考ヘヲ持ツテ事ニアルト思フ、然ルニ吾々ガ實際野ニ在ツテ見テ居ルト、サウ云フ考ヘヲ持ツテ事ニ當ツテ居ル人ガ少イヤウニ思ハレル、經濟事犯ヲヤツタカラ直グ引張ツテ來テ、其ノ證據が固マルマデハ投リ込ンデ置イテ、サウシテ裁判ニ廻セバ法文ノ命ジタ通り體刑、罰金刑ヲ言渡セバ宜イ、其ノ裁判執行ガ犯人ニドウ云フ影響ヲ及ボスカ、其ノ人ヲ處罰スルコトガ戰爭目的完遂ニドウ云フコトニ歸スルノデアリマス、又検査ヲスルトコトニ付テ申シマスナラバ警察官ヤ檢事等ガ或ル犯人ヲ喚出シテ取調べル、其ノ犯人ハ自白シタ、證據湮滅ノ虞ハナイト云フ云フコトヲ、少シモ頭ニ入レナカツタト云フコトニ歸スルノデアリマス、又検査ヲスルトコトニ付テ申シマスナラバ警察官ヤ檢事等ガ或ル犯人ヲ喚出シテ取調べル、其ノ犯人ハ自白シタ、證據湮滅ノ虞ハナイト云フ場合ニ之ヲ留置シテ、何時マデモ歸サナイ、等ガ或ル犯人ヲ喚出シテ取調べル、其ノ犯人ハ自白シタ、證據湮滅ノ虞ハナイト云フ場合ニ之ヲ留置シテ、何時マデモ歸サナイ、等ガ今旅行中デ取調べガ出來スカラ、其ノ證人ハ自白シタ、證據固メシタ上デナケレバ之ヲ釋放スル譯ニ行カヌト云フノデアル、所ガ其ノ證人ガ今旅行中デ取調べガ出來スカラ、其ノ證人ハ自白シタ、證據固メシタ上デナケレバ之ヲ釋放スル否ヲ決スル、先ヅソレマデハ犯人ヲ出サナイデ監禁シテ置クト云フコトニナル、サウ云フ場合出来ナイト云フコトニナル、サウ云フ場合ノ間戰爭目的完遂ノ爲メノ必要ナル仕事ハ出来ナイト云フコトニナル、サウ云フ場合ニ、此ノ證人ガ旅行シテ居テ何時歸ツテ來ルカ分ラナイガラ、此ノ人ヲ一日長ク留メテ置クコトニ依ツテ戰爭目的完遂ノ爲メノ仕事が一日遲レルコトニナル、ソレハ時局ニ戰爭目的完遂ノ爲メノ手段方法トシテ霄壤ノ相違ヲ生ズルノデアリマス、又判決ノ執行ニ違テモサウデアリマス、例へべ有罪ノ判決ヲ言渡シタ、サウシテ此ノ人ガ既決囚トシテ下獄シタ、サウ云フ時ニ法律ノ所謂三分ノ一ノ刑期ヲ済マセタナラバ、直チニ假出減ノ處ハナイト云フ風ナ心掛テ以テ取調ニ

居リマス、獨り經濟事犯ト云ヘズ、改悛ノルダケ速カニ社會ニ復歸セシメテ、各々其シテ居ル積リデアリマス、裁判ノコトハ御承知ノ通り法令ニ依ツテ裁判官ガ獨自ノ考ヘヲ以テ裁判ヲ致スモノデアリマスカラ、裁判ノコトハ私言及致シタクナイノデアリマス、捜査ニ付キマシテハ御説ノ通り出來得ルダケ速カニ取調ヲ適正ニ終了致シマシテ、一日デモ二日デモ早ク其ノ職域ニ於テ御奉公ガ出來ルヤウニシナケレバナラナイト云フコトハ、御述ベニナツタ通リデアリマシテ、又將來サウ云フ方面ニ付テ十分注意ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○一松委員 大臣ノ御趣旨ノアル所ハ能ク分リマシタ、又サウナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、所ガ大臣若シクハ司法省ノ所謂最高幹部ノ方々ハ皆サウ思テ居ル、是ハ私信シテ疑ヒマセヌガ、私ノ憂ヘル所ハ其ノ御趣旨、其ノ御精神ガ下僚ニマデ徹底シテ居ナイト云フコトデアル、ソレヲ下僚ニ徹底スルヤウニシテ戴キタイ、ソレハ所長検事正會同、院長、檢事長會同等ニ於テソレヲ御訓示相成ルトカ御懇談ナサルト力云フコトガ從來行ハレテ居ルコトデアリマスカラソレハ結構デアリマスガ、ソレ以外ノ判檢事即チ直接其ノ衝ニ當ル所ノ裁判長、部長、次席檢事、上席檢事ト云フヤウナ方ヲ、事ニ觸レ物ニ接シテ、或ハ本省ニ召喚シ、或ハ本省カラ地方ニ出張シテ、ソレ等ノ方ヲ直接會合セシメテ懇々ト本省ノ意ノアル處ヲ御諭シニナツテ、其ノ意思方ノ職域ニ於テ御奉公ノ出來ルヤウニシタイト云フコトデ、假釋放ノ適用ハ相當ニ厲行シテ居ル積リデアリマス、裁判ノコトハ御承知ノ通り法令ニ依ツテ裁判官ガ獨自ノ考ヘヲ以テ裁判ヲ致スモノデアリマスカラ、

ウニ御手配ヲ願ヒタク、斯ウ云フコトヲ望ムノデアリマス、今司法大臣ハ捜査及び刑ニ付テハサウ云フ意見モ言ヘルガ、裁判ノコトニ付テハ不羈獨立ノ裁判官ニハ出来ヌコトデアルト云フヤウナ御趣旨ノ御話ガアリマシタガ、私ハ其ノ點ニ付テハ少シ不满ヲ感ズルノデアリマス、裁判ニ付テモ所謂個々獨立ノ事件ニ付テ裁判官ノ裁判ニ干渉スルヨコトノ出來ナイコトハ勿論デアリマスケレドモ、司法大臣ハ裁判官檢事等ニ對シテハ行政監督ノ職權ヲ持チニナツテ居ルノデアリマスカラ、判事ニ對シ或ル特別ノ事件ニ對シ、斯ウセイアセイデハイケマセヌケレドモ、抽象的ニ斯ウ云フヤウナ事件ニ就テハ斯ノ如キ趣旨ヲ裁判ノ上ニ織込マナケバイケナイ、斯ウ云フヤウナ趣旨ガ裁判官ノ頭ノ中ニナケバイケナイト云フガ如キゴトハ、不羈獨立ヲ害スルコトハナイノデアリマスカラ、十分出來ヨウト思フノデアリマス、故ニ私ハサウ云フコトヲシテ戴キタイ、之ヲ御願ヒスルノデアリマスガ如何デゴザイマセウカ。

アリマスト、是ハ注意シナケレバナラヌコトモアラウカト思ヒマスガ、一般的ニ司法制度ノ運用ノ點、或ハ法律ノ解釋ト云フヤモ此ノ法律ヲ御協賛下サイマシタナラバ、ウナ點ニ付キマシテ協議スルコトハ差支ヘナイ、是ハ從來モヤツテ居リマスシ、今回モ此ノ法律ヲ御協賛下サイマシタナラバ、皆集メルヤウニ實ハ豫算モ取ツテ準備致シテ居リマス、左様御諒承願ヒマス

○一松委員 能ク分リマシタ、只今大臣ノ御言葉デアリマスガ、ドウモ本省ノ最高幹部ノ方ノ考へテ居ルコトト、之ヲ運用スル地位ニ在ル下僚ノ判檢事若シクハ司獄官等ノ者ガ往々ニシテ食ヒ違フヤウナコトガ今日マデアツタト思ハレルノアリマス、例ヘバ經濟事犯ニ付テハ嚴罰主義デ臨ムト云フコトヲ或ル司法大臣ガ閣議デ報告シタ、ソレヲ院長、檢事長會議、所長、檢事正會議デヤツタ、所ガ或ル裁判官、或ル檢事ナドハ嚴罰主義ダト云フ司法大臣ノ趣旨ヲ誤解シテ、御承知ノ通りニ總動員法或ハ輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律違反等ノ犯罪ニ對シテ極刑主義ヲ奉ジテ、法定刑ノ極刑ヲ科シ、徵役一年罰金五千圓ト云フ風ニ裁判ヲ言渡シ、世人ヲ戰ギ畏レシメタコトガアツタヤウニ思ヒマス、サウ云フコトガ裁判ノ實際ノ上ニ於テ在野ノ法曹等カラ非常ニ非難セラレ又議會等ニ於テ司法當局ニ説明ヲ求メタリシタ結果、ソレハ全ク重點主義ダ、拔本塞源主義ダ、ソレハ所謂百戒一罰主義ダト云フヤウナコトガ段々明カニセラレテ、ソレガ地方ニ浸潤スルニ從ツテ徐々ニサウ云フ弊害ガナクナツタコトモ喜ンデ居ルノアリマスガ、初メハサウ云フヤウニ非常ニ嚴罰主義デ、重ク罰スレバ宜イト云フヤウナコトガアツタ爲ニ、非

常ニ國民ヲシテ畏怖セシメタノデアリマス、極
ク抽象的ニ申上ゲマスガ、或ル造船所ノ所
長竝ニ専務等ガ第三者ヨリ造船ノ註文ヲ受
ケタ、其ノ船舶ハ御用船トシテ支那南洋方
面ニ活躍スル任務ヲ負ハサレテ居ル、ソレ
ガ爲ニ毎日監督官ガヤツテ來テ其ノ竣工ヲ
急ガセテ居ル、所ガ造船ニ必要ナル「カ一
バイド」メ配給ガナイ、勿論三井トカ三菱、
川崎ト云フヤウナ大キナ造船所ニハアルケ
レドモ、小サイ造船所デアツタガ爲ニ、非
常ニ迂闊ナ話デアルケレドモ、遞信省アタ
リガ深ク意ヲ用ヒテ居ナカツタ爲ニ「カ一
バイド」ノ配給ガナイ、「カーバイド」ガナ
ケレバ御承知ノ通り鋼鐵ヲ切ツタリ接イダ
リスルコトガ出來ナイ、然ルニ一面ニハ造
船契約ニ定メラレタ引渡期間ニ遅ルレバ損
害賠償ヲ取ラレル、サウシテ陸海軍ノ方カ
ラハ早ク持ヘロ、早ク持ヘロト云ツテ催促
サレル、已ムヲ得ズ重役ガ相談ノ上デ閣ニ
「カーバイド」ヲ手ニ入レタ、サウシテ船ヲ
拵ヘテソレヲ盛ニ陸海軍ノ輸送船其ノ他
物資ノ輸送等ニ當ラシメテ、國家ニ貢獻
スル所非常ニ多カツタ、ソレガ警察ニ檢
舉サレタ、今ノヤウナコトヲ明カニシタ
ニ拘ラズ、警察官モ檢事モ之ヲ長間拘留
シテ保釋ヲ許サナイ、公判ニナツテ初メ
テ保釋ガ出來タ、裁判所ハ判決ヲナスニ
當リ事情ヲ斟酌シテ執行猶豫ノ言渡シト罰
金刑ヲ科シタ、ソレハイカヌト言ツテ檢事
ガ控訴シタト云フヤウナ事案ガアル、辯護士
ハ今私ノ言ツタヤウナコトヲ法廷ニ於テ強
調シタ結果、結局裁判所モ國家戰爭目的完
遂ノ爲ニ働くセルコトガ宜イト云フノデ、
一審判決ヲ是認シテ執行猶豫ヲ與ヘタ、

斯ウ云フヤウナコトハ結局私ガ今申上ゲ、司法大臣ノ御答ヘニナリマシタヤウナコトガ、下僚ニ徹底シテ居ナイ證據ダト私ハ思フ、又或ル會社ノ重役ハ鐵屑デ鑛山ノ粉碎機ヲ盛シニ持ヘテ國家目的完遂ノ爲ニ地下資源開發ニ必要ナル機械ヲドンヽ供給シタ、所ガソレガ會社ノ創立ガ新シイ爲ニ實績ガナイ、實績ガナイ爲ニ屑鐵ノ配給ガ少イ、幸ヒニ屑鐵ヲ賣ル者ガアツタカラ、已ムヲ得ズ其ノ屑鐵ヲ闇デ買ツテ地下資源開發ニ必要ナ機械ヲドンヽ造ツタ、鑛山ハソレニ依ツテ地下資源ヲ開發シテ、政府カラ御褒美ヲ貰ツタト云フヤウナ事例ガアルニ拘ラズ、屑鐵ヲ闇デ買ウタカライケント云フノデ、之ニ體刑ヲ科シテ執行猶豫ヲ與ヘルト云フヤウナコトヲシナカツタ、被告ハ控訴シタガ、控訴審ニ於テ少シバカリ、減刑シタケレドモ依然實刑ノ言渡フシタ、斯ウ云フ例ハ私ノ知ツテ居ル所テ十指ヲ屈スルニ足ル程アルノデアリマス、此ノ戰爭目的ヲ達成スルノニハサウ云フ心掛ケデハイケナイ、所謂平時ノ際ニ事件ヲ扱フト同ジヤウナ心掛ケデハイケナイ、戰時立法デアリ、戰時ニ對スル裁判デアルガ故ニ、此ノ戰爭目的完遂ノ爲メノ行動ニ背弛シナイノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ付キマシテハ今大臣ノ御話ニナリマシタヤウニ、ソレゞ判檢事ノ實務家ヲ本省ニ招集シ、若シクハ地方ニ本省カラ出張セラレテ、能ク臣ノ理解アル御答辯ヲ伺ツテ私ハ満足ト致

スノデアリマス、ドウゾ急速ニヤツテ戴カ
スト、折角此ノ法案ガ通過シテモ、形ノ上
ダケヲ見テ、形ノ上デ裁判シ、形ノ上デ執
行スルト云フコトデアルト、却テ弊害ガ多
イノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テモウ一
應御言明ヲ願ツテ置キマス

○大森政府委員 只今ノ御質問ニ付キマシ
テハ事務的ノ問題モ多少含マレテ居リマス
ルカラ、便宜私カラ御答ヘヲ致シタイト存
ズルノデアリマス、前回ニモ申述ベマシタ
通り、斯様ナ案ヲ以テ臨ミマスルニ付キマ
シテハ私共相當深刻ナ用意ト覺悟ヲ致シ
テ居ルノデアリマス、幸ヒニ御協贊ヲ經マ
シテ公布實施ノ曉ニ相成リマスナラバ、其
ノ直後ニ於テ全國監督官ヲ會同致シマシテ、
更ニソレニ引續キマシテ、第一線ニ働イテ
居リマスル判事、檢事ノ會同ヲ數回若シク
ハ十數回ニ瓦ツテ開催シタイ積リデアリマ
ス、現ニ此ノ種ノ會同ニ付キマシテハ、私
共ハ多少ノ費用ノ豫定モアリマシテ、現ニ
昨年二十回ニ近イ會同ヲ催シテ居リマス、
併シ斯様ナ案ガ若シ通過シマスナラバ、是コ
ソ最モ重大ナ事デアリマスカラ、之ニ倍加
シテ盛ニニ會同ヲ催シタイ、斯様ニ考ヘテ
居リマスノミナラズ、私共モ出來得ル限り
地方ニ出張致シマシテ、實務家ト胸襟ヲ披
イテ懇談ヲスル積リデアリマシテ、現ニ私
ノ如キモ行脚憎ノヤウナ氣持ヲ以テ一ツ歩
イテ見タイ、斯様ナ決心ヲシテ居ル次第デ
アリマス、右御諒承ヲ願ヒマス

○一松委員 只今司法當局ノ御考ヘニハ私
ハ満幅ノ敬意ヲ表スルノデアリマスガ、ド
ウモ實際ノ上ニ行ハレヌト云フコトヲ憂フ
ルノデアリマス、ソコデ私一ツ御註文申上
ゲテ置キタイコトハ、今私共ノ考ヘト司法

當局ノ御考ヘガ同ジデアルト云フ以上ハ、サウ云フヤウナ戰爭目的完遂ノ爲ニ必要ナ人物ヲ例ヘバ拘束シテ居ルト云フヤウナ時ニハ、成タケ之ヲ早ク出監スル、保釋等ヲシテ遠慮ナク斷行シテ戴キタイ、今マデノ實際ヲ見マスト、第一回ノ公判ガ濟マナイト、サウ云フ有爲ノ人モ保釋ヲ許サナイト云フヤウナ弊害ガアル、恐ラク是ハ東京ノ裁判所ニ一二手ヲ入レテ見テモ直グ分ル、サウ云フヤウナ人ヲ早ク出サナケレバナラスノニ拘ラズ、先づ第一回ノ口頭辯論ヲ開イテ、被告ガドウ云フ答辯ヲスルカ聽イテ見タ上デナケレバ出サナイト言フ、檢事モ判事モサウ云フ考ヘヲ持ツテ居ル、是ハ非常ニ古イ頭デス、ソレカラ假出獄ハ只今司法大臣ノ御答ヘデ能ク分リマシタガ、接見禁止ノ必要ノナイ者ヲ接見禁止ラスル、ソレガ爲ニ工場ノ仕事ラドウシヨウカ、斯ウ云フヤウナ海軍・陸軍カラ註文ガアツタガ、之ニ付テハドウシヨウカ、工員ニ對スル獎勵ノ方法ハドウシヨウカ、斯ウ云フヤウニ人手ガ足ラナイカラドウシヨウカト云フヤウナ事デ、關係アル人ガ面會ヲ求メテモ面會ヲ許サナイ、何回モノヽ辯護士ガ面會ヲ求メテモ、面會ヲ許サナイ、何モ面會ヲ滅ラシタト云フ例モナキニシモアラズデアリマスガ、既ニ檢事ヤ判事ガ調べテ、其ノトノ例モアルヤウニ、目ヲ以テ色々證據湮没シタト云フ例モナキニシモアラズデアリマスガ、既ニ檢事ヤ判事ガ調べテ、其ノ事犯ノ自白ヲシテ居ルヤウナ者ニ、關係者若シクハ辯護士ガ面會ニ行ツタカラト言ツベ、證據湮滅ガ出來ル筈ノモノデハアリマセス、若シソレデモ證據湮滅フシヨウト云ニハ、辯護士ガアルナラバ、是コソ立派ナ懲罰

問題デアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ付テ
成タケ接見禁止ノ緩和ヲシテ戴キタイ、ゾ
レカラ強制處分ニ付シテ居ルヤウナ者ハ、
検事ガ一々立會ハナケレバ面會サセナイ、
或ハ檢事ノ同意ヲ得ナケレバ面會サセナイ
ト云フコトハ不都合千萬デアル、サウ云
フヤウナコトハ刑事訴訟法ノ規定ニアリマ
セヌ、サウ云フヤウナコトヲヤツテ居ルノ
デアリマスカラ、今司法大臣、大森次官ノ
御話ニナリマシタヤウニ、斯ウ云フ點ニ付
キマシテモ十分緩和シテ要ハ戰爭目的完遂
ノ爲ニ君方ヲ裁判スルノダ、執行ヲスルノ
ダト云フ考ヘヲ、總テノ判檢事、司法官ノ
頭ニ打込ンデ戴キタイト云フコトヲ希望致
シマシテ、更ニ質問ヲ進メマス

其ノ次ニハ判檢事ノ素質ノ改善デアリマ
ス、是ハ每議會ニ於テ委員ノ質問ガアリ、
每議會ニ於テ司法當局カラ御答ヘガアリ、
判檢事ノ素質ノ改善ト云フコトニ付テ、一
ツモ異存ノアル者ハアリマセヌ、所ガ今日
未ダニ私共ノ満足スルヤウナコトニナツテ
居ナイノデハナイカト私ハ思フ、ソレハ色
色ノ事情モアリマセウガ、ドウシテモ優秀
ナ人ヲ判檢事ニ採ラナケレバナラナイ、優
秀ナ人ヲ採ルノニハ判檢事ノ待遇ヲ好クシ
ナケレバナラヌ、待遇ヲ好クスルト云フコ
トハ、詰リ俸給其ノ他ノ諸給與竝ニ位階勳
等トカ云フヤウナコトニ付テ、考慮ヲ拂ハ
居ナイト思フ、此ノ點ハ安心シテ居リマス
ガ、如何ニ位階勳等ガ高クテモ、ソレ等ノ
法官ニ對シマスル位階勳等ト云フコトハ、
他ノ官省ニ比較シテ、私ハ勝ルトモ劣ツテ
育ト云フコトニ付テ十分ニ満足スルダケノ
一家ノ財政ノ維持ト云フコトヤ、子弟ノ教

給與方ナカツタラ、ヤハリ昔ノ武士ハ食ハ
ネド高楊子ト云フコトデハイカヌ、私ガ司
法官ヲシテ居ツタ時、私ノ大先輩ハ、オ前
方ハ金儲ケヲシタイト思フナラバ辯護士カ
會社ノ役員ニナレ、オ前方ガ苟クモ國家ノ
重責ヲ負ツテ、君國ノ爲ニ働くカウト思フナ
ラバ法官ガ宜イカラヤレ、其ノ代リ粥雜
炊ヲ啜ツテ暮スコトヲ考ヘナケレバイカン
ゾト言ハレタノデアリマシテ、ソレハ洵ニ
有難イ言葉デアルガ、併シナガラ法官モ
ヤハリ人デアリマスカラ、相當ナ待遇ヲ與
ヘ、相當ノ地位ノ向上ヲ圖ルト云フヤウナ
コトガ、私ハ最モ必要デアラウト思フノデ
アルガ、ドウモマダ俸給ニシテモ諸給與ニ
シテモ、他ノ行政官ニ比較シテ平均額ガ安
イト思フ、斯ウ云フ點ニ付テハ常ニ吾々ハ
司法省ニ御願ヒシ、ドウモ司法省ハ人事ニ
關スル俸給等ニ對スル豫算ノ取り方方下手
ダト云フコトハ、一昨日大森次官ノ言ハレ
タヤウニ本當ダト思フ、ドウカ、ソレ等ノ
點ハ十分他ノ官省ト交渉シテ、法官ト
云フモノハ、大變重大ナル任務ヲ持ツテ居
ツテ、他ノ行政官ト比較シテ勝ルトモ劣ル
コトノナイ點ヲ高調シテ、人數ガ多イカラ
俸給ハ云々、ソンナコトデヤナイ、司法
官ノ一舉ハ民衆ニ重大ナル影響ノアル
モノデアル、國家ノ盛衰ニ重大ナ影響ガア
ルコトデアル、社會秩序維持ニ最モ必要ナ
モノデアルト云フヤウナコトヲ能ク他ノ閻
僚等ノ頭ニ打込ンデ、サウシテ法官ノ待
遇ヲ良クスルト云フコトニ付テ是非私ハ實
現シテ貰ヒタイ、サウ云フコトニ付キマシ
テハ、此ノ前三宅次官ノ時ニモ要望シテ置
キマシタガ、官舍ノ給與ニシテモ、所長、檢事
正ノ官舍ハ地方到ル處ニアルヤウデアリマ

スガ、東京ニ於テ見レバ院長、檢事長、大
審院長、檢事總長トカ云フ人々ニハ官舍ハ
ナイ、其ノ他ノ樞要ノ地位ニ在ル人ノ官舍
モナイ、ソレガ爲ニ地方ニ居ル人ガ東京ニ
榮轉シテ來ルケレドモ、收入ノ上カラ今マ
デ官舍代金ヲ拂ハナイデ濟シダノガ、東京
ニ轉任スルコトニ依ツテ住宅ノ費用ヲ拂ハ
ナケレバナラズ、ソレガ爲ニ一級モ二級モ
コトデハ、本當ニ安ンジテ業務ニ從事スル
コトガ出來スト思ヒマスノデ、斯ウ云フヤ
ウナ官舍ノナイ所ハ住宅料、或ハ土地ニ依
ツテハ在勤手當ト云フヤウナモノヲ出シテ
戴キタイ、ソレカラ賞與等モ、私自分ニ子
モアレバ、司法官モアレバ、實業家モアル、
司法官ガ一番賞與ガ少イ、私ノ娘婿ハ數人
居リマスガ、或ル者ハ他ノ官廳ノ課長ヲシ
テ居テ、賞與ガ少クモ年ニ二千圓、或ル者
ハ僅カニ二百圓、甚ダシキハ百圓ト云フ
ハ實務家トシテ實業ニ從事シテ居ルガ、年
ニ少クトモ四、五千圓アル、司法官ノ或ル
者ハ僅カニ二百圓、甚ダシキハ百圓ト云フ
ヤウナコトデ、是デハ司法官ノ威信ヲ高メ
ルトカ、司法官ガ安ンジテ其ノ職ニ從事ス
ルト云フヤウナコトハ出來ナイ、隨テ立派
ナ優秀ナ人ガ司法官方面カラ他ノ方面ニ轉
出スルコトハ非常ニ多イ、大森次官ハ昭和
十六年十二月八日カラ法官ノ意氣が變ツ
テ來タト言ハレタ、是ハ非常ニ嘉スベキコ
トデアルガ、併シナガラ人間ハヤハリ待遇
ヲ好クシテ、安ンジテ其ノ職ニ從事スルコ
モアレバナリマセヌ、大イニ努力ニ努力ヲ重ネ
ノモ、安ンジテ出來ルト云フコトニシテ上
ゲサヘスレバ、司法官モ大イニ勉強シ、大

イニ人材ガ集マルコトニナルノデアリマス、
斯ウ云フ點ガ常ニ論議ヲサレルガ、儲テ實
際ト云フコトニナツテ來ルト、ドウモ行ハ
レヌヤウニ思フ、是ト同時ニ下級ノ裁判所
書記、斯ウ云フヤウナ人ナドガ實ニ今日慘
メナ生活ヲシテ居リマス、ソレガ爲ニ他ノ
軍需工業方面ニ轉出スル者ガ非常ニ多イ、
又雇ニナツテ五年ノ期間ガ濟シダト云フヤ
ウナ者ヲ、特別任用シテ書記ニ採用シテ間
ニ合ハシテ行クト云ヲコトハ止ムヲ得ナイ
事デハアルガ悲シコトト思ハレル、昨年
モ警察官トカ、小學校教員トカ、司獄官ノ
看守長トカ看守トカ云フヤウナ者ニ對シテ
ハ多少ノ増額ガアツタヤウニ思ヒマスガ、
此ノ裁判所ノ書記ト云フヤウナ方面ニ向ツ
テハサウ云フコトガ實施出來テ居ナイコト
ヲ私ハ憂フル、判檢事ニ對スル増俸待遇、
素質ノ改善、裁判所書記ニ對スル増俸待遇
遇改善ト云フヤウナ點ニ付テ、御考ヘヲ十分
持ツテ居ラレルコトト思フノデアリマスカ
ラ、此ノ際一ツソレ等ノ點ヲ明カニ御發表
相成リタイト希望致シマス

○大森政府委員 司法官ノ待遇改善ニ付キ
尙ホ素質ノ問題ニ牽聯致シマシテ、從來
斯様ナ景氣ノ好イト申シマスルカ、實業界
活躍ノ時代ニハ、官界ニハ餘り良イ人ハ來
ナイト云フコトガ常識的ニ言ヒハヤサレテ
居リマシタ、然ルニ昨年私共ノ方デ司法官
試補ノ採用ヲ内定致シマシタ、昨年度ノ試
補ノ學校ニ於ケル成績ハ相當優秀ノヤウデ
アリマス、デアリマスカラ私共ハ其ノ點ハ
實ハ餘り悲觀ヲシテ居ナイノデアリマス、
又司法官ニナリマシタ後ノ訓練ニ付キマシ
テハ、御承知ノ通リ司法研究所ニ於キマシ
テ、第一種、第二種、第三種ニ分チマシテ、
第一種ハ司法官試補ノ全體的訓練、第二種
ハ判檢事ニナツテ餘リ經驗ノナイ人達、之
ニ對シテ徹底的ニ氣組ヲ入レ換ヘルト云
フ趣旨ニ於ケル訓練、第三種ハ相當經驗ヲ
持ツテ居リマスル優秀者、即チ將ニ將タル
ノ器ヲ養成スル、此ノ三部門ニ分チマシテ、
私共及バズナガラ努力ヲ致シテ居ル次第
アリマス、左様ナ次第アリマシテ、決シ

ニ進行セラレルト云フコトガアル、サウ云
フコトガナイト、時々法廷ニ於テ使用スペ
カラザル言葉ガ發セラレタリ、或ハ顰蹙ス
ルヤウナ言動ガアツタリスルヤウナコトナ
キニシモアラズデアリマス、是ハ所長、檢
事正ガ自分ノ部屋ニ引籠ツテ、色々ナ人事
ノ問題トカ、或ハ盲判ヲ捺スト云フヤウナ
コトハ、ヤツテ居リハシマスマイケレドモ、
今少シ外ニ出テ、サウ云フヤウナコトヲ直
接指導監督スルヤウナ方法ヲ御採リニナル
ヤウニ御協議ヲ願ツテ、ソレガ實踐出來ル
ヤウナ風ニ御願ヒシテ已マナイノデアリマ
ス

ソレカラ今一つ、所謂裁判ニ廻サレマシ
タ記錄、若シクハ不起訴ニナツタ記錄等ヲ
唯次席檢事トカ、上席檢事トカ、或ハ次席
部長トカ云フヤウナ方ダケニ任セ切りニシ
ナイヤウニ願ヒタイ、何トナレバ是等ノ方
ハ非常ナ忙シイ職務ニ當ラレテ居ルノデア
リマスカラ、全部ノモノニ眼ヲ通スト云フ
コトハ出來マセヌ、隨テ監督ハ十分出來マセ
ヌ、デアリマスカラ全部トハ申シマセヌガ、
其ノ中ノ或ル物ヲ所長、檢事正、院長、檢
事長等ガ時々手ニシテ、之ヲ御自分カラ親
シク檢閱シテ、其ノ足リナイ所ヲ補ヒ、餘
ル所ヲ削除スルヤウニ、下級ニ向ツテ指導
誘掖スルト云フコトニナレバ非常ニ效果多
大ト思フノデアリマス、サウ云フコトハ勿
論ヤウテ居ラレマセウガ、實際上ニ於テ中
行ハレナイカラ、斯ウ云フコトヲモ考慮
ニ入レテ判檢事ノ素質ノ改善ト云フヤウナ
コトヲ、多少御考慮ニ入レテ戴イタラ宜
クハナイカト思ヒマス、例ヘバ各控訴院管
内ノ判事側ニ一人トカ、檢事側ニ一人トカ、
大ト思フノデアリマス、サウ云フコトハ勿
論ヤウテ居ラレマセウガ、實際上ニ於テ中
行ハレナイカラ、斯ウ云フコトヲモ考慮
ニ入レテ判檢事ノ素質ノ改善ト云フヤウナ
コトヲ、是等ニ對スル御所見ヲ伺ツテ置キタイ
ノデアリマス

○大森政府委員 私共ノ理想ト致シマシテ、

斯ウ云フコトハ斯ウシナケレバナラヌ、ア

地方裁判所長ナリ檢事正自ラ法廷ニ立ツト
云フコトヲ望ンデ居ルノデアリマスガ、實
際ニ於テ多クハ是ハ實現出來ニクイノデア
リマス、御承知ノヤウニ監督官固有ノ仕事
述ベテハ恐縮デアリマスガ、私ハ一年五箇
月バカリ名古屋控訴院長トシテ在職ヲシテ
居リマシテ、其ノ時ニ一度ハ法廷ニ立タウ
ト思ヒナガラ、遂ニ立テマセヌデシタ、併
シ法廷ニ立タナイマデモ、常ニ出来得ル限り
法延ヲ視察致シテ居リマシテ、自分モ蒙ヲ
啓クト云フコトニ努メテ居リマシタ、現在
全國總テノ監督官モ左様ニヤツテ居ルト私
モ確信シテ居リマス、尙ホ御說ノ通り此ノ
風ヲ更ニ大ニスルト云フコトハ必要デアリ
マスルカラ、私共ノ心組トシテ左様ナ熱意
ヲ持ツテ進ミタイト存ジテ居リマス
○一松委員 大變宜イ御言葉デアリマシテ、
私共感激致シタノデアリマスガ、ドウカサウ云
フヤウナ風ニ御進ミ願ヒタノデアリマス
ソレカラは裁判所構成法其ノ他ノ上
モマダ必ズシモ十分トハ申シマセヌガ、是
承知ノヤウナ制度ガ出來テ居リマシテ、是
オ五ノ改善ヲ圖ルコトニ付テバ、及バズナ
ガラ全國一樣ニ努力シテ居ル積リデアリマ
ス、尙ホ檢察ニ付キマシテハ丁度實質上御
スルヤウニ致シタイト存ジマス

○池田(克)政府委員 大審院ノ檢事局ニ於
キマシテハ、慥カ私ガ大審院ノ檢事ヲ拜命
致シマシテカラ間モナクデアリマスカラ、
丁度昭和十年ノ夏以來ダツタ思ヒマスガ、
當時一松サンモ御案内ノ通り、司法制度ノ
調査會ガ開カレテ居リマシテ、其ノ際ニ於
キマシテ檢察或ハ司法警察ノ部面ニ於キマ
スル色々ノ不當ナ措置、或ハ不法ナル措
置、サウ云フ問題ニ付テノ監察機能ト云フ
モノヲ行使スルコトガ非常ニ必要デヤナイ
カ、又不當デアリマセヌデモ、例ヘバ一松
委員ノ仰シヤルヤウニ、活キタ事件ニ付
テ争フコトハドウカト思ヒマスルケレ
ルガ、一ツ司法省ニ民事調査課、刑事調査
課ト云フヤウナ、サウ云フヤウナ機關モ必要デアリマス
ハ、サウ云フヤウナ機關モ必要デアリマス
ニ於テ其ノ過誤ナカラシメルコトニ努メマ
スコトハ非常ニ必要デゴザイマスカラ、サ
ウ云フ風ナ範圍ニ於キマシテノ審查ヲ大審
院ノ檢事ガソレハ、擔當致シマシテ實施シ
ニ於テ其ノ過誤ナカラシメルコトニ努メマ
スガ……

○一松委員 非常ニ結構デゴザイマス、ド
ウカ一ツソレフ強化シテ戴キタノデアリ
マス、唯一ツ茲ニ御願ヒシテ置キタイコト
ハ、サウ云フヤウナ機關モ必要デアリマス
ハ、サウ云フヤウナ機關モ必要デアリマス
ルガ、一ツ司法省ニ民事調査課、刑事調査
課ト云フヤウナ、サウ云フヤウナコトヲ專
門ニ調査スル所ヲ御設ケニナツテ戴イテ、
サウシテ事務官カ書記官ヲ御入レニナツテ
ルガ、一ツ司法省ニ民事調査課、刑事調査
課ト云フヤウナ、サウ云フヤウナコトヲ專
門ニ調査スル所ヲ御設ケニナツテ戴イテ、
サウ云フ場合ニ於テ、事後ニ於テ其ノ記録
ニ付テ色々ノ批判檢討ヲ致シマシテ、更ニ
考ヘラ願ヒタイト思ヒマス

○大森政府委員　司法省内ニ於キマシテ御承知ノ通り調査部ト云フモノガ一ツノ部ニナツテ居リマス、其ノ外ニ民事局、刑事局ハ調停ナリ、各專任ノモノヲ設ケマシテ、其處デ十分ノ調査ヲ遂ゲテ居リマス、其ノ外ニ是ハ行政事務デアリマスルケレドモ、行政事務ノ統一ヲ圓滑ニ致シマス爲ニ、最近ニ行政考査ト云フ仕事ヲ始メマシタ、是ハ次官直屬ト致シマシテ、本省ノ局長、部長、官房ノ課長、之ヲ集メマシテ、行政考査委員ト云フモノヲ設ケテ現ニ實行シテ居リマス

○一松委員　大變結構デアリマスガ、私ノ御願ヒスルノハサウ云フモノノアル上ニ、ソレヲ一つ増員デモシテ、本當ニ専門的ニ出來ルヤウニ、唯形ノ上デナク、或ハ係長ハ全國デスカラニ、三人ヂヤ足リマセヌ、課長ヲ置キ課長ノ下ニ事務官、屬官ヲ置イテサウシテ本當ニソレヲ調査シテ、ソレガ實際ノ裁判ノ上ニ、實際ノ執行ノ上ニ、效果的ナラシムルヤウニ御努メ願ヒタイ、斯ウ云フコトヲ希望スルノデアリマス

其ノ次ニ、是ハ今ヤツテ居ルカドウカ分リマセヌガ、是非改ヌテ戴カナケレバナラヌコトハ、刑事裁判長若シクハ豫審判事ノ任命ニ付テ、所長カラ檢事正ノ意見ヲ聽クト云フコトヲヤツテ居ツタガ、之ヲ止メテ戴キタイ、所長カラ檢事正ニ意見ヲ聽カルト、一松ハアレハ無罪ニスルカラ裁判長ニ宜シクナイ、或ハ一松ハアレハドウモ免訴ニバカリスルカラ豫審判事ニハ宜シクナ、伊ト云フヤウナ弊害ガ元アツタノデス、今ハ存ジマセヌガ、サウ云フヤウナコトガア

豫審判事ヤ裁判長ガ検事ノ鼻息ヲ窺フト云
フコトガアルノデハナイカト思ハレル節ガ時々アル、
ソレガナケレバ結構デアリマスガ、ドウモ
例ヘバ検事が贊成シナイカラ、検事が少シ
異議ヲ唱ヘテ居ルカラト云フコトガアル、
ソレデ司法官ノ不羈獨立何處ニアリヤト云
フコトヲ叫ビタクナル、判事ハ毅然トシテ、
檢事ノ鼻息ヲ窺フコトモナケレバ、檢事ノ
態度ニ關心ヲ持ツコトモナク、自分ノ信ズ
ル所ヲ實行シテ戴ケバ不平ハナイノデアリ
マスガ、往々ニシテサウ云フコトガアルノ
デハナイカト思ハレルヤウナ感じヲ持ツコ
トガアリマス、例ヘバ刑事訴訟デノ或點ニ
付キ檢事ノ意見ヲ聽ク、其ノ時檢事が反対
ダガドウデセウ、檢事が反対ダカラ一寸困
ルネ、斯ウ云フコトガ實際アリマス、サウ
云フヤウナコトニ付テ、豫審判事或ヘ裁判
長ハ、所長ガ檢事正ノ意見ヲ聽イテ、其ノ
意見ヲ尊重シテ其ノ地位ニ當ラシムルト云
フヤウナコトガアレバ大變ダ、斯ウ云フ點
ニ付テノ取扱ヒハ今ドウデアリマスカ
○大森政府委員 刑事裁判長ヤ豫審判事ノ
補任ニ當リマシテ、裁判所長カラ檢事正ノ
コトハ、今日絶對ニアリマセヌ、私共嘗テ
ハサウ云フコトガアツタ云フコトハ聞イ
テハ居リマスルケレドモ、私共判事ニナリ
マシテカラ以後、左様ナ事實ノアツタコト
ハ少シモ聞イテ居リマセヌ、右御安心ヲ願
ヒタイノデアリマス

ナク、毅然トシテ司法官ノ態度ヲ實際ノニ
ニ於テ具現スル、裁判官ハ全ク不羈獨立ダ、
今日裁判所ト檢事廳ノ家屋ヲ別ニシナケレ
バナラヌト云フヤウナコトマデ叫バレテ民
ル時デアリマスカラ、サウ云フコトヲ在縣
ノ法曹カラ疑ハレナイヤウニ、一ツ是ハ所
長若シクハ監督判事ノ名譽ノ爲ニ、特ニ強
調シテ戴キタイト云フ希望ヲ述べテ置キマ
ス

其ノ次ハ判檢事ノ素質改善ニ付テノ一ツ
ノ希望ト致シマシテ、ドウモ事實ノ認定ニ
關スル修練ト云フコトガ必要ダト思フ、是
ハ民事タルト刑事タルトヲ問ヒマセヌ、ド
ウモ今マデハ民事ノ方面カラ言ヒマスト、
形式ニ流レテ、是ハ原告ノ主張ガ正シイノ
ダガ、ドウモ證據ガ薄弱ダト云フヤウナコ
トデ原告ヲ敗カシテ見タリ、是ハドウモ姑
告ガ申立テ居ルコトガ事實ノ眞相ノヤウダ
ケレドモ、ドウモ有力ナ反對ノ證據ガアル
カラト云フコトデ、被告ヲ有罪ニシテ見タ
リスルヤウナコトガアツタ、斯ウ云フヤウ
ナコトハ、事實ノ認定ト云フコトニ付テ、
本當ニ裁判官ガ自由ナ心證ヲ得ルヤウナ古
法ヲ、ヤハリ此ノ判事、檢事ノ再教育ノ時
ニ十分ニ意ヲ用ヒテシナケレバナラヌト申
フノデアリマス、徒ラニ形式ニ流レ、徒ラ
ニ形ノ上ニ現ハレタコトニ囚ハレナイデ、
本當ニ法律ノ命ズル所ノ、所謂心證判断ト
云フコトニ重キヲ置クヤウナ習慣ヲ付ケル
ト云フコトガ必要デアラウト思フノデアリ
マス、之ニ付キマシテハ、詰リ被告人ノ申
立ニ十分耳ヲ傾ケル、或ハ護護人ノ辯論ニ
耳ヲ傾ケル、或ハ審理ヲ鄭重ニスル、或ハ
審理期間ニ拘束サレテ——是ハドウモ審理
期間ガ長クナレバ、自分ノ成績ニ影響スル

カラ、早ク之ヲ審理シテシマハナケレバナ
ラヌト云フヤウナコトヲシナイヤウニ、サ
ウシテ職權ヲ以テ證據調べヲスルト云フ位
ノ考ヘラ以テ、事實ノ真相ヲ把握スルト云
フコトニ努メルコトヲ願ヒタインデアリマ
ス

ソレト同時ニ既決囚ノ感想談ヲ聽クト云
フコトガ必要デアル、既決囚、即チ判決
ガ決ツテ下獄シテ居ルヤウナ者ニ對シテ、
何等カノ方法ニ依ツテ、例へバ刑務所ノ巡視
ト云フヤウナコトモアリマセウ、サウ云フ
時ニ一人二人ノ者ヲ引出シテ、其ノ裁判シタ
裁判官ガ、ドウダト言ツテ彼等ノ法ヲ聽ク
ト云フコトモ、私ハ將來事實ヲ認定スル一
ツノ有力ナル參考資料ニナラウト思フノデ
アリマス、サウ云フ點ニ付テモ一つ御考慮
ヲ願ヒタイ

ソレカラ職權ヲ以テ證據調ベヲスル、ド
ウモ辯護人アタリノ證據申請ヲ制限スル風
ガアル、ソレハ成ベク早ク審理ヲ済マセタ
イト云フコトデ、是ハ何處カラ來ルカト云
フト、表責メニスル、此ノ判事ハ此ノ事件
ヲ何日間掛ツテ審理シタ、此ノ判事ハ此ノ
事件ノ審理ニ何日掛ツタ、是ハ非常ニ手腕
ガアル、是ハ鈍感ダト云フヤウナコトデ、
表責メニスル爲ニ、成ベク審理ヲ早クスル、
ソレガ爲ニ證據申請ガアツテモ却下シテ、
事實ノ審理ヲ簡略ニシヨウト云フコトモ出
來ヤウト思フノデアリマスカラ、サウ云フ
ゴトノナイヤウニ一ツ御注意願ヒタイ
ソレカラ判決ノ結果ニ付テ一ツ十分考慮
ヲ拂フヤウニサレナケレバナラヌ、判決シ
サヘスレバドウデモ宜シイト云フコトデハ
宜シクナイ、アノ判決ヲ言渡シタアノ人間
ハ、其ノ後ドウナツテ居ルデアラウカト

云フコトヲ、時々知ル必要ガアルト思フ、サウ云フ點ニ付テノ用意ガドウデアリマスカ、判決ノ效果、此ノ判決ヲ斯ウ云ウ風ニコトヲ、判事ノ頭ニ持タセル必要ガアルト思フノデアリマス、斯ウ云フニ、三ノ點ニ付テ御氣付ノ點ヲ御發表願ヒタイ
○大森政府委員 先づ第一點デアリマス、民事、刑事ヲ通ジマシテ、裁判ニ於テ事實ノ認定ノ重要デアルコトハ、固ヨリ申上ゲルマデモナイ所デアリマス、全ク御説ノ通りニ存ズルノデアリマス、私共常ニ若イ判檢事ニ申シテ居ルノデアリマスガ、裁判官ノ本當ノ仕事ト云フノハ、現ハレタ事件ト真正面ニ四ツニ取組ミマシテ、其ノ事件ノ核心ニ直入洞察スル、是ガ最モ肝要ダト思ツテ居ルノデアリマス、勿論裁判官デアリマスカラ、法律モ必要デアリマスケレドモ、大學教授トハ違ヒマシテ、活キタ事件ヲ如何ニ認定シテ、之ニ如何ニ法律ヲ適用スルカ、是ガ最モ肝要ダト云フコトハ、口ヲ酸クシテ申述ベテ居ル積リデアリマス、又今後モ左様ナ方針デ進ミタイト存ズルノデアヒノ参考ニ致シテ居リマス

第二點ハ既決囚ノ感想デアリマスルガ、是ハ行刑當局ト連絡ヲ取リマシテ、出來得ル限り其ノ感想ヲ求メテ居ル積リデアリマス、時々感想錄ヲ、内部ダケデハアリマスルガ、書面ニ刷リマシテ配付ラシテ、オ互にアリマスガ、御承知デモアリマセウガ、判事ガ裁判ヲ致シマスト、刑事ニ付キマシテ

自分ノ刑ヲ言渡シタ者ガドウナツタデアラ
ウカト云フコトニ極メテ關心ヲ持ツモノデ
アリマス、是ハソレヲ止メロト言ツテモ、
必ズ自然的ニ、サウ云フ感情上其ノ人ノ結
果ニ付テ知リタイノデアリマス、此ノ感情
ヲ善用致シマシテ、判決ノ結果如何ニナツ
テ居ルカト云フコトノ調査ニ當ルコトヲ實
ハ既ニ致シテ居ル次第デアリマス、唯人員
ノ不足、時間ノ不足等デ十分ニハ參リマセ
ヌケレドモ、其ノ意氣込ミダケハ確カニ持
ツテ居ル積リデアリマス、右御諒承ヲ願ヒ
マス

ニ参考資料ニ供シテ戴キタイ、斯ウ云フヤウ
次ニ進ンデ御尋ネシタイノハ、判検事ノ轉
任問題デアリマス、詰リ今回ノ此ノ戰時特別
法案が通過セラレルト云フコトニナリマスレ
バ、差當リ區裁判所ノ判事檢事ト云フモノガ
最モ重要性ヲ持ツコトハ言フマデモアリマ
セヌ、ソコデ現在勤メテ居リマス判檢事ヲ見
マスト、私サウ云フコトヲ言フト、甚ダ現
在勤メテ居ル判檢事諸公ニ御無禮ヲ申上ゲ
ルコトニナルガ、是ハ全部トハ申上ゲマセ
ヌ、數氏ノ者ハサウ云フヤウナ疑ヒガアル
ト云フコトデ御聽取り願ヒタイノデアリマ
ス、ドウモ事實ノ認定等ニ付テ十分ニ事實
ノ真相ヲ擗ムコトガ出來ナイ人ガアルノデ
ス、ソレハ何カト云フト、學問バカリ、法
律バカリ研究シテ、サウシテ人ニ接シナイ、
實業家ノ方面ノ業務ニ精通シテ居ナイ、警
察官ガ机ノ上ニ調べタ書類ヲ本ニシテ法廷
ニ臨ムト云フ弊茲ニ至ルモノト思フ、サウ
云フヤウナコトデハドウシテ事實ノ真相
ニ適應スルト云フコトハ出來マセヌ、鹿ノ
仔一足盜ンダト云フト、鹿ノ仔ヲ一匹盜ン
ダノダト思ヒ違ヒラスルト云フコトハ、昔
ノ裁判ノ語リ草デアツテ、今ハサウ云フ非
常識ノ者ハアリマスマイ、併シドウモ經濟
統制違反ノ判決ニ當リマシテハ、往々ニシ
テ事實ヲ認定スル上ニ於テ知識ノ足リナイ
コトガアルヤウニニ思フ、例へバ「カーバ
イド」ト云フ物ハドンナ物ダト云フヤウナ
コトデハ本當ノ裁判ハ出來マセヌ、サウ云
フ所謂未熟ナ、經驗ノ乏シイ、サウ云フ者
ガヒヨツトスルトアルカモ知レス、ソレデ
ハ此ノ特別法ヲ實施セラレテ、一審デ濟ン
デ、後ハ上告ト云フコトニスレバ、實ニ由

由シキ大事デアリマス、今日國民ガ裁判ト云フモノニ對シテ満幅ノ信賴ヲ拂ツテ居ル所以ノモノハ、事實ノ眞相ヲ擱ンデ戴キ、アア云フ風ノ裁判ガアツタ以上ハ、アレハアレガ間違ヒナイノダ、アレガ正シイノダ、斯ウ云フヤウニ國民ガ之ヲ確信スルコトニ依ツテ、裁判ニ對スル威信ト云フモノハ高メラレテ行ク、ナニアレハマルデ事實ヲ間違ツテ居ルノダト云フコトヲ、裁判ノ威信ハ地ニ墜チル、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ私ハ練達堪能ヲ士ヲ、ドウシテモ區裁判所ニ廻シテ戴カナケレバナラヌト思フ、是ハ此ノ特別法ガ上程サレナイ前ニモ、常ニ此ノ委員會ニ於テ叫バレテ居ルコトハ私が申スマデモナインデアリマス、又司法當局モ能ク議員ノ主張ヲ快ク御容レニナルノデアリマスルガ、之ヲ實施スルト云フ上ニ於テハ中々難カシイラシイノデ、特別ノ事情モアリマセウ、俸給ノ關係モアリマセウ、豫算ノ關係モアリマセウガ、斯ウ云フヤウナ點ヲ大イニ考慮シテ戴キタイノデアリマス、ソコデ大森次官ガ此ノ委員會ニ於テ數回御聲明相成リマシタヤウニ、十二月八日以來判檢事ノ心構ヘガマスト、一例ヲ舉ゲルト、東京ノ地方裁判所ノ判事ヲ今度ハ千葉ノ區裁判所ニヤルト云レバナリマセヌガ、ソレガ今度實施サレテ練達堪能ノ士ニ入替ヘルト云フコトニナリマスト、一例ヲ舉ゲルト、東京ノ地方裁判所ノ判事ヲ今度ハ千葉ノ區裁判所ニヤルト云ソレハ違フ、今度ハ違フト云フコトニナリカモ知レマセヌケレドモ、併シ快クハ思ツ

心構へノ良イト云フコトハ宜イガ、ヤハリ裁判所構成法ニ於テ其ノ身分ガ保障サレテ居ルノデスカラ、其ノ身分保障法ヲ何トカシテ善處妙用スルト云フコトガ必要デヤナナイ力ト私ハ思フ、裁判所構成法ノ第七十三條ニ「判事ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルニ非サレハ其ノ意ニ反シテ轉官轉所停職免職又ハ減俸セラルルコトナシ」是ガ原則デス、但シ豫備判事タルトキ及補闕ノ必要ナル場合ニ於テ轉所ヲ命セラルルハ此ノ限ニ在ラス「此ノ但書ヲ運用ナサツテノ御趣旨デアリマスカ、一昨日モ山本君カラ御話ガアリマシタヤウニ、昭和二年ノ時ニハ此ノ法文ヲ一時停止スルト云フ特別ノ法規ガ出来居ル、今度ソレガナイトスレバ、此ノ法文ノ活用ニデモ依ツテサウ云フコトヲヤル積リデアルカ、若シクハ増俸ト云フコトニ依ツテ喜ンデ轉任スルヤウニデモスルノカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデス、轉任サセルト云ツテモ、入替ヘルト云ツテモ、是ガ實際ノ上ニ行ハレナケレバナラヌ、此ノ特別法案ガ通過シタ時ニ於ケル法ノ運用ニ付テ、吾々ハ大イニ心配スルノデアリマスカラ、其ノ點ヲ明カニシテ戴キタイノデアリマス○**大森政府委員** 御尋ネノ點ニ付キマシテ、只今ノ所法律ヲ變更シ、若シクハ新タニ規定ヲ設ケルト云フ積リハナイノデアリマス、即チ現在ノ法規ノ運用ニ依リマシテ、其ノ儘ノ適用ニ依ツテ私共十分ニ善處ヲ爲シ得ル見込ガアルト思フノデアリマス、數回申述ベマシタ通り、十二月八日ノ開戦以來、司法官一同ノ氣持ガ非常ニ緊張ヲ加ヘタト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、之ヲ申

アリマシタ、普通ノ場合ナラバ、御説ノ通り、ドウモアノ地方ハ面白クナイト云ツタヤウナコトヲ云フ人々、トモスレバアツタノデアリマスガ、開戦以來氣組ガ一變シタト相見エマシテ、自己ノ私情ニ依リマシテ轉所ヲ拒ムト云フ者ガナクナリマシタ、十二月八日以來今日マデ相當轉所ガアツタノデアリマスガ、是ハ極メテ圓滑ニ參ツテ居ルノデアリマス、左様ナ事實カラ推シマシテ、私はアリマス、ハ別ニ法規ノ改正ヲ俟ツマデモナク、御説ノ通リ區裁判所判事ノ充實ト云フコトハ期シテ待ツコトヲ得ルモノト確信ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、併シ度々申シマシタ通り、斯様ナ案ヲ以テ臨ミマスル以上、誓ツテ區裁判所ノ充實ハ完璧ヲ期サナケレバナラナイノデアリマスカラ、私共ハ其ノ方面ニ懸命ノ努力ヲ致シタイ、斯様ニ御諒承ヲ願ヒタインデアリマス

云フコトデ、彼處ニ行クコトハ自分等ガ御奉
公スルニ付テ大變宜イコトデアルガ、都合
ノ悪イコトモアル、併シ一面斯ウ云フ安心
スペキコトガアルノダト云フノデ、喜ンデ
轉任出來ルヤウニシテ戴キタイ、今アナタ
ガ仰シャルヤウニ、時局ガ斯ウナツタカラ
オ前達ハ行カナケレバナラヌヂヤナイカ、
ソレニ對シテ不服ヲ言フノハ時局認識ガ足
ラヌノダト云フコトデ、不承々々ニ行クト
云フコトガナイヤウニシテ戴キタイ、不承
不承行クト云フコトニナルト、事務ヲ執ル
上ニ於テモ、裁判ヲスル上ニ於テモ、會心
ナ裁判ト云フモノガ出來ナイノデス、モウ
俺ハ辭メテ辯護士ニナラウカ、モウ辭メテ
公證人ニナラウカ、何處カ南洋ニデモ轉任
出來レバヤツテ貰ハウカト云フヤウナ氣持
テ、腰掛的ニ裁判ヲヤラレテハ堪リマセヌ、
ドウカ安心シテ轉任ヲシ、安心シテ事件ヲ
處理スルコトノ出來ルヤウニ十分ナル御問題
心ヲ以テ御取計ラヒアランコトヲ希望スル
ノデアリマスガ、如何デセウカ

○一松委員 結構デアリマス、ドウカサウ
云フ風ニ御取計ラヒヲ願ヒタイ
ソコデ私ハ一ツ希望ヲ述べテ置キタイコト
トハ、區裁判所へ行キマシテ、裁判長トト
事ヲ比べテ見ルト、裁判官ヨリモ檢事ノ左
ガ官等、俸給ガ高イ、サウ云フ人ガ同ジ席ニ
列シテ審理ヲシ、判決ヲシ、求刑ヲスルト
云ヤウナコトガ往々見受ケラレル、自分
ヨリ官等、俸給ノ高イ檢事ガ自分ノ右ニ居
ツテ、自分が裁判ヲスルト云フノデ、ソク
ニ多少裁判ヤ、審理ヤ、判決ニ影響スルコト
ハアリマスマイガ、アルヤウナ疑ヒが往
往ニシテアルノデアリマスカラ、ドウカサ
ウ云フコトノナイヤウニ、何時モ裁判長ノ
方ヲ檢事ヨリモ官等モ俸給モ高イ方ヲ置キ
テ、檢事が少々ナコトヲ言ツテモ、我レ闇
セズ焉ト云フヤウナ毅然タル態度ヲ以テ裁
判スルヤウニ改メラレンコトヲ希望シテ置
キマス

ソレカラ今一つハ、區裁判所ニ居ル判檢
事が進級ノ都合等ニ依ツテ、例ヘバ特別俸
ニナツタ、或ハ是マデニナツタ、是カラ先
ハ勅任ニナツテ、勅任ハ區裁判所ニ置カレル
ヌカラト云フコトデ入替ヲシナケレバナ
ラスト云フヤウナコトガアル、アレヲ止メ
テ、區裁判所ノ判事デモ勅任マデハナレル
ノダ、榮進ハスルノダト云フヤウナ内規ヲ
改メテ戴イテ、安シジテ單獨判事ノ貴重ナル
職務遂行ニ支障ナカラシメルヤウニ致シ
タイト思ヒマスガ、此ノ點ニ關スル御用意
ハ如何デアリマスカ

○大森政府委員 第一點ノ判事ト檢事ト地
ハ如何デアリマスカ

位ノ高下ヲ生ズル場合ノ御尋ねデアリマス
ガ、同ジ法廷ニ於テ判事ト検事トガ地位ニ
高低デアリマシテモ、ソレガ爲ニ裁判ニ影
響ヲ及ボストハ絕對ニ私共思ツテ居リマセ
ヌ、併シ只今御希望ノヤウナコトヲ方々カ
ラ承ルノデアリマシテ、私共出來ル限り左
様ニ配置ヲシタ伊思ツテ居リマス、但シ
全國多數ノコトデアリマスカラ、總テ左様
ニハ參リマスマイケレドモ、出來ル限り御
希望ニ副ヒタイ、斯様ニ御承知ラ願ヒタイ
ノデアリマス

第二點デアリマスガ、區裁判所ノ判事ハ、
今日ノ定員令ノ都合上勅任ニハナレナイノ
デアリマシテ、是ハ私ハ極メテ殘念ニ思ツテ居
リマス、但シ勅任待遇ニハナレルノデアリマ
ス、併シソレデハ十分デハナイノデアリマ
シテ、區裁判所ニモ勅任判事ヲ置キ得ルヤ
ニ將來ハ努力シタイト思ツテ居リマス

○一松委員　區裁判所ノ判事ノ地位ノ向上上
ト云フコトニ付テ、只今勅待ノ御話ガアリ
マシタガ、是ハ私ハ大變宜イコトダト思フ、
ケレドモ今日ノ區裁判所ノ勅待ハ、所長ニ
ナレナイ連中ガ、區裁判所ノ監督デオシマ
ヒニナルト云フヤウナ狀態ニナツテ居ルノ
ガ實際デアル、ソレデハイケヌ、彼處ノ裁
判長ハ勅待ニナツタカラ所長ニナレナイト
ハタデ言ヒ、又本人モナレナイコトヲ知ツ
テ居ルカラ宜イ加減デ辭メテシマフ、自然
トノ出來ルヤウナ制度ニ改メルヤウニ御努
力ヲ願ヒタイ、サウシテ區裁判所ノ判事ニ
立派ナ人ヲ入レテ戴クヤウニ特ニ希望シテ

立派ナ人ヨ

位ノ高下ヲ生ズル場合ノ御尋ねデアリマスガ、同ジ法廷ニ於テ判事ト検事トガ地位ニ高低デアリマシテモ、ソレガ爲ニ裁判ニ影響ヲ及ボストハ絕對ニ私共思ツテ居リマセラ承ルノデアリマシテ、私共出來ル限り左様ニ配置ヲシタイト思ツテ居リマス、但シ全國多數ノコトデアリマスカラ、總テ左様ニハ參リマスマイケレドモ、出來ル限り御希望ニ副ヒタイ、斯様ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス。

第二點デアリマスガ、區裁判所ノ判事ハ、今日ノ定員令ノ都合上勅任ニハナレナイノデアリマシテ、是ハ私ハ極メテ殘念ニ思ツテ居リマス、但シ勅任待遇ニハナレルノデアリマス、併シソレデハ十分デハナイノデアリマシテ、區裁判所ニモ勅任判事ヲ置キ得ルヤニ將來ハ努力シタイト思ツテ居リマス。

○一松委員　區裁判所ノ判事ノ地位ノ向上ト云フコトニ付テ、只今勅任ノ御話ガアリマシタガ、是ハ私ハ大變宜イコトダト思フ、ケレドモ今日ノ區裁判所ノ勅任ハ、所長ニナレナイン連中ガ、區裁判所ノ監督デオシマヒニナルト云フヤウナ狀態ニナツテ居ルノガ實際デアル、ソレデハイケヌ、彼處ノ裁判長ハ勅待ニナツクカラ所長ニナレナイトハタデ言ヒ、又本人モナレナイコトヲ知ツテ居ルカラ宜イ加減デ辭メシマフ、自然腰掛デ、ソレガ裁判ニ影響スルト云フコトトノ出來ルヤウナ制度ニ改メルヤウニ御努力ヲ願ヒタイ、サウシテ區裁判所ノ判事ニ立派ナ人ヲ入レテ戴クヤウニ特ニ希望シテ

付テデアリマス、是ハ内務當局ガオ見エニナツタ上デ牽聯シテ質問スル方ガ宜シトイキタイト思ヒマス、ソレハ犯罪搜査ノ指導方針デアリマス、犯罪捜査ヲスルニハドウ云フヤウニ指導スルカ、之ニハ司法警察官執務心得、或ハ司法警察官檢舉方針ノ講習會、或ハ各區裁判所、地方裁判所ノ檢事ガ警察官ヲ集メテ指導スルト云フヤウナコトガ、至レリ盡セリノ狀態ニ出來上ツテ居ル、是非常ニ進歩シタコトデアルト思ヒマス、所ガ堵テ今日ノ實際ノ犯罪檢舉ノ方法ヲ見ルト、實ニ慨歎ニ堪ヘナイコトガ多イ、就中經濟事犯ニ對スル檢舉ノ仕方デアリマス、是等ノ人ハ經濟事犯ニ付テノ檢舉ノ方法、其ノ内容、違反事實等ノ研究、調査ハ隨分シテ居ルヤウデアリマスガ、堵テソレヲ三箇月六箇月ヤツテモ中々分リマセヌ、又犯罪ヲスルヤウナ人ハ、ソンナ簡單ナコトデシナイデ、拔ヶツ潛リツ策ヲ講ジテヤツテ居ル、ソレヲ爬羅剔抉シテ、素レタ絲ヲ正スヤウニシテ、裁判所檢事局ニ送ルマデニハ容易ナ手數デハナイ、サウ云フコトニ付テ自分ニ知識經驗ガナイ爲モ、其ノ調べル人間ヲ無令狀デ連レテ來テ打込ンデ、何日モ何日モ引出シテ、貴様ニハ經濟違反ガアルアレヲ言フヘ之ヲ言ヘト言ツテモ、何ヲ言ツテ宜イカ分ラヌ、是ハ非常ニ極端ナ例デアリマスガ、或ル事實ヲ捉マヘテ、此ノ點ニ付テハドウダト言フ、之ニ答辯スルト、答辯ノ事ガ自分ノ頭ニビント來ナイ爲ニ、ヤハリ結局ハ、貴様生意氣ナ奴ダ、何時マデモ事實ヲ隠蔽スルト云フノデ、甚ダシキハ踏シダリ蹴ツ

タリ、手錠ヲ嵌メタリ、麻繩ヲ以テ天井ニ
アルヤウデアリマス、一々ハ申上ゲマセヌ
ガ、サウ云フコトヲ警察官ガヤルニ付テ、
其ノ關係者等ガ検事局ニ之ヲ告訴告發スル
ト云フヤウナコトヲヤルト検事局ノ方ハ、
形式的ニ一應調べハスルデセウガ、之ヲ不
起訴ニシテ我ガ事畢レリト云フヤウナ態度
ヲ執ルコトガ今ニ残ツテ居ルヤウニ思ハレ
ル、是ハ實ニ慨歎ニ堪ヘヌコトデアリマス、
斯ウ云フヤウナコトニ付テハ、検事局ノ方
デモサウ云フ具體的ノ事實ヲ告訴告發シテ
來夕時ニハ、進ンデ調べテ、斯ウ云フヤウナ
非違ヲ正シテ、法ニ照ラスベキコトハ照ラ
シテヤルト云フコトヲシナケレバ、人權蹂
躪ノ弊ハ直リマセヌ、此ノ點ニ付テ私先年
「ライプチヒ」ノ高等法院ニ行ツテ聽イタ時
ニ、「ドイツ」ニモソレガ澤山アル、併シ
「ドイツ」デハサウ云フヤウナコトガ事件ノ
上ニ現ハレタト認ヌラレルヤウナ時ハ、裁
判官ハ進ンデ無罪ヲ言渡ス、サウスルト折
角司法警察官ガ人權蹂躪ヲヤツテ作り上ゲ
タモノモ效力ガナクナト云フコトニナレバ、
彼等モ勞多クシテ功ナシト云フコトデ、
段々人權蹂躪ノ弊ガ是正サレテ、今デハ餘
程宜クナツタ、日本デモサウ云フコトヲオ
ヤリニナツタラドウカト、「ライプチヒ」ノ高
等法院長、檢事總長ガ言ハレタノデ、私ハ
非常ニ敬服シタノデアリマス、サウ云フ態
度ヲ以テ拷問凌虐ト云フヤウナコトヲ絶滅
スルヤウニシテ貴ヒタイ、ソレニ對シテ實
際ハドウ云フヤウニナツテ居リマセウカ、
コトデゴザイマスノデ、殊ニ通常事件ノ調

ニ於テ仕事ヲシテ居リマス關係上、ツイ人間ノコトデゴザイマスノデ、只今御指摘ノアレヤウナ不心得ニ出ヅル者、或ハ又サウデナクテモツイ取調ニ無理ヲスル、ソレガ爲ニ關係者カラ告訴或ハ告發ヲ受ケルト云フヤウナ事例ノアルコトハ、洵ニ申譯ナイ次第デゴザイマシテ、司法當局ト致シマシテモ、從來左様ナ點ニ付テハ機會アル毎ニ強イ戒飭ヲ加ヘテ居ル譯デアリマス、實ハ私丁度一年半バカリ東京ノ檢事正ヲ奉職致シテ居リマス時ニ、此ノ司法警察官吏ニ對シマス教養訓練ニ付テハ、非常ニ熱意ヲ持チマシテ、實ハ私自ラ陣頭ニ立チマシテ、以テ其ノ指導訓練ニ當ツタ譯デアリマスガ、其ノ際ニママ私ト致シマシテハ、搜查ノコトニ當ツテハ、義ヲ守ツテ情ヲ得ルト云フコトニガ根本的ニ必要ナ心構ヘダ、如何ニ捜査權ノ遂行々々ト云ウテ、其ノ點ヲ強クヤラウトシテモ、ソレデハイカヌ、ヤハリ情ト愛バナラスト云フノデ、義ト情トノ不可分的ナ關係、一如ノ關係ニ於テ取調ヲシテ行カヌケレバナラスト云フコトヲ、強ク戒飭シテハ大イニ缺クル所ガアルト言ハナケレバナラスト云フノデ、義ト情トノ不可分的ノナイ取調ヲスル、無理ノナイ捜査ヲスル、先程司法次官ガ仰シヤイマシタケレドモ、私ハ司法警察官ニ對シテハ、アノ双葉山ノレバナラスト云フヤウナコトヲ、大イニ注意シテ居ツタ譯デアリマスガ、左様ナ關係デ、或ハ職權ノ濫用、人權ノ蹂躪ト云フコトニ付テハ、恐ラク全國ノ檢事局ニ於テハ

ヲ歩ンデ、一步々々人權ノ尊重ニ遺憾ナキ
ヲ期スルヤウニ努メテ居リマス、將來モ考
ヘテ見タイト思ツテ居リマス
○野村委員長 一松君、マダ餘程アリマス
カ、ドウカ要點ダケヲ一ツ……

○高橋(義)委員 議事進行ニ付テ——田中
兵務局長ガ御見エニナツタヤウデアリマス
カラ、一點ダケ適當ナ機會ニ御尋ネヲ申上
ガタイト思ヒマスノデ、適當ナ時間ニ時間
ヲ御與ヘラ願ヒタイト思ヒマス

○一松委員 御約束ノ十二時デ止メマスカ
ラ、ドウカ暫ク——ソコデ私ガ人權蹊躡問
題ニ付テ喧シク言ヒマスノハ、戰時刑事特
別法案ノ第二十五條ノ「地方裁判所ノ事件
ト雖モ刑事訴訟法第三百四十三條第一項ニ
規定スル制限ニ依ルコトヲ要セズ」詰リ聽
取書ガ證據力ヲ持ツト云フコトハ、警察官
ガ人權蹊躡デ不本意ノ供述ヲナシテ、聽取
書ヲ作製スル、ソレガ地方裁判所デ否認シ
タ場合ニハ、證據力ガナクナルト云フコト
ヲ規定シテ居ル、併シナガラ區裁判所デハ
其ノ聽取書モ證據力ヲ持タセルゴトガ、人
員不足ヤ經費ノ點トカ、其ノ他證據蒐集ノ
點等ニ於テ、必要イムヲ得ズトシテ證據力
ガ持タシテアル、ソレヲ今度ハ此ノ特別例
ニ於テ、地方裁判所ノ事件デモ聽取書ガ證
據力ヲ持ツト云フ以上ハ、警察官ガ犯罪搜
査ニ付テ本當ニ合法的ナ調べヲシテ、聽取
書ニ無理ノ行カナイヤウニ、聽取内容ニ、
被告人ノ供述ト相反スルヤウナ記載ガ出来
ナイト云フコトニシナケレバ、此ノ二十五
條ノ規定ハ直チニ吾々ハ承認出來ナイ、其
ノ點ニ付キマシテ私ハ今ノ問題ヲ能ク確カ
メルノデアリマスガ、司法大臣ガ國防保安
法、治安維持法ニ付テ、警察官ニ是ダケノ

強制権ヲ與ヘタト云フコトハ、吾々協贊シ
タノデアリマスケレドモ、其ノ以外ノ問題
ニ付テハ、ドウシテモ是ハ御考究ヲ願ツテ
置カナケレバナラヌコトガアルト思ヒマス
カラ、ドウカ一ツ引續イテ御検討ノ上、次

ノ會アタリニ之ヲ御提案ニナツテ、人權躡
躡ノナイヤウニ御願ヒヲシテ置キマス、
次ニモウ一黠、ソレハ第一審制度ヲ廢シ
テ、所謂控訴院ヲ上告審ニスルト云フ點デ
アリマス、是ハ先程カラ御尋ネ致シマシタ判
檢事ノ素質ノ改善ト云フコト十分ニ影響
ガアルカラ、私ハ御尋ネシタノデアリマス、
決シテ是ハ詰ラヌコトヲ御尋ネシタノデハ
ナイト私自身ハ考ヘテ居ルノデアリマス、
一審ノ裁判ガ、控訴審ニ於テ事實ノ認定、
法律ノ適用等ニ於テ覆ヘサレタ例ハ、此ノ
表ノ上ニモ現ハレテ居ル、デアリマスカラ
ドウシテモ事實ノ認定ノ本當ニ誤ラヌヤウ
ニシテ裁判ヲシテ戴ク爲ニハ、控訴審ヲ廢
スルト云フコトハ困ルト私ハ思フ、併シナ
ガラ人員ノ不足ダトカ、審理ノ促進ト云フ
コトノ爲ニ必要デアルトスレバ已ムヲ得ナ
イトシテモ、之ヲ一黠上告ヲ止メテ、寧ロ
控訴審ヲ生カシテ、一審ノ判決ニ對シテ控
訴ガ出來ル、但シ上告ハ出來スト云フヤウ
ナコトニシタラドウナルデセウカ、其ノ點
ガ一ツデアリマス

マスガ、宣誓ヲサセルト云フコトヲニ附加ヘタナラバ弊害ハナイヤウニ思フノデアリマス、此ノ點ハドウデセウカ、此ノ二ツダケ御答へ願ツテ、後ハ内務省ノ方ノ御出マシノ時ニ伺フコトヲ留保シテ、質問ヲリタイト思ヒマス、御答辯ヲ願ヒマス〇大森政府委員 先づ第一點デアリマスガ、私共諄ク申上ゲマス通り、審級ノ省略ト云フコトハ、決シテ望マシクナイコトダト田フノデアリマス、此ノ前ニモ申述べマシタガ、戦時下種々ノ事情モアリマシテ、人冒ノ手不足ヲ必ズヤ生ジマスルカラ、殘念ナガラ審級ヲ一ツ省略ラ願ヒタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマスコトハ、此ノ前ニモ申述べタ通リデアリマス、然ラベ審級ヲ一ツ省略シテ、上告審ヲ省略スベキデアルカ、控訴審ヲ省略スベキカノ問題デアリマスガ、上告審ハ御承知ノ通リニ法律ノ最終審デアリマスカラ、ドウシテモ存置ラスベキモノダ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、即チ是ガ法沿ノ精神ニモ合致スルグラウト思ヒマス、而モ幸ヒナコトニハ、御承知ノ通リニ刑事訴訟法ニ於テ事實ノ重大ナル誤認、刑ノ量定ノ甚ダシク不當ガ上告ノ問題ニナリマスカラ、此ノ二ツノ權限ヲ併セ具ヘマシタ上告審ヲ存置スベキコトハ蓋シ當然デアリ、又有益デアルト存ズルノデアリマス、又民事ノ方面ニ付キマシテモ、是亦御熟知ノ通り、民事訴訟法ノ實施ノ慣例上、實驗則、經驗則ニ反シマシタ、即チ證據法ニ反シマシタ事實ノ誤認ニ付テハ上告ノ問題ニナリ得ルノデアリマシテ、今日民事ノ上告デ原判決ノ破レマスノハ、大部分此ノ證據法ニ反スル事實ノ認定ノ問題ダラウト思ヒマス、

是ハ私共経験上カヲモ左様ニ申上ガラレルノデアリマス、斯カル民事、刑事ノ上告ノ權限ヲ包容シタル我ガ上告審ヲ残シテ、控訴審ヲ省略スルト云フコトガ宜カラウ、斯様ニ存ジタ次第デアリマス

第二點デアリマスルガ、此ノ便法ハ決シテ之ヲ悪用シテハイケナイ、濫用シテハイケナイ積リデアリマス、即チ此ノ證人、鑑定人ハ、信用スルニ足リルト云フ見込ノ付カナイ場合ニハ、之ヲ利用シテハイケナイ譯デアリマシテ、又左様ニ運用シタイト思フノデアリマス、サウシテ左様ナ證人、鑑定人ナラバ、宣誓ノ爲ニ出頭サセルダケデモ省略スル、是ガ寧ロ本條ノ骨子アリマス、詰リ交通不便、或ハ其ノ人が戰時下非常ニ繁忙デアルト云フヤウナ種々ノ事情モアリ致シマシテ、宣誓ノ爲ニ裁判所ヘ出頭スルノガウルサイ、面倒ト云フナラバ、或ハ戸籍役場デアルトカ、或ハ公證人役場トカ、然ルベク適當ナ場所デ宣誓サセテモ宜シイデハナイカト云フ御議論モ起リマセウガ、宣誓ハ御承知ノ通リ森嚴ナモノデアリマスカラ、法廷デナスペキモノデ、法廷以外ノ宣誓ハ認メナイヤウニシタイ、斯様ナ積リデアリマスカラ、併セテ申添ヘテ置ク次第デアリマス

○高橋(義)委員 陸軍當局ニ機會ガアラバ
一點ダケ御尋ネヲ由上ダタイト申シテ居タ
ノデスケレドモ、幸ヒ田中兵務局長ガ御見
エデスカラ此ノ機會ヲ利用シテ簡明ニ御尋
ネシタイト思ヒマス

○野村委員長 宜シウゴザイマス、議事進行トシテ之ヲ許シマス

○高橋(義)委員 御尋ネノ要點ハ、近代戦ノ特質ニ對シテ兵力量ノ恒久的且ツ豊富ナ
要求ニ應ズル最小限度ノ考へ方トシテ、家
族制度ノ確保ヲ前提トスル人口政策ノ解決
ト申シマセウカ、人的資源ノ培養ト申シマ
セウカ、サウ云フ點ニ關聯スル徵兵令改正
ノ必要ガアルデハナカラウカト云フ點デゴ
ザイマス、誇クハ申シマセヌガ、單ニ短期
間ニ終了スペキ武力戦ノ時代トハ異ナリマ
シテ、半恒久的ナ性質ヲ持ツテ居ル近代戦
ニ於キマシテハ、特ニ兵力量ノ無限ニシテ
且ツ豊富ナ供給ヲナスベキ組織機構ヲ確立
スペキ必要ガアルト考ヘラレマス、其ノ爲
ニハ我國情ノ上ニ最モ缺クベカラザル家
族制度ノ確保ト云フモノニ伴フ、只今申述
ベマシタ人的資源ノ培養、人口政策ノ解決
ト云フモノヲナスコトニ依ツテ、近代戦ノ
要求ニ應ズルコトガ出來ルノデハナカラウ、
カ、斯ウ云フヤウニ考ヘラレマス、要スル
ニ日本國民ノ如何ナル者モ悉ク御召シニ依
ツテ一身一家ヲ振捨テ勇敢ニ赴ク、比々
皆然リデアリマス、唯是ガ爲ニ最小限度廢
家或ハ絶家ト云フヤウナコトノ出現ニ依ツ
テ家族制度ノ確保ガ出來ナイ、人口政策問
題、人的資源培養ノ問題ガ遺憾ナル境地ニ
陥ラザルコトガナイトモ限ラナイト考ヘサ
セラレルノデアリマス、ソコデ將來性ノ長

リマス

イ兵力量ノ供給ヲ考ヘマスル時ニ、其ノ點

ヲ以テ之ヲ定メラレ、又廢止ノ時モ恐ラク

ニ付テデアリマスガ、「戰時ニ際シ」放火罪

居リマスノデ、忌憚ナキコトヲ申上ゲテ陸
軍當局ノ御考ヘヲ伺ツテ置キタイ

ト云フ氣持ガ先般來私ノ頭ニ犇々ト浮ンデ
エデスカラ此ノ機會ヲ利用シテ簡明ニ御尋
ネシタイト思ヒマス

イ點ハ、戰時ノ意義ニ付テハ現在ハ三歳ノ
兒童ト雖モ分ツテ居リマスガ、終止符ノ時
モ、廢止ノ勅令ガ出ナイ限りハ、二年ガ
三年、四年デモ引張ラレルト云フコトニナ

ルノデスカ、ソレニ對スル當局ノ御解釋ヲ
一應伺ツテ置キタイト思ヒマス、尤モ大藏
省所管ニ於テ軍事費ハ一會計年度トアツ
テ、ソレハ戰爭ガ濟シメモ相當ノ期間マデ
置イテオカナケレバ、イケナインダト云フ當
局カラ御答辯ガアツタコトモ知ツテ居リマ
スガ、軍事費會計ト同ジヤウニ、是デ言
ヘバ司法當局カラ色々他ノ省トモ御相談ニ
相成ツテ、御廢メニナルト云フ氣持ガ起ル
時マデハ、何時マデモ引張ラレルノデアリ
マセウカ、ソレヲ先づ第一ニ伺ヒタイト思
ヒマス

○立川委員 議事進行ニ付テ——私ハ總理
大臣ノ御出席ヲ得タノイナリマス、時間
ハ二十分程度デ宜シイノデスカラ、一寸御
都合ヲ願フヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト
思ヒマス

○野村委員長 分リマシタ
○高橋(義)委員 私ハ大藏省ノ主計局長ニ
オイデヲ願ヒタイト思ヒマス

○野村委員長 分リマシタ——モウ十二時
ヲ打チマンタカラ、午後一時カラ開會致シ
マス、是デ一時休憩致シマス

午後零時十一分休憩

午後一時十四分開議

○野村委員長 是カラ開會致シマス——内
藤君

○内藤(正)委員 大體皆サンカラソレヽ
重要ナル御質疑ガアリ、當局カラ御答ヘガ
アツタコトト存ジマスガ、此ノ點ダケハ重
複シナクテ宜カラウト思ヒマス事柄ヲ四五
摘出致シマシテ、御尋ネヲ申上ゲタイト思
ヒマス、此ノ法案ノ中ニ「戰時」ト云フ文字ガ
アリマスガ、嘗テ他ノ委員會デ戰時ノ意義
ニ付テ其ノ終リハ何時カト云フコトノ質疑
ガアリマシタ時ニ、政府當局ヨリノ答辯ハ、
平和條約締結ノ時ト伺ツタノデアリマス、
規ニ付テハ「戰時ニ際シ」ト云フ趣旨ノ文句

ヲ挿入致シテ居リマス、デアリマスカラ、例

○内藤(正)委員 只今ノ御當局ノ御說明力
ヲ行クト、然ラバ平和克復ノ後ニ於テ議會閉
會ヲ待ツノ違ガナイ時ニハ、緊急勅令デモ
奏請サレテ之ヲ御廢メニナル御考ヘデアリ
マスカ、或ハ此ノ法律ハ活カシテ置イテ、平
和克復ノ時ニハ其ノ適用ヲ廢メル、斯ウ云
フコトデセウカ、詰リ議會閉會後ニ於テハ
緊急勅令デモ御奏請サレルト云フコトデゴ
ザイマスカ、例ヘバ三月末ニナツテ平和克
復ニナツタ、議會ハナイ、十二月マデ召集
ガナイト云フ場合ニハ、眞中ガ抜ケテシマ
フ、其ノ時分ニハドウ云フ便法ヲ執ラレ
カ、ソレヲ一ソ伺ヒタイ

○大森政府委員 只今ノ御指摘ニナリマシ
テアリマスガ、此ノ三法律案デ謂フ所ノ戰
時ハ大東亞戰爭ヲ目標トシテ居ルノデアリ
マス、サウシテ戰爭が終了致シマス其ノ時
期デアリマスガ、御説ノ通リニ平和克復、
即チ平和條約ガ有效ニナツタ時ダト始ズル
ノデアリマス、サウシテ其ノ直後ニ於テ適
當ナル機會ニ此ノ法律ガ廢止サレルノデア
リマシテ、戰爭ガ事實上終了シテ居リマス
ニ拘ラズ、此ノ法律ヲ長ク施行スルト云フ
意思ハ毛頭モナイト屢々申述ベタ通リデア
リマス、尙ホ其ノ外ニ此ノ民事特別法案、
刑事特別法案ニ於キマシテ、其ノ實體的法

規ニ付テハ「戰時ニ際シ」ト云フ趣旨ノ文句

ヲ挿入致シテ居リマス、デアリマスカラ、例

アリマス

時期ニ於テ勅令ガ出ルカナンカシテ考ヘルト
云フ御話デゴザイマスガ、サウ云フコトニ
ナルト、戦時ニ於ケルト云フ文字ガ當ラナ
ハ伺ツテ置イテ宜シウゴザイマスカ
○大森政府委員 先程申述ベマシタ通リニ、
民事、刑事ノ法規ノ中デ、實體的規定ニ付
キマシテハ、「戰時ニ際シ」ト云フ文字ガ總テ
冠ツテ居ル譯デアリマス、即チ刑事特別法
案ニ於キマシテハ第一章ノ總テノ罪ニ付キ
マシテハ、「戰時ニ際シ」ト云フ文字ガ總テ
居リマス、又民事特別法ニ付キマシテハ第
一條ニ其ノ趣旨ヲ明カニ致シテ居リマス、
デアリマスカラ是等實體法規ガ戰時中ニ限
リテ適用セラルベキ趣旨ハ自ラ明白グラウ
ト思フノデアリマス、先程ノ例デ申シマシ
タ通リニ、戰時放火罪ハ戰時ニ於ケル放火
ツテ重罰ハ科セラレナイト云フコトニナ
ルノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス
○内藤(正)委員 次ニ戰時民事特別法案ニ
付テ御伺ヒラ致シマス、第二條ノ第二項ニ
「前項ノ規定ニ依リテ伸長セラレタル期間ハ
障碍ノ止ミタル時ヨリ一週間ノ經過ニ依リ
テ満了ス」トアル、是ハ貴族院デモ相當論
議サレタト思ヒマスガ、此ノ一週間ト云フ
(委員長退席、原委員長代理着席)
○大森政府委員 御指摘ノ一週間デアリマ
スガ、是ハ御承知ノ通りニ斯様ナ事故ニ依
リマシテ——約定期間ヲ申シマスルト便宜

ルベキモノデアルカドウカト云フコトハ、
申スマデモナク民法上ノ大原則ニ依ツテ支
配ヲセラレル譯デアリマス、其ノ民法上ノ
大原則ヲ此ノ法案ノ第二條デ變更スル意思
ハ毛頭ナイノデアリマス、唯約定期間到来
間際ニ斯様ナ空襲等ノ事故ガ生ジマシタ場
合ニ、總テ百般ノ契約ニ付テソレガ責ニ歸
スペキモノデアルカドウデアルカト云フコ
トヲ判別致シマスノハ、是ハ煩雜デアリマ
スカラ、總テノ契約ニ付キマシテ一週間ヲ
立證ナクシテ法律上當然ニ遲滯ノ責ナキモ
ノニスル、斯ウ云フ趣旨デアリマス、即チ
「モラトリアイム」式デアリマス、然ラバ何ガ
故ニ一週間ト云フコトヲ考ヘタカト申シマ
スト、斯ウ云フ障碍ハ如何ナル種類ノモノ
ガアリマスカラ、固ヨリ豫想ハ出來マセヌケ
レドモ、今日先づ吾々ノ想像シ得ル程度ニ
於キマシテハ、一週間位待テバ大抵ノ契約
定人ノ陳述若シクハ鑑定書ガ幾ラカ重々シ
クナルト思フ、制裁モアルコトデアリマス
カラ、之ヲ守ラヌト所謂宣誓ヲ破ルト云フ
コトニナリマスノデ、不實ノコトガアツテ
ハイケナイト云フコトニナリマスガ、若シ
斯ウ云フコトニナルト、宣誓ガナインデア
リマスカラ、刑法上ノ制裁ナキニ歸着スル
ト云フ結論ニ伺ツテ置イテ宜シウゴザイマ
スカ
○大森政府委員 全ク御説ノ通リデゴザイ
マス
○内藤(正)委員 第十六條ニ付テ伺ツテ置
キタイ、「受訴裁判所」トアリマスガ、是ハ
控訴審ニナル時ハ控訴審ヲ持ツ裁判所ト伺
ツテ置イテ宜シウゴザイマスカ
○大森政府委員 是亦御説ノ通リデアリマ
スガ、其ノ前ニ先程一松委員カラ質問ノア
マセス、現在ノ國策ノ線ニ沿フ上カラ云ヘ
バソレガ本當カモ知レマセヌガ、之ヲ書カ
スコトニ依ツテ其ノ人ノ名譽ハ保持サレナ
イコトニナルノデアルカラ、今後ハサウ云

デアラウト思ヒマスガ、約定期間ヲ徒過致
シマシタ場合、ソレハ債務者ノ責ニ歸スベ
キモノデアルカドウカ、即チ遲滞ノ責ヲ執
ルベキモノデアルカドウカト云フコトハ、
申スマデモナク民法上ノ大原則ニ依ツテ支
配ヲセラレル譯デアリマス、其ノ民法上ノ
大原則ヲ此ノ法案ノ第二條デ變更スル意思
ハ毛頭ナイノデアリマス、唯約定期間到来
間際ニ斯様ナ空襲等ノ事故ガ生ジマシタ場
合ニ、總テ百般ノ契約ニ付テソレガ責ニ歸
スペキモノデアルカドウデアルカト云フコ
トヲ判別致シマスノハ、是ハ煩雜デアリマ
スカラ、總テノ契約ニ付キマシテ一週間ヲ
立證ナクシテ法律上當然ニ遲滯ノ責ナキモ
ノニスル、斯ウ云フ趣旨デアリマス、即チ
「モラトリアイム」式デアリマス、然ラバ何ガ
故ニ一週間ト云フコトヲ考ヘタカト申シマ
スト、斯ウ云フ障碍ハ如何ナル種類ノモノ
ガアリマスカラ、固ヨリ豫想ハ出來マセヌケ
レドモ、今日先づ吾々ノ想像シ得ル程度ニ
於キマシテハ、一週間位待テバ大抵ノ契約
定人ノ陳述若シクハ鑑定書ガ幾ラカ重々シ
クナルト思フ、制裁モアルコトデアリマス
カラ、之ヲ守ラヌト所謂宣誓ヲ破ルト云フ
コトニナリマスノデ、不實ノコトガアツテ
ハイケナイト云フコトニナリマスガ、若シ
斯ウ云フコトニナルト、宣誓ガナインデア
リマスカラ、刑法上ノ制裁ナキニ歸着スル
ト云フ結論ニ伺ツテ置イテ宜シウゴザイマ
スカ
○内藤(正)委員 更ニ御伺ヒシマスガ、此
コトニ限定ナレマシタ基礎ヲ伺ヒマス
(委員長退席、原委員長代理着席)
○大森政府委員 御指摘ノ一週間デアリマ
スガ、是ハ御承知ノ通りニ斯様ナ事故ニ依
リマシテ——約定期間ヲ申シマスルト便宜

リマシタコトニ關聯シテ、私ノ氣付イタ點
ヲ申上げテ當局ノ御所見ヲ伺ヒタイ、先程
ト云フコトニ付テ審議ヲ致シタコトハアリ
マセヌ、一週間ノ經過ト云フ文字ガ是マデ
慣用サレテ居リマスシ、徒過ヨリハ是ガ宜
イ、斯様ニ私共ハ考ヘテ居リマス
○内藤(正)委員 先程一松委員ガ第九條ノ
證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ代ヘ書面ノ提出ガ
出来ルト云フ新シ法文ニ對シテ、宣誓ヲ
ナシシメル方ガ宜イト云フコトニ付テ論議
ノデアリマス、即チ此ノ一週間ハ何等ノ主張
トハ思ヒマセヌケレドモ、此ノ證人、鑑定
人ノ訊問ニ代ヘテ書面ノ提出ヲナサシムル
ト云フコトニナツテ居リマスト、私ハ少シ
弱イヤウナ氣ガスルノデアリマス、宣誓ヲ
ナサシムルコトニ依ツテ、證人若シクハ鑑
定人ノ陳述若シクハ鑑定書ガ幾ラカ重々シ
クナルト思フ、制裁モアルコトデアリマス
カラ、之ヲ守ラヌト所謂宣誓ヲ破ルト云フ
コトニナリマスノデ、不實ノコトガアツテ
ハイケナイト云フコトニナリマスガ、若シ
斯ウ云フコトニナルト、宣誓ガナインデア
リマスカラ、刑法上ノ制裁ナキニ歸着スル
ト云フ結論ニ伺ツテ置イテ宜シウゴザイマ
スカ
○大森政府委員 全ク御説ノ通リデゴザイ
マス
○内藤(正)委員 第十六條ニ付テ伺ツテ置
キタイ、「受訴裁判所」トアリマスガ、是ハ
控訴審ニナル時ハ控訴審ヲ持ツ裁判所ト伺
ツテ置イテ宜シウゴザイマスカ
○大森政府委員 是亦御説ノ通リデアリマ
スガ、其ノ前ニ先程一松委員カラ質問ノア
マセス、現在ノ國策ノ線ニ沿フ上カラ云ヘ
バソレガ本當カモ知レマセヌガ、之ヲ書カ
スコトニ依ツテ其ノ人ノ名譽ハ保持サレナ
イコトニナルノデアルカラ、今後ハサウ云

止メサセルト云フヤウナ御考ヘハナイデセ
ウカ、之ヲ書クコトハ宜イガ、書ケバ名譽
ノ保持ハペシヤンコデス、例ヘバ奏任官ノ
何級俸ト云フコトデ分ツテ居ル、又ソンナ
ニ餘計貰ツテ居ナイ人モアル、今マデ餘程
エライ人ダト思ツテ居ツタ人ガ、ソレガ分
私ハ本當ニ見テ居ルガ、ソレニ付テ御考慮
ニ相成ルカドウカ、ソレヲ一ツ御伺ヒ致シ
タイ

○大森政府委員 只今御指摘ニナリマシタ
常會ノ調査デアリマスガ、私ハ全ク初耳デ
アリマス、私其居住ノ方面ニ於テハ月給ハ
書カセテ居リマセス、私自身モ書イタ憶エ
ハナイノデアリマスガ、併シ是ハ書カセル
コトガ宜イカ、書カセナイコトガ宜イカ、
種々考慮ハアリマセウガ、少クトモ未ダ曾
テ左様ナ相談ヲ受ケタコトモナク、事實ヲ
耳ニシテ居リマセヌカラ、曾ツテ其ノ點ニ
付テ研究ヲ致シタコトハゴザイマセヌ、併
シ御聽キ致シタ以上、其ノ利害得失ニ付テ
篤ト考ヘテ見タイト只今ハ存ジテ居リマス
○内藤(正)委員 ソレハ私ハ實際書カサレ
タアナタ方ノオ仲間ニ聽イタノデアリマス、
是ハ責任アル言葉トシテ申上ゲテ置キマス、
能ク御留意ニ相成ル方ガ名譽ヲ保持スル上
ニ宜カラウト思フ、殊ニ名譽ダケデナシニ
威信ヲ傷ツケナイ方面カラ考ヘルガ宜イト
思フ

ソレカラモウ一つハ一松委員カラ色々優
遇案ニ付テ御話ガアリマシタガ、都會地ト
農村トノ裁判所所在地デベソレド、住宅料
モ違ツテ居リマスガ、之ニ付テ優遇案ノ一
ツトシテ住宅營團ノ方ニ御交渉ニナル御氣

總務部長ニ聽イテ見タノデスガ、法規ノ上
デ旨ク行クト云フコトデアリマス、ソレデ
安イ家賃ヲ以テ氣持ノ好イ住宅ニ都會ノ人
ガ入ルコトガ出來ルト思ヒマスカラ、優遇
案ノ一ツトシテサウ云フ御考ヘヲ御持チデ
アルカドウカ伺ヒタイ

○大森政府委員 今日午前一松委員カラ、
又只今ハ内藤委員カラ吾々ニ對シテ御懇情
ナル御言葉ヲ頂戴致シマシテ、偏ヘニ感謝
ヲ致シテ居ル次第アリマス、舍宅ニ付キ
マシテハ私共從來考慮致シテ居ルノデアリ
マスガ、現在資材ノ關係カラ致シマシテ、
思フヤウニ參ラナイコトハ洵ニ慚愧ニ存ジテ
居ル次第アリマス、然ルニ住宅拂底ノ現
狀デアリマシテ、私共職員ニ於キマシテモ
具ニ辛酸ヲ嘗メテ居ルノデアリマス、折角
轉任ノ辭令ヲ受ケテモ勿急ニ轉任ノ實ヲ舉
ゲルコトガ出來ナイト云ツタヤウナコトモ
アリ得ルノデアリマシテ、相當苦慮致シテ
居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテ住宅
營團ヲ適正ニ利用スルト云フコトニ付テノ
御指摘ノ案デアリマスガ、極メテ結構ナ御
考ヘデアルト思ヒマシテ、私共モ出來得ル
限り之ヲ利用スルヤウニ協議ヲ遂ガタイト
思ツテ居リマス、嘗テ住宅組合ニ私共直接
間接ニ色々御世話ヲ申シテ相當實效ヲ擧ゲ
タコトガアリマス、左様ナ關係モアリマス
シ、折角ノ御名案デアリマスカラ、私共其
ノ御趣旨ニ副ヒタイト存ジマス

○内藤(正)委員 刑罰法規ノ方デアリマス
ガ、構成法ノ改正ニ依ツテニ審制度ニナル
事云フコトデアリマス、運用ノ如何ニ依ツ

リマセヌ、或ハ非難ヲ受ケラレルヤウニテハ淘ニ結構ダト云フ現象ヲ呈スルカモ分
ルカモ知レマセヌガ、此ノ際ニ關聯的ニ伺
ト體刑ト何レヲ重シトサレテ居リマスル
カ、恐ラク體刑ヲ重シトシ、罰金ヲ輕シト
サレテ居ルト思ヒマスガ、其ノ點私ハ左様
ニ思ツテ居リマスガ、之ヲ一ツ伺ヒマス
○池田(克)政府委員 御意見ノ通リト存ジ
マス

○内藤(正)委員 所ガ一ツノ例ヲ以テ行キ
マスガ、茲ニ懲役三箇月ノ刑ニ處セラレタ
被告ガ、之ヲ重シトシテ上告シタ、上告裁判
所ハ被告ニ對シ金何万圓ノ罰金ヲ科シ、體刑
刑ヲ重シトシ罰金ヲ輕シトシタ、之ヲ一日
五十圓ヲ以テ通算スルト、三箇月ノ體刑ヨ
リハ三倍モノ四倍モノモナズ、納付スル
能ハズ、皆ヘコタレテ居ル、サウ云フ場合
ニ今日ノ司法省ノ御考ヘトシテハ、體刑ハ
重イノデアル、罰金ハ輕イノデアル、サウ
シテ被告ノ控訴ハ理由アリトシテ、原判決
ハ惡イノダ、斯ウ云フコトニナツテ、三箇
月ノ體刑ヲ八箇月モ九箇月以上モ掛ラナケ
レバ拂ヘヌヤウナ罰金刑トシタ、ソレハ適
正ナ裁判デセウカ、サウ云フコトガ今後モ
起ルト思ヒマスノデ伺ヒタヤ

○池田(克)政府委員 只今内藤サンカラノ
御指摘ノヤウナ事例ガ若シ假ニアリト致シ
マシタナラバ、ソレハ餘リニ先程私ガ申シ
ヲドノ場合ニモ當嵌メルト云ツタヤウナ誘
金刑ハ體刑ヨリモ輕イノダト云フ考ヘ方ノ
機械的ナ適用ナンデ、餘リニ形式的ナ物差
事情ノ爲ニ、例ヘバ數年前司法省カラ發表

シテ居リマスル刑法ノ改正假案ニ於キマシテハ、刑ノ適用ニ關シマスル一定ノ基準ヲ設ケマシテ、殊ニ例ヘバ罰金刑等ヲ言渡シマスル場合ニ於テハ、其ノ者ノ資産状態生計状態、收入、サウ云フ點モ斟酌シテ罰金刑ノ言渡ノ基準ヲ示シテ居リマス、左様ナ規定ガゴザイマセヌデモ、今日ノ法制ノ下ニ於テモ、サウ云ツタ心掛ヲ以テ妥當ナル裁判ヲナスベキコトガ望マシイ、左様ニ考ヘテ居リマス

○内藤(正)委員 只今御話ガゴザイマシタガ、サウ致シマスト此ノ案ガ何等修正ナクシテ通過シタ曉ニ於テハ、私ノ知レル範圍ニ於テ、體刑ハ重イカラ罰金ニシテヤルノダト云フノデ、罰金ニシタ實例ヲ持ツテ居リマスガ、サウ云フ裁判官ノ考へ方ハ惡イトシテ再教育ト云ヒマスカ、今後ノ取扱ヒニ付テドウ云フコトヲヤリニナルノデスカ、事實サウ云フ裁判官ガ世ノ中ニ澤山アルト思ヒマスガ、一日五十圓、百圓ト云フ大キナ罰金ヲ以テ、結局豫審ノ判決ヲ忘レテ、財産モナイノニ三層倍ニモ當ルヤウナ罰金ヲ納メサセルト云フ珍ナ現象ガアリマス、是ハ私ハ責任ヲ以テ申上ゲルノデカラ、今後此ノ案ノ御取扱ニ付テサウ云フコトヲドウ云フ方法デ是正サレルカ、刑ニハ自ラ標準ガアリマスカラ、アナタノ方デドウ仰シツヤテモ裁判ニハ干渉出來マスマイガ、刑ノ量定ニ於テ適正ナルモノト適正ナラザルモノガアリ、今ノ如キハ洵ニ不適正ノモノダト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ考へ方ヲ是正スル方法ハドウ云フヤウニサレルノヒマス、ソンナ人ガ澤山世ノ中ニアツテハ

○大森政府委員　具體的ノ事例ニ付キマシテハ、私ハ存ジナイノデアリマス、固ヨリ批評ガ出来マセヌガ刑ノ量定ノ適正ヲ得ルト云フコトハ、此ノ案ノ如何ニ拘ラズ、常ニ裁判ニ於テ最モ重要ナ問題ノ一ツデアルコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、況シテヤ斯様ナ案ヲ以テ臨ミマス以上、益々刑ノ量定ノ適正ヲ必要トスルコトヲ痛感スルノデアリマス、デアリマスカラ此ノ趣旨ニ於キマシテ今後益々刑ノ量定ニ付テハ深甚ノ注意ヲ拂ヒマスヤウニ、或ハ通牒ナリ、或ハ司法研究所ニ於ケル訓練ナリ、或ハ吾地方ニ出張致シマス時ノ懇談ナリ、或ハ長官ヲ經テスル種々ノ協議ナリ、凡ニユル總テノ方法ヲ善用致シマシテ、刑ノ量定ニ適正ヲ期スルヤウ、一同努力邁進シタイト存ズル次第アリマス

出来ナイモノガアルノデ、ソレヲ分擔スレバ宜イデヤナイカト思ヒマスガ、特ニ二名ト御書キニナツタノハ事件ノ表ノ上カラ見テ無理ダ、三名、四名居ナクテハナラヌト云フヤウナコトヲ御氣付キニナツタコトガアルデセウカ、大抵ソコラニ現ハレテ居カラ、斯ウ云フ數ノ制限ガ出テ來タノデハル四五百頁、千頁未満ノモノバカリ御覽ニナイカト思ヒマスガ、其ノ根據ヲ伺ヒマスナツタデセウカ、是ハ表ヲ御覽ニナツタ上ヲ致シタ積リデアリマス、成程記録ノ中ニ敢テ國防保安法等ニ先例ガアルト云フダケマシテ、私共モサウ云フ経験ハアリマスケレドモ、多ク左様ニ厖大ナ記録ニナリマスル事件ハ被告人ガ數名デアリマシテ、被告人一人ヲ單位トシテ申シマスナラバ、二名ノ辯護人ト云フコトハ必ズシモ不足デナイト存ジタ次第アリマス、尙ホ此ノ點ニ付テ申添ヘテ置キタイノデアリマスガ、成程二人ト申シマスノハ法廷ニ關スル關係、裁判所ニ對スル關係デアリマシテ、被告人ナリ辯護人ナリ相談ヲ致シマスル際ニ、助手ヲ使フトカ、事實上ノ相談相手ヲ加ヘルト云フ場合ニハ、敢テ此ノ數ノ限定ハ受ケナリ管デアリマス、但シ是亦例外的ニ申述ベリ事件デアリマスナラバ、是ハ事實上ノ運用致シマシテ、餘リ多クノ辯護人ノ手ヲ渡

ア認メテ居ラレマス、又被告人ニモ其ノ機
會フ興ヘラレルヤウニ、專念シテ居ルト當
常御聲明ニナルノデアリマス、辯護士ノ必
要不必要ハ別トシテ、大昔ノ御奉行時代ア
裁判デモ、ヤハリ説明役ハ附イテ居ツタ
思ハレマス、爾來明治、大正、昭和ト、此
ノ辯護權ニ付テ、司法大臣ハアチラコチラ
ノ辯護士會等デ御演說ニナリ、今日ハ時局
柄ト云ヒ、舊來ノ如キ自由主義的ノ、資本
主義的ノ理論ハ許サレスガ、辯護權ノ伸暢
ダケハ相當認メテヤラナケレバナラヌニ拘
ラズ、特ニ斯ウ云フヤウニ、御制限ニ相成
ツタノハドウ云フノデセウカ、公判期日ノ
喚出ガアリ、許可、不許可ハ裁判所ガ腕ニ
握ツテ居ル、ソレハ必要ナケレバ許サルカ
ツタラ宜イ、二人トシテ定メテアルト云
理由ヲ伺ヒタイ、ソレカラ十日ノ期間ヲ經
過シテハイケナイト書イテアリマスガ、何ブ
デモカデモ、病氣デ寢テ居ラウガ、何ブ
ラウガ、十日經ツタライケナイ、尤モ病氣
ノ時ニハ已ムヲ得ナイト云フコトニ行ケル
ノデハナイカト云フ御辯明ガアルカモ知レ
マセヌガ、特ニ斯ウ云フヤウニナサイマシ
タ趣旨ヲ伺フノデアリマス、殊ニ滿洲トカ、
朝鮮トカ、其ノ他ノ地ニ居ル人ガ、内地ニ
於テ喚出ヲ受ケタト云フ場合モアリマス、
御承知ノ通リ昔ノヤウナ交通ノ自由モ今日
ハ制限サレテ居ルノデアリマス、一々許可
ガナケレバ滿洲ニモ行クコトガ出來ナイ、
又向フカラ此方ヘ許可ガナケレバ歸レヌ
ニ、ナゼスウ云フコトニナリマスカ、窮屈
デハアリマセヌカ、之ヲ伺ツテ置キマス
○池田(克)政府委員 此ノ第二十條第二項

而モ敏活ニ運行ヲサセテ行キタイ、サウスルコトガ治安ノ確保ニ取ツテ必要不可缺ノコトデハナカラウカト云フ點ガ實ハ根本デゴザイマス、ソコデ此ノ問題ニ付キマシテモ、モ^レ辯護人ノ選任ノ問題ニ付キマシテモ、此ノ案ニ規定ガゴザイマス通り、最初ニ定メシタ公判期日ニ係爾召喚狀ノ送達ヲ受ケタ日カラ十日ノ日限ガゴザイマスレバ、辯護人ヲ選任スルニ十分ノ餘裕ガアルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘマシタ次第デアリマス、併シナガラ御指摘ノヤウナ御事情ノ下ニ、十日間或ハ到頭選任スルコトガ出来ナカツタト云フ風ナ事情ノアリマスコトハ、是ハ當然豫想シナケレバナリマセヌノデ、ソコデ但書デ以テ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テハ云々ノ實ハ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、大體此ノ但書ノ運用ノ適正ニ依リマシテ、御心配ノヤウナ點ハ萬々ナイノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘマシタ次第デアリマス

○池田(克)政府委員 辞任サレタヤウナ場合ニ於キマシテ、尤モ其ノ場合ニ於キマシテ、例ヘバ下品ナコトデゴザイマスケレドモ、訴訟ヲ遅延セシメル、延バサウ延バサウト云ツタヤウナ意圖ノ下ニ辯護人ノ方ガ辭任サレル、又辭任サレル、斯ウ云フヤウナコトガゴザイマスト、是ハ但書ノ適用ハナイト考ヘテ居リマス、併シナガラソソナ風ナコトデナシニ、一旦選任シタ辯護人ガ辭任サレタ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ當然ニ但書ノ適用ガアルト考ヘテ居リマス

此ノ喚出狀ノ發送ニ付テ運用ノ問題デスガ
從來裁判所ニ對スル上ノ方ノ監督方法トシ
テハ表ヲ記入ナサツタ、事件ヲ受ケタ時カラ
決裁終了、判決ニ至ルマデノ日時トカ、日計表
ヲ取ル、月計表ヲ取ル、年表ヲ取ルコトニナツ
テ居リマスガ、表ヲ記入スルヤウナコトヲナ
サルト、喚出ノ期日ト云フモノガ非常ニ短
クナツテ、準備ガ出來ナクナルノデアリマ
スガ、是ハ記錄ニ依ツテ相當ニ考慮ニ相成
ルノデアリマセウカ、從來ノ態度ヲ御改メ
ニナラスト、此ノ運營ガ旨ク行カヌト思ヒ
マスガ、之ニ對スル將來ノ措置方法如何
○大森政府委員 御說ノ通りニ司法部ニ於
キマシテ、種々ナル統計表ヲ取ツテ居ルコ
トハ確カデアリマス、併シ裁判事件ニナリ
マスルト、是コソ内容ノ複雜ナルモノ簡單
ナルモノ千差萬別デアリマス、悉ク表ヲ過
信スルノ惡イコトハ私共熟知致シテ居リマ
ス、唯併シ左様ナ考慮ヲシツツ統計ヲ取り
マセヌト、總テノ行政ニ付テノ指導方針ヲ
得ルコトモ困難デアリマスカラ、統計表ヲ
ヤハリ徵シテ居リマス、併シ之ニ決シテ因
ハレナイ積リデアリマスカラ、右御諒承願
ヒタイノデアリマス

マス、ソレナラ筆ヲ入レテ胴體ト首ノ分界點ハ何處デスカト聽クト困ルデス、米、味噌、ソンナコトハ伺ヒマセヌ、ソコデ生活必需品ノ分界點ハ法規ノ何處ニ根據ヲ置カレルカ、或ハ商工省令ノ何ニ依ル之ニ依ルト云フモノガケナレバナラス、分リ切ツタモノナラ宜シイガ、ドツチカト云フト足踏シヲシナケレバナラヌコトガ出來ルト思ヒマスノデ、一定ノ基準、是ハ罪ニナルカナラスカ、地獄ニ行クカ極樂ニ行クカノ岐レ目デアリマスカラ、此ノ生活必需品ノ解釋ヲ明瞭ニ御願ヒシタイト思ヒマス

夕時ニ、防毒「マスク」ノ如キハ今日ノ戰時
下ニ於ケル一般平均人ノ生活ニ取リマシテ
ハ、是ハ生活必需品デハナイト思ヒマスケ
レドモ、或ハ將來ノ戰局ノ推移ニ依リマシ
テ、毎日々々敵襲ヲ受ケルト云フヤウナコ
トニナリマスルト、防毒「マスク」モ其ノ時
ニハ一般平均人ノ生活必需品ニナツテ參リ
マス、サウ云フヤウナ關係デゴザイマシ
テ、固ヨリ固定的ナモノデナシニ、ヤハリ
流动ト云フ言葉ガ滴當カドウカ知レマセヌ
ガ、要スルニ流动的ナーツノ觀念ダト思ヒ
マス、戰爭ノ及ボス影響ノ大小、或ハ戰時
經濟力ノ狀況ナドニ依リマシテ、其ノ内容
依ツテ判断ガアルコトハ言フマデモナイト
モシテゴザイマセヌ、命令ノ定ムル所ニ依
ルト云フヤウナコトモゴザイマセヌケレド
モ、生活必需品ト云フ言葉デ以テ十分賄ヒ
得ルノデハナイカ、之ニ依ツテ皆國民
ガソレド、自分ノ健全ナ常識ノ判断ニ懇ヘ
レバ、自ラ生活必需品ノ意味、ドウ云フ物
ガ生活必需品ニ當ルカト云フコトニ付テノ
判断ハ、誤リナキヲ期スルコトガ出來ルノ
デハナイカ、斯様ニ考ヘル次第アリマ
ス、併シ究極ニ於キマシテハ、結局ハ裁判
所ノ判断ニ俟ツベキモノダト思ヒマス、併
シナガラ一般ニ於キマシテモ、何ガ一體日
常生活ニ取ツテ必要缺クベカラザルモノカ
ト云フ點ニナリマスレバ、是モ常識デ
自ラ解決シ、判断シテ行クコトガ出來ルノ
デハナイカト、斯様ニ考ヘマシテ、第十五
條ニ於キマシテハ「生活必需品」ト規定シタ
譯デゴザイマス、尤モ立案ノ當時ニ於キマ

シテハ、命令ノ定ムル所ニ依ルト云ツタヤ
ウナ立法形式モ考ヘマシタ、命令ニ讓ル場
合ニハ或ル程度マデ例示スルト云フコトモ
考ヘマシタケレドモ、命令ニ讓リマシテモ、
先程御説明申シマシタ通りニ、一ツノ流动
的ナ觀念デゴザイマスノデ、命令デ決メタ
カラト云ツテ、ソレガ其ノ儘デ何時マデモ
行クト云フ譯ノモノデハゴザイマセヌ、又
例示致シマシテモ、唯例示ダケデゴザイマ
シテ、實際ノ運用ト云フコトニナリマスレ
バ、是ハヤハリ國民ノ常識ニ懇ヘナケレバ
ナラヌ、又更ニ究極ニ於テハ裁判所ノ判断ニ
俟ツベキコトデゴザイマシテ、何レノ點カラ
見マシテモ、ドウモ生活必需品ト云フヤウ
ニ規定スルコトガ一番妥當ナ立法形式デヤ
ナカラウカト考ヘマス、比較法制ノコトヲ
申上げテハ何デアリマスガ、「ドイツ」アタリ
デモ生活必需品ノ規定ヲ作リマス場合ニ、
一遍ハ例示シタコトモゴザイマス、ドウモ
ニ等シヤウナ運用ニナリマスノデ、最近
ニ於キマシテハヤハリ例示トカサウ云フコ
トヲ止メマシテ、生活必需品ト云フコトデ
規定シテ居ルヤウナ實情デアリマス、大體
左様ニ考ヘマシテ、此ノ案ヲ立案致シマシ
タ次第デゴザイマス

○内藤(正)委員 只今私ノ質問ニ對シテ御
答ヘヲ得マシタガ、丁度蒟蒻問答ト一緒
デ、私ガ抽象的ニ問ウタラ、誰ニデモ分リ
ヨイヤウナ御言葉デ御答辯下サイマシテ結
構デアリマスガ、其ノ御答辯其ノモノガ分
ラナイ、ソレデハ裁判官ニ依ツテ日本全國
地方的ニ皆違フ、或ル地方ニ於テハソレガ
生活必需品デアルガ、或ル地方ニ於テハ生
活必需品デナイモノガアリマス、サウナツ
テ來ルト生活必需品ト云フ空ナ文字ダケデ
ハ、丁度南無阿彌陀佛ト云フ文字ヲ書イ
テ、南ト云フ字ハ何ダ、無ト云フ字ハ何
ダ、斯ウ云フ説明ガアツテコソ分ルガ、唯
南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛ト言ツテ、是
ハ高遠ナ意味ヲ持ツテ居ルノダト云フ御說
明デハ、國民ガ納得セヌノデハアリマセヌ
カ、是程恐シイモノハナイ、五年以下ノ懲
役、一万圓以下ノ罰金ニ處セラレル、前科
者ニナルノデス、買占、賣惜ハ分リマス
ガ、少クトモ是々ノモノガ生活必需品ダト
云フ位ノ説明ハナケレバナラヌ、アナタカ
ラ説明ガ出來ナケレバ大臣カラ答辯ヲ求メ
マス、具體的ニ米、味噌、醬油ト云フ風ニ、
少クトモ議會ヲ通ジテ國民ニ納得セシメル
必要ガアル、國民ニ納得セシメルノニ、ア
ナタノ蒟蒻問答ノヤウナ、禪問答ノヤウナ
御言葉デハ私ハ困ルト思フ、生活必需品ト
云フモノハコンナモノダト云フ説明ガナ
ケレバナラヌ、例ヘバ南洋ノ「ヤツブ」島
アル、又此ノ中ニ愛媛縣ノ方ガ居ラレルカ
ドウカ知リマセヌガ、愛媛縣ノ或ル所
アナタ方ノ奥サンニ聽イテ御覽ナサイ、諸
大變安クテ榮養ガアル、「カロリー」ガアル
ナ人ガアル、大森サンデアツタカ、有馬サ
ンデアツタカ、「ラジオ」放送シタ、鰐ハ
太イ、是ダケノ違ヒガアル、有馬賴寧ハ鰐
ヲ食ツタカラ細イガ、私ノ友達デ大キクナ
ツテ居ルノハ鰐ヲ食ツタカラデアル、サウ
云フコトヲ大森サンデアツタカ、放送ニナ
ツタ、私ハ確カニ聞イタ、ソコデ鰐デモ、
アノ目刺ヲ買占メテ居レバ、是ハ好キナ者
ニハ生活必需品ダト言ヘル、ソコデ少クト
モ生活必需品ト云フノハ味噌、醬油、或ハ
鹽、砂糖、或ハ米ト云フ風ニ、何カココニ
具體的ニナラナケレバナラヌ、アナタノ説
明デハサウナツテ居マセヌ、此ノ議會ヲ

活必需品デナイモノガアリマス、サウナツ
テ來ルト生活必需品ト云フ空ナ文字ダケデ
其ノ法律ガ、マルデ抽象的ナモノデ、南無
阿彌陀佛、南無妙法蓮華經ト云フヤウナ
カ、米、味噌、醬油デヤナイカト言ハレル
カモ知レヌガ、ソレナラバ伺ヒマセウ、私
ハ食べマセヌガ、東京ノ街中デ賣ツテ居ル
海苔ノ佃煮アレハ生活必需品デセウカ、
好キナ人ニハ生活必需品デアル、併シ私
ハ好キデナイ、サウナルト嗜好品カ生活
必需品カ、海苔ノ佃煮ハ食ハヌデモ人間ハ
生キテ居ラレル、アナタ方ハ是モヤハリ入
レタイデセウ、ソコデ生活必需品ト云フモ
ノハ、三度々々ドウシテモ日本ノ國民生活
ニ必要ナモノデアル、サウシテ是ダケハナ
クテモ宜イガ、併シ榮養ヲ攝ルノニハアツ
タラ宜イデヤナイカト云フモノモアル、モ
ニ必要ナモノデアル、サウシテ是ダケハナ
クテモ宜イガ、併シ榮養ヲ攝ルノニハアツ
タラ宜イデヤナイカト云フモノモアル、モ
ウツ言ヒマセウ、目刺ノ好キナ人ト嫌ヒ
ナ人ガアル、大森サンデアツタカ、有馬サ
ンデアツタカ、「ラジオ」放送シタ、鰐ハ
太イ、是ダケノ違ヒガアル、有馬賴寧ハ鰐
ヲ食ツタカラ細イガ、私ノ友達デ大キクナ
ツテ居ルノハ鰐ヲ食ツタカラデアル、サウ
云フコトヲ大森サンデアツタカ、放送ニナ
ツタ、私ハ確カニ聞イタ、ソコデ鰐デモ、
アノ目刺ヲ買占メテ居レバ、是ハ好キナ者
ニハ生活必需品ダト言ヘル、ソコデ少クト
モ生活必需品ト云フノハ味噌、醬油、或ハ
鹽、砂糖、或ハ米ト云フ風ニ、何カココニ
具體的ニナラナケレバナラヌ、アナタノ説
明デハサウナツテ居マセヌ、此ノ議會ヲ

通ジテ、例示的ニ、是ダケガ生活必需品ダ、是ダケノモノハヤルノダ、此ノ以外ノモノハタニ其ノ場合ニ依ツテ生活必需品ニナルノダト云フヤウナ御説明ガナクテハ、ソナ蒟蒻問答デハ吾々ハ承知シマセス

○池田(克)政府委員 私ノ御説明ノ仕方ガ非常ニ抽象的ニナリマシテ、實ハ内藤サンノ御問ヒニナラントスル所ニ合ツテ居ナカツタヤウデ、御叱リヲ受ケテ洵ニ恐縮デゴザイマス、此ノ生活必需品ト申シマスノハ、一般國民ノ日常生活ヲ維持スルニ必要缺クベカラザルモノデアリマシテ、此ノ生活必需品トシテ考ヘテ居リマスルノハ、只今モ御指摘ニナリマシタ通リニ、米、麥、雜穀、味噌、醬油、砂糖、ソレカラ食用ノ油、魚類、炭、ソレカラ野菜類、サウ云フ風ナモノヲ實ハ此ノ場合指ス次第ゴザイマス

○内藤(正)委員 ソレデハモウ一ツ附加ヘテ伺ヒマス、アナタハ是ハ人間ダケヲ對象ニシテ御考ヘニナツテ居ルノデスカ、例ヘバ豚ノ飼料トカ色々ナモノガアリマスガ、此ノ生活必需品ト云フモノハ人間ヲ對象トシタル法規デアリマスカ、或ハ又人間生活ノ本ニナルモノ、豚ガ大キクナレバ人間ハ豚肉ヲ食フ、牛ガ大キクナレバ牛肉ヲ食フ譯デスガ、ソレハドウデセウカ、飼料ト云モノカラ豚ノ形ニナリ、牛ノ形ニナリ、言葉ヲ換ヘレバ生産デス、ソコマデ入レルノデスカ、入レナイノデスカ

○池田(克)政府委員 入レナイ趣旨ゴザイマス
○内藤(正)委員 ソレデハ私ハ若シ時間ガ餘ツタラ外ノコトヲ言ハシテ貰ハウト思ヒ
○原委員長代理 服部君

マシタガ、時間ガ参リマシタカラ嚴重ニ一時間ヲ守リマス、サウシテ適當ナ時ニ或ハ補足的ニ御許シ願フカモ知レマセス、一時間使ヒマシタカラ是デ止メマス

○服部(英)委員 私モ時間ヲ制限セラレテ居リマスルカラ、成ベク簡単ニ御尋ネ致シタイノデアリマスルガ、退席シテ居ル場合ニ質問答ノ濟ミマシタ分ガアリマスレバ、御遠慮ヲ致シマスルカラ委員長ノ御注意ヲ願ヒマス

第一ニ司法當局ニ御伺ヒ致シマスルコトハ、殊ニ初犯者ニ對シテ全面的ニ執行猶豫ノ恩典ニ浴セシムルトノ氣持ヲ以テ裁判權ヲ行使スルノ御考ヘハアリマセスカ、是ガ質問ノ趣旨デアリマス

執行猶豫ノ制度ガ出來マシテカラ既ニ五十一年ヲ經過致シテ居リマスルガ、此ノ制度ハ極メテ犯罪者ヲ改悛セシムルニハ有效ナルモノデアルコトヲ、永年ノ經驗上實驗致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ私共ハ成ベク此ノ制度ヲ全面的ニ、殊ニ初犯者ニ對シテハ、其ノ犯狀、性格等ヲ檢討致シマシテ、勿論裁判ハ裁判官ノ爲ス所デアリマシテ、司法當局ト雖モ之ヲ左右スルコト出來ナイテ、其ノ犯行ノ種類ハ種々雜多デアリマス、ソレハヤハリ生活必需品ノ本ニナル、モノカラ豚ノ形ニナリ、牛ノ形ニナリ、言葉ヲ換ヘレバ生産デス、ソコマデ入レルノデスカ、入レナイノデスカ

○池田(克)政府委員 入レナイ趣旨ゴザイマス
○内藤(正)委員 ソレデハ私ハ若シ時間ガ餘ツタラ外ノコトヲ言ハシテ貰ハウト思ヒ
○原委員長代理 服部君

ニ制セラレテ本意ニアラズシテ犯シタル者、及び初メヨリ計畫的ニ利ヲ漁ラントシテ犯シタル者ト、此ノ三段ニ分レルダラウト思フノデアリマス、第三段目ノモノハ洵ニ憎ムベシ、併シ第二段、第一段ニアリシ者ハ極メテ情狀氣毒ナ者ガ澤山アルヤウハ、殊ニ初犯者ニ對シテ全面的ニ執行猶豫ノ恩典ニ浴セシムルトノ氣持ヲ以テ裁判權ヲ行使スルノ御考ヘハアリマセスカ、是ガ

質問ノ趣旨デアリマス
執行猶豫ノ制度ガ出來マシテカラ既ニ五十一年ヲ經過致シテ居リマスルガ、此ノ制度ハ極メテ犯罪者ヲ改悛セシムルニハ有效ナルモノデアルコトヲ、永年ノ經驗上實驗致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ私共ハ成ベク此ノ制度ヲ全面的ニ、殊ニ初犯者ニ對シテハ、其ノ犯狀、性格等ヲ檢討致シマシテ、勿論裁判ハ裁判官ノ爲ス所デアリマシテ、司法當局ト雖モ之ヲ左右スルコト出來ナイテ、其ノ犯行ノ種類ハ種々雜多デアリマス、ソレハヤハリ生活必需品ノ本ニナル、モノカラ豚ノ形ニナリ、牛ノ形ニナリ、言葉ヲ換ヘレバ生産デス、ソコマデ入レルノデスカ、入レナイノデスカ

○池田(克)政府委員 入レナイ趣旨ゴザイマス
○内藤(正)委員 ソレデハ私ハ若シ時間ガ餘ツタラ外ノコトヲ言ハシテ貰ハウト思ヒ
○原委員長代理 服部君

マセウガ、「ドイツ」ニ於ケル政權ト我ガ國ニ於ケル政權トハ相違ガアリマス、「ドイツ」ノ政權ハ「ヒトラー」ニアル、「ヒトラー」ハ權力ノ權化デアル、苟モ「ヒトラー」ハスルモノハ直ニ首ヲチヨン斬ラレルカ押

込マレテシマフ、「オチス」政黨ニ屬スルニデアリマス、在野法曹會ニ於テモ、事變ガタイノデアリマスルガ、退席シテ居ル場合ニ質問答ノ濟ミマシタ分ガアリマスレバ、御遠慮ヲ致シマスルカラ委員長ノ御注意ヲ願ヒマス

第一ニ司法當局ニ御伺ヒ致シマスルコトハ、殊ニ初犯者ニ對シテ全面的ニ執行猶豫ノ恩典ニ浴セシムルトノ氣持ヲ以テ裁判權ヲ行使スルノ御考ヘハアリマセスカ、是ガ質問ノ趣旨デアリマス
執行猶豫ノ制度ガ出來マシテカラ既ニ五十一年ヲ經過致シテ居リマスルガ、此ノ制度ハ極メテ犯罪者ヲ改悛セシムルニハ有效ナルモノデアルコトヲ、永年ノ經驗上實驗致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ私共ハ成ベク此ノ制度ヲ全面的ニ、殊ニ初犯者ニ對シテハ、其ノ犯狀、性格等ヲ檢討致シマシテ、勿論裁判ハ裁判官ノ爲ス所デアリマシテ、司法當局ト雖モ之ヲ左右スルコト出來ナイテ、其ノ犯行ノ種類ハ種々雜多デアリマス、ソレハヤハリ生活必需品ノ本ニナル、モノカラ豚ノ形ニナリ、牛ノ形ニナリ、言葉ヲ換ヘレバ生産デス、ソコマデ入レルノデスカ、入レナイノデスカ

○池田(克)政府委員 入レナイ趣旨ゴザイマス
○内藤(正)委員 ソレデハ私ハ若シ時間ガ餘ツタラ外ノコトヲ言ハシテ貰ハウト思ヒ
○原委員長代理 服部君

國民ヲ罰スルノデアリマスカラ、慈愛ノ熱情ヲ以テ檢舉シ、裁判セラルベキ本質ノモノデアルト考ヘルノデアリマス、左様ニ本質ヲ異ニシテ居ルノデアリマスカラ、統制違反ノ違反者ニ對シテ、「ドイツ」ニ於テハ嚴罰ヲ以テ臨シデ居ルカラ、日本モヤハリゾレデ宜イト云フヤウナル弱冠ナル書生論ト云フモノニハ私共ハ敬服ヲシナインオデアリマス、何處マデデモ慈ミ、慈愛ノ心ヲ以テ、被告人ヲ指導シ、啓發シテ行クト云フヤウナ意味ヲ以テ、憫ミノ心ヲ以テ檢舉シ、裁判セラルベキモノデアルト思フノデアリマス、而シテ是マデ執行猶豫ニ浴シタル者ノ實情ヲ見マスルト、相當ニ刑事政策ノ目的ヲ達シテ居ルノデアリマス、而モ今日ハ戰時體制下ニ於テ人的資源ヲ最モ必要トスル時期デアリマスカラ、一人デモ多ク國家ニ協力出來テ、產業ナラバ產業ニ協力セシメナケレバナラヌ時期デアルノデアリマスカラ、罪ガアレバトテ、之ヲ憎ンデ、直チニ是モ體刑、アレモ體刑ニ處スト云フコドハ、其ノ宜シキヲ得ルモノデナイト私ハ考ヘルモノデアリマスカラ、初犯者ニ對シテ其ノ罪質ヲ考ヘ、其ノ性行及び將來ノ改悛ノ前途ノ見極メヲ付ケテ、出來ルダケ廣ク執行猶豫ノ恩典ニ浴セシメルト云フ氣持ヲ以テ裁判ヲナサツテ戴キ、以テ戰時體制下ニ於ケル人の資源ノ補充ヲナシ、又國民ヲシテ物心ヲ捧ゲテ國家ニ協力スルト云フ強力ナル思想ヲ涵養セシメタイ、斯ウ云フ考ヘデ居リマスルノデ、嚴罰ニ處セナケレバナラヌト云フ「ドイツ」流ノ檢舉、「ドイツ」流ノ裁判ハ全ク慎シ度貰ツテ慈愛ヲ以テ國民ヲ指導シ、教養スル、啓發スル、啓蒙スル、被告人ヲ指導スル、善良ナル國民ニスル、教

育スルト云フ、慈愛ヲ持ツタル方針ヲ以テ
檢舉シ、又其ノ人ニ對シテ左様ナ氣持ヲ以
テ裁判ヲシ、隨テ成ベク廣ク、全面的ニ執行
猶豫ノ恩典ニ浴サシメテ戴キタイト云フ氣
持ヲ、司法當局ニ持ツテ戴キタイト思ヒマ
スガ、中々今日執行猶豫ノ恩典ニ浴スル者
ハサウ多クハナイ、デスカラ私ハ原則的ト
カ、或ハ立法的ニ、法制的ニ之ヲ求ムルト
云フ意味デハナイガ、司法當局ノ御氣持ガ
左様ナ御氣持ヲ以テ司法權運用ノ指導精神
トナシテ戴キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リ
マスルガ如何様デアリマスルカト云フノガ

同ヒマシタガ、其ノ一ツニハ人員が不足デアル、煩雜ヲ避ケル爲メ、簡潔ニ裁判ヲ終了センガ爲デアル、斯ウ云フ色々ノ御事情モ伺ヒマシタノデ諒ト致シテ居リマスルガ、成程人員ガ不足スルデアリマセウ、人的資源が不足デアリマセウ、人的資源が不足デアリマセウ、之ヲ補フ爲ニ、此ノ場合判検事ノ定年制度ヲ撤廃ヲ致シマシテ、六十年、六年、三年ト云フヤウナソシナ制限ヲ撤廃シテ、七十デモ七十五デモ、苟クモ其ノ人ガ裁判ヲ行フニ足ル識見力量ノマダ保存セラレテ居ル者、検察官トシテ十分ナ勵キノ出來ル者、斯ウ云フヤウナ者、檢事ノ方ハ此ノ制度ハナカツタカモ存ジマセヌ、主トシテ判事ノ方ニ付テ申上ゲマスガ、六十、七十二ナツタ人ガ、必ズシモ私ハ裁判ノ能力ガ低下スル、手腕ガ消耗スルト云フコトニハ考ヘマセヌ、此ノ戰時體制下ニ於キマシテ老ユルモ、若キモ、壯年者モ、少年モ、青年モ、所謂國策ニ協力シテ此ノ戰爭ニ勝タナケレバナラヌ、一億火ノ玉トナツテ奮ヒ起ツテ居ル時世デアルカラ、此ノ場合定年ノ制度ヲ撤廃ヲ致シマシテ、六十五、七十歳、八十歳ニナル人デモ、判事トシテ十分活動ノ出來ル人ハ澤山アルノデアリマスカラ、之ヲ撤廃シテ、ソレ等ノ人ヲ、特ニ出來ルコトナラバニ審制度ニセラレルナラバ、其ノ一審ハ大切ナノデアリマスカラ、例ヘテ申シマスト大審院ノ判事ガ定年ニナツテ區裁判所ニ任命セラレルト云フノハ、洵ニ是ハ不名譽ナ、變ネバナラヌト云フ決心ヲ致シテ居ル日本國合國家ノ爲ニ總力ヲ擧ガル、斯ウ云フ意味ニ於テ此ノ時局ヲ認識シ、此ノ戰爭ニ勝タガ、ナヤウニナリマスケレドモ、ソレハ此ノ場合國中ノ其ノ國民デアル判事サンニ於テハ、

ニ其ノ勇氣ハ十分ニアル、ソレハ普通人以
上行キマスマイケレドモ、ウント採用シ得ル
ノ努力ヲナサレルカ、前回司法次官ハ迎ヘ
テ居ルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ相
當ノ待遇ヲ與ヘテ以テ迎ヘラレタナラバ、
若干ノ調整ハ出來ルト信ズル一人デアリマ
ス、殊ニ定年ニ依ツテ辭メタル方ガ、地位
面目上洵ニ御氣ノ毒ノヤウデアリマスケレ
ドモ、是モ刻下ノ此ノ情勢ヲ認識シテ就力
レルナラバ、決シテ不名譽デモナク、恥デ
モアリマセヌ、總理大臣ガ一行政團體ノ首
長トナリ、國務大臣ガ地方ノ自治團體ノ市
長トナリ、閣僚ニ立ツタ人、若シクハ其ノ
待遇ヲ受ケタ人ガ書記官長トナツテ國家ノ
爲ニ努力シテ居ル實例モ見テ居ルノデアリ
マスカラ、判事トナツテ居ツタ方ノ如キ
ハ、特ニ其ノ邊ノ理解ヲ持ツテ居ル人デア
リマスノデ、私ハ是ハ決シテ恥ヅベキコト
デモナク、卑シムベキコトデモナイト、斯
ク考ヘマスカラ、此ノ際垣根ヲ撤廢致シテ
老ユル者モ若キ者モ司法權運用ニ協力シテ
戴クト云フ意氣込ヲ以テ、之ヲ撤廢スルノ
御決心ハアリマセヌ力

思フノデアリマス、ソレニハ官廳ニ於ケル初メノ時間モ終リノ時間モオ互ヒニ協力努力スルナラバ、事件ハ大イニ進捗スルト思フノデアリマスカラ、別ニ茲ニ二人ト制限スル要ハナイト思ヒマス、併シソレニ付テノ御説明ハ一通り承リマシタガ、ソレデ私ノ承リタイコトハ、特別辯護人ハドウ云フコトニ御取扱ヒニナルノデアリマスカラ、アレハ本職ノ辯護人ト同ジ敷ニ御取扱ヒニナルノカ、特別ノ辯護人ダカラ、此ノ方ニハ特別ノ敷ニナル、斯ウ云フ御見解デアリマスカ、ソレヲ一ツ承ツテ置キタイ

ソレカラ次ニ、内藤君ノ生活必需品ニ付テ質問ガアツテ御答辯ガアリマシタガ、ドウモマダハツキリ致シマセヌ、地方ニ依リ相違スルコトハ内藤君ノ言フ通り、其ノ人ノ社會的地位ニ依リ又大イニ違ヒマス、例ヘテ見マスルト、大官ノ所ヲ御訪ネスルト、「コーヒー」ニ角砂糖ガ必ズ出ル、貧弱ナト言ツテハ濟ミマセヌガ、地方警察官ノ家デモ訪ネマスルト番茶モ出ナイヤウナ所モアル、ソコデ大官ノ屋敷ニ於テハ、例ヘバ角砂糖ヲ買占メルト、是ガ生活必需品トナル、小官ノ階級ニ於テハソレハ生活必需品デナイカラ買占、賣惜ヲヤツテモ宜シイ、斯ウ云フコトニナリハシナカト思ヒマス、先刻來ノ政府御當局ノ御説明デ大體ハ分リマシタガ、此ノ標準ハ極メテ難カシイコトデアリマス立場、其ノ人ノ趣味、生活狀態、總テヲ檢討シテ、而モ最後ニハ之ヲ常識ニ依ツテ判斷スルヨリ外ニハナイ、斯ウ云フコトニナル

カト思ヒマスルガ、左様ナ紛雜ナコトヨリハ、寧ロ何々ハト云フ大體種目的ニ指摘セラレバ、大ナル不都合ハナイカト私ハ思ヒマスルガ、ソレニ付テ如何ゴザイマスカ、ソレニ付テ如何ゴザイマスカラ、私カラ申上ゲマス

○岩村國務大臣 只今ノ御尋ねノ一乃至五ノ中一、二、三點ニ付キマシテハ、制度ニ關スルコトデゴザイマスルカラ、私カラ申上ゲマス

第一點ハ初犯ノ事件ニ付テハ總テ執行猶豫ノ言渡ヲスル方針ヲ執ツタラドウカト云

豫ノ御趣意デアリマス、我が刑事訴訟法ニ於テ居リマスルコトハ、御承知ノ通リデアリマス、只今ノ刑事訴訟法ガ出来マス以前ニ於テハ、犯罪ガアレバ必ズ罰シナケレバシマシテハ、檢事ノ便宜主義ノ原則ヲ採用シテ居リマスルコトハ、御承知ノ通リデアリマス、犯罪必罰主義ヲ大體法制デハ採ツテ居リマスルカラ、起訴猶豫ニナル如キ事例テ居リマスカラ、起訴猶豫處分ニ付シテ差支ナイト云フコトガ、法律上明記ナレテ居リマスカラ、起訴猶豫ニナル如キ事例ハ大部分檢事ノ手許デ起訴猶豫ニナツテナラス、犯罪必罰主義ヲ大體法制デハ採ツテ居リマスガ、現行刑事訴訟法ニ於テハ明カリマス、現行刑事訴訟法ニ於テハ、犯罪ガアレバ必ズ罰シナケレバシマシテハ、明カリニ明文ヲ以テ檢事ハ犯人ノ改悛ノ情アル場合、或ハ年齢デアルトカノ他境遇、是ハ法律ニ規定ガゴザイマス、是ハ法律ニ規定ガゴザイマスガ、左様ニ點ヲ斟酌シテ起訴ヲ猶豫シテモ居ル、斯ウ云フコトハ申上げテ差支ナイト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、今日ノ刑事訴訟法ノ運用ノ下ニ於キマシテ、前科ノナイ者ヲ起訴シタ場合ニ、全部執行猶豫ニシテシマツタラドウカト云フ事柄ニ付テハ、直チニ御賛成致シ難イ點ガアルノデアリマス、勿論犯罪ヲ犯シタ者其ノ者ヲ罰スルト云フ前ニハ、是ハ教ヘテ罪ヲ犯サナイヤウニ致スコトガ必要デアラウト思ヒマス、昔カラ罪ヲ憎ンデ人ヲ憎マズト云フ教ヘテ罰スルト云フコトハ私ハ前々カラ左様ニ考ヘテ居リマス、教ヘテ罰セズシテ濟ムコトナラバ罰セナイ方ガ私ハ宜イト思ヒマス、經濟事件ニ付テハ稍々半分位デアラウトニカルハシナカト思ヒマス、是ハ數字ヲ見レバハク多數ノ犯罪事件ト云フモノガ發生シテ居ルノデアリマスガ、檢事ノ認知シマシタガ、是ハ數字ヲ見レバハク多數ノ犯罪事件ト云フモノガ發生シテ居ルノデヤナイカト私ハ思ヒマス、是ハ數字ヲ見レバハク多數ノ犯罪事件ト云フモノガ發生シテ居ルノデアリマスガ、今日マデ憎ンデ起訴シタ例ハ一ツモナイト自ラ信ジテ居リマス、ソレカラ尙ホ執行猶餘ノ點ニ付テ一言申

ルカラ、檢事ノ手許デ、大體裁判ヲ請求シナクテモ宜シイモノハ起訴ヲ猶豫シテ居ルテハ如何デアルカ、其ノ指摘ノ標準ハ國民ノ御説明ハ一通り承リマシタガ、ソレデ私ノ承リタイコトハ、特別辯護人ハドウ云フコトニ御取扱ヒニナルノデアリマスカラ、アレハ本職ノ辯護人ト同ジ敷ニ御取扱ヒニナルノカ、特別ノ辯護人ダカラ、此ノ方ニハ特別ノ敷ニナル、斯ウ云フ御見解デアリマスカ、ソレヲ一ツ承ツテ置キタイ

ソレカラ次ニ、内藤君ノ生活必需品ニ付テ質問ガアツテ御答辯ガアリマシタガ、ドウモマダハツキリ致シマセヌ、地方ニ依リ相違スルコトハ内藤君ノ言フ通り、其ノ人ノ社會的地位ニ依リ又大イニ違ヒマス、例ヘテ見マスルト、大官ノ所ヲ御訪ネスルト、「コーヒー」ニ角砂糖ガ必ズ出ル、貧弱ナト言ツテハ濟ミマセヌガ、地方警察官ノ家デモ訪ネマスルト番茶モ出ナイヤウナ所モアル、ソコデ大官ノ屋敷ニ於テハ、例ヘバ角砂糖ヲ買占メルト、是ガ生活必需品トナル、小官ノ階級ニ於テハソレハ生活必需品デナイカラ買占、賣惜ヲヤツテモ宜シイ、斯ウ云フコトニナリハシナカト思ヒマス、先刻來ノ政府御當局ノ御説明デ大體ハ分リマシタガ、此ノ標準ハ極メテ難カシイコトデアリマス立場、其ノ人ノ趣味、生活狀態、總テヲ檢討シテ、而モ最後ニハ之ヲ常識ニ依ツテ判斷スルヨリ外ニハナイ、斯ウ云フコトニナル

カト思ヒマスルガ、左様ナ紛雜ナコトヨリハ、寧ロ何々ハト云フ大體種目的ニ指摘セラレバ、大ナル不都合ハナイカト私ハ思ヒマスルガ、ソレニ付テ如何ゴザイマスカ、ソレニ付テ如何ゴザイマスカラ、私カラ申上ゲマス

第一點ハ初犯ノ事件ニ付テハ總テ執行猶豫ノ言渡ヲスル方針ヲ執ツタラドウカト云

豫ノ御趣意デアリマス、我が刑事訴訟法ニ於テ居リマスルコトハ、御承知ノ通リデアリマス、只今ノ刑事訴訟法ガ出来マス以前ニ於テハ、犯罪ガアレバ必ズ罰シナケレバシマシテハ、明カリニ明文ヲ以テ檢事ハ犯人ノ改悛ノ情アル場合、或ハ年齢デアルトカノ他境遇、是ハ法律ニ規定ガゴザイマス、是ハ法律ニ規定ガゴザイマスガ、左様ニ點ヲ斟酌シテ起訴ヲ猶豫シテモ居ル、斯ウ云フコトハ申上げテ差支ナイト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、今日ノ刑事訴訟法ノ運用ノ下ニ於キマシテ、前科ノナイ者ヲ起訴シタ場合ニ、全部執行猶豫ニシテシマツタラドウカト云フ事柄ニ付テハ、直チニ御賛成致シ難イ點ガアルノデアリマス、勿論犯罪ヲ犯シタ者其ノ者ヲ罰スルト云フ前ニハ、是ハ教ヘテ罪ヲ犯サナイヤウニ致スコトガ必要デアラウト思ヒマス、昔カラ罪ヲ憎ンデ人ヲ憎マズト云フ教ヘテ罰スルト云フコトハ私ハ前々カラ左様ニ考ヘテ居リマス、教ヘテ罰セズシテ濟ムコトナラバ罰セナイ方ガ私ハ宜イト思ヒマス、經濟事件ニ付テハ稍々半分位デアラウトニカルハシナカト思ヒマス、是ハ數字ヲ見レバハク多數ノ犯罪事件ト云フモノガ發生シテ居ルノデアリマスガ、今日マデ憎ンデ起訴シタ例ハ一ツモナイト自ラ信ジテ居リマス、ソレカラ尙ホ執行猶餘ノ點ニ付テ一言申

マシテハ、執行猶豫ハ體刑ニ限ラレテ居譯デアリマス、サウスルト刑期ノ比較的短イ、二年以下ト云フヤウナ體刑ニ付テノミ言渡スコトガ出來ルノデアリマス、仰セノ如ク初犯ノ者ガ起訴セラレタ場合ハ、全部執行猶豫ニシテハドウカト云フ御議論ニナリマスルト、實ハ從來問題トシテ研究シテ居リマスル、罰金ニ對スル執行猶豫ト云フ居リマスル、罰金ニ對スル執行猶豫ト云フ制度ヲ設ケナイト、罰金刑ニ付テハ執行猶豫ガ行ハレナイ譯デアリマス、是ハ刑法ノ假案ニハ、或ル一定ノ金額——五百圓ニアリマシタカ、金額ヲハツキリ申上ゲラレマセヌガ、或ル低イ罰金ヲ科スル場合ニハ、一定ノ期間執行猶豫ニシタラドウカト云フ意見ガアツテ、其ノ說ヲ採用シテ居ルト思ヒマス、今日ノ刑法デ申シマスルナラバ、罰金刑ニ處スル者ハ是ハ執行猶豫ノ途ガナイ、自由刑ニ處スル者ニ付テハ、今御說ノヤウニ總ベテ初犯ト云フモノニハ執行猶豫ヲ言渡シタラドウカト云フ說ガ研究セラレル譯デアリマス、デアリマスルカラ現行法ノ下ニ於テハ全體的ニ初犯ニ對シテハ執行猶豫ヲ言渡シタラドウカト云フコトニハ、其ノ點ニ於テ直チニ御賛成ノ出來ナイ理由ガアルノデアリマス

シテ行カナケレバナラスト云フヤウニ考ヘ
テ居リマス、大體第一點ハ只今申上ゲタ點
デ御諒解願ヘルカト思ヒマス
第二點ノ執行猶豫ノ制度ノ外ニ、或ハ言
葉ハ適切デナイカモ知レマセヌガ、宣告猶
豫ト云フヤウナ言葉ヲ學者ガ用ヒテ居ルヤ
ウデアリマスルガ、宣告ハスルガ、或ル一
定ノ期間ヲ無事ニ経過スレバ猶豫シテシマ
フ、詰リ執行猶豫ト稍類似シタ制度デアリ
マス、執行猶豫制度ノ外ニ宣告猶豫ノ制度
ヲ採用スベキヤ否ヤト云フコトハ、刑法ノ
委員會ニ於テモ議論ノ中心ニナツタ事柄デ
アリマス、或ル說デハ執行猶豫ノ制度ト併
用シテ宣告猶豫ノ制度モ採ツテ差支ヘナイ
ト云フ說モアリマスシ、又一說デハ執行猶
豫ノ制度ト宣告猶豫ノ制度トハ別ニ發達シ
タ制度デアツテ、宣告猶豫ト執行猶豫ハ同
ジ制度トシテ併用スベカラザルモノデアル
ト云フ學者ノ論モアリマス
〔委員長退席、鹽川委員長代理着席〕
併シナガラ改正刑法デハ兩方採用シテ宣イ
デヤナイカト云フコトニ大體案ハ出來テ居
ルト思ヒマス、サウ云フ議論モゴザイマ
スノデ、今直チニ其ノ宣告猶豫ノ制度ヲ採
ルベキヤ否ヤト云フコトニハ、尙ホ多少檢
討ヲ要スル點ガアラウカト存ジマス
ソレカラ第三ノ點デアリマス、二審制度
ト云フコトニナレバ、定年制度ヲ撤廢シタ
ラドウカト云フ點ニ付テ御尋ネガゴザイマ
シタ、私ハ只今ノ所定年制度ヲ撤廢スルト
云フ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、成程只今ノ
御話ノ中ニアリマシタヤウニ、七十二ニナツ
テモ八十二ニナツテモ立派ナ人ガアリマス、
私共ノ知ツテ居ル司法部ノ出身ノ先輩ニモ、
相當身體モ精神モ健全ナ人ガアリマス、併

シソレ等ハ例外デアリマス、殆ド數千人ノ
中ニ指ヲ届スル位デアリマシテ、偶々サウ
云フ人モゴザイマスガ、制度トシテ大體一
般ノ判検事ガ六十三、大審院長、檢事總長、
此ノ二人ダケガ六十五デゴザイマス、此ノ
制度ハ此ノ制度トシテ續ケテ行キタイト考
ヘテ居リマス、御承知ノ通り裁判所構成法
ニハ、三年デアリマスガ、場合ニ依リマシ
テハ定年ガ參リマシテモ延バヌコトガ出来
ルト云フ規定ハアルノデアリマス、ソレガ
運用セラレタ例ハアリマセヌ、今日マデ私
ノ經驗デハ、制度トシテハ此ノ制度ハ良い
制度デアル、斯様ナ制度ガナイトヤハリ司
法部内ガ沈滯スル、斯ウ云フコトハ考ヘテ
居リマス、御說ノ如ク七十二ナツテモ八
十二ナツテモ健全ナ精神ヲ持ツテ、立派ニ
働くギ得ル人ノアルト云フコトハ、私モ認メ
マスケレドモ、是ハ非常ニ例外ト存ジマス、
左様ナ譯デ、制度トシテハ今直チニ御賛成
ヲ申上ガルコトハ出來マセヌ、尙ホ退職シ
タ判檢事ガ、二審制度ニデモナレバ、第一
審ノ判事トシテ、或ハ檢事トシテ仕事ヲシ
タラドウカト云フヤウナ御注意モゴザイマ
シタガ、退職致シマシタ者ハ大部分定年ノ
人デゴザイマス、其ノ退職致シマシタ者ガ、
定年ヲ過ギテ居リマスガ、健全ナ人モゴザ
イマシテ、現在斯ウ云フ時勢デゴザイマス
カラ、成ベク司法部ノ仕事ナラ働くキタイト
云フコトヲ申シテ居リマス、色々身體ノ健
全ト否トニ依リマスガ、定年デ退職シテ東
京ニ居リマスル諸君ハ、司法部ノ調停委員
デアルトカ、左様ナ事務ニ殆ド關係ラシテ、
制ヲ撤廢シナケレバナラスト云フコトニナ

リマスルノデ、其處ニ困難ガアラウカト存ジマス、併シ司法部ノ爲ニ定年退職致シマシタ檢事が十分協力ヲ私共願ツテ居ル譯ニアリマス、又喜ンデ調停等ニハ協力ヲシテ吳レテ居ルヤウナ狀態デアリマス、一乃至三ニ付テハ甚ダ簡単デゴザイマスケレドモ、私ノ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲマシテ御答へ致シマス、アトハ政府委員カラ申上ゲマス

○服部(英)委員 アトハ政府委員ノ方カラ御説明ヲ承ルコトニシテ、只今大臣ヨリ御説明ニナツタコトニ對シテ、私ノ申上ゲタコトガ或ハ言葉ガ足リナクシテ徹底シナカツタカモ存ジマセヌカラ、此ノ際訂正旁明瞭ニ致シテ置キマス

第一ハ、初犯者ニハ總テ執行猶豫ノ恩典ニ浴セシムベシト云フ制度ガアルカノ如ク實行シテ戴キタイト云フ意味デハナイノデアリマシテ、司法當局ハサウ云フ氣持ヲ以テ司法權運用ニ付テノ指導精神トシテ戴ケバ、地方裁判所、區裁判所ニ於ケル所謂若手ノ判事サンモ、左様ナ心持ニナツテ來テ戴クコトヲ希望スルノデアリマス、此ノ際直チニ初犯者ニ對シテ執行猶豫ノ言渡ヲナスベシト云フ、ソレ程強イ意味デハナイノデアツテ、サウ云フ氣持ニナツテ戴キタイ、斯ウ云フ意味デ私ハ御願ヒ申上ゲタノデアリマス、ト云フノハ、動モスレバ「ドイツ」「イタリア」ノアノ專制政治的司法運用のナ思想ヲ新シガリ屋ノ若人々ガ言フト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノデ、ソレヲ心配致シマシテ、指導者ハ只今私ノ申上ゲタヤウナ意味ノ心持ニナツテ指導シテ戴キタイ、斯ウ云フ私ノ趣意ニアリマシテ、此ノ點ヲ少シク明瞭ニシテ置キマス、尙ホ只今罰金ニ

タガ、其ノ通リデアリマス、私ハ罰金ヲ納付スルニ付テモ何カ執行猶豫ニ類スル所ノ制度ヲ發明シテ戴キタイノデアリマス、次ニ言渡ノ宣告ノ猶豫ニ付テハ、成ベク是ガ實現ヲ致シマスヤウニ御配慮ヲ願ヒタイノデアリマス、定年撤廢ニ付テハ申上ゲルコトハアリマセヌ、御當局ノ説明ヲ喜ンデ拜聽致シマシタ

○池田(克)政府委員 辯護人ノ數ノ制限ノ問題ト、生活必需品ノ問題ニ付キマシテ私カラ御答へ申上ゲマス、刑事特別法案ニ於キマシテ、辯護人ノ數ヲ被告一人ニ付テ二人ヲ超ユルコトヲ得ナイ、斯様ニ致シマシタノハ、從來ノ經驗ニ鑑ミマシテ、事實問題ニ付テ辯護人ガ一人、法律問題ニ付テ一人要スルニ事實問題ト法律問題ヲ擔當致シマス者ガ各一人ヅツアリマスレバ、被告ノ爲ニ必要ナル辯論モ出來ル、被告人ノ保護ニモ事ヲ缺カヌ、斯様ニ考ヘタ次第デアリマス、先例ト致シマシテハ、昨年ノ議會ノ御協賛ヲ得マシタ國防保安法ノ第三十條ニゴザイマス、又事情ハ違ヒマスクレドモ、現在ノ軍法會議法ニ於キマシテハ、體力被告人一人ニ付テ辯護人ガ二人ト云フコトニナツテ居ツダカト記憶致シテ居リマス、尙ホ立法例ト云フヤウナコトヲ申上ゲマスノハドウカト思ヒマスケレドモ、例ヘバ我方國ト権輸ノ關係ニアリマス「イタリア」ニ於キマシテハ、從來カラ豫審ニ於テハ被告一人ニ付テ辯護人一人、公判ニ於テハ被告一人一人ニ付テ辯護人二人ヲ超ユルコトヲ得ナイヤウナ制度ニナツテ居リマス、而モ其ノ公判ニ於キマシテハ裁判長ニ非常ナ權限ヲ認メマシテ、個々ノ事件ニ付キマシテ裁

テハ一時間、此ノ事件ニ付テハ三十分、或ハ其ノ日ノ中ニ辯論ヲ終了スベシト云フヤウニ、辯論時間ヲ制限スルコトニナツテ居リマス、固ヨリ「イタリア」ノ其ノ制度ノ如キヲ本立案案ノ際ニ於テ參酌シタノデハゴザイマセヌ、ソレコソ辯護權ノ非常ノ制限デアリマスノデ、固ヨリ左様ナコトニ倣ツタ譯デハゴザイマセヌケレドモ、戰時下ニ於キマシテ實體的ノ方面ニ於テハ、一般豫防ノ目的ヲ達成致シマス爲ニ刑罰ガ非常ニ加重セラレルガ、刑罰ヲ加重シタダケデハ到底所期ノ目的ヲ達成スルコトガ出來マセヌノデ、司法大臣ヨリモ最初ニ御説明ガアリマシタ通りニ、手續ノ運行ト相俟ツテ、刑罰權ノ存否茲ニ範圍ガ確定サレテ行ク、サウシテ一般國民ニ對シテ裁判ノ威力ト云フモノガ的確ニ實現サレテ行クト云フコトガ望マシト考ヘマシテ、左様ナ目的達成ニ資シマス爲ニ、戰時下ノコトデゴザイマスノデ、被告人トシテモ此ノ程度デ以テ忍ブベキデハナカラウカ、左様ナ意味合ニ於キマシテ第二十條ノ規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス

ソレカラ生活必需品ニ關スル點デゴザイマスガ、是ハ先程モ御答ヘ申上ゲマシタ通り、一般ノ國民生活、中等ノ國民ノ生活ヲ豫想シテ居ル譯デアリマシテ、地域的ニ、或ハ又地位ニ依リマシテ其ノ生活必需品ト云フモノハ異ルノダト云フ風ナコトハ、此ノ案ニ於テハ實ハ考ヘテ居リマセヌ、一般國民生活ヲ對象ニ致シテ居ル譯デゴザイマス、然ラバ其ノ生活必需品ヲ列舉シタラ宜イデハナイカト云フ御考ヘデゴザイマスケレドモ、是モ先程御答ヘ致シマシタ通りニ、

云フモノガ動イテ參リマスカラ、此ノ法律
デ以テ特定的ニ列舉シテシマフト云フコト
ハ、ドウモ立法トシテ甚ダマヅイデハナカ
ラウカ、生活必需品ト云フモノハ、國民ノ
常識カラ見マシテモ大體判斷シ得ルコトデア
リマスシ、殊ニ例ヘバ刑法ナドデモ第七十
六議會デ御協贊ヲ得マシタ刑法ノ安寧秩序
ニ對スル罪ノ章ノ中デ、第百五條ノ四トシ
テ、重要物資ノ生産或ハ其ノ配給ヲ阻害ス
ルト云フ風ナコトガゴザイマスガ、此ノ重
要物資ナドモ、問題ニ致シマスレバ相當ニ
疑問ノアル言葉ダト思ヒマスケレドモ、ド
ウモ是モヤハリ重要物資ト云フ風ニ規定ス
ル以外ニ適當ナ方法ガナイ、左様ナ意味デ、
實ハ刑法ノ第百五條ノ四ニ於キマシテモ、
唯重要物資ト云フヤウナ言葉ヲ使ツタノデ
アリマス、戰時刑事特別法案ノ第十五條ニ
於キマシテモ、左様ナ意味ニ於キマシテ生
活必需品ト云フ言葉ヲ使ヒマシタ次第デゴ
ザイマシテ、左様御諒承賜リタイト思ヒマ
ス

多年ノ経験、又先輩ヨリ意見ヲ聽キマスト、
辯護人ノ辯護ハ偶然ニ出來得ルモノデハナ
イノデアリマス、其ノ基礎トナルベキ記録
ノ謄寫ト云フモノガ辯護ノ一要件デアルノ
デアリマス、此ノ要件デアルベキ辯護權ノ
内容ノ一つデアルトモ假定スベキ此ノ書類
ノ謄寫ヲ制限セラルト云フコトハ、辯護
人ノ辯護ニ制限ヲ加ヘルヤウナ觀ガアルノ
デアリマスカラ、私ハ是ハ妥當デナイト思
フノデアリマス、併シナガラ所謂戰時下ニ
於テ能ク事態ヲ檢討致シテ見マスト、或ル
事犯ニ付テノ制限ハ必要デアル場合モアル
ト考ヘマスルカラ、其ノ制限ヲ設ケラルル
コトニ付テハ全然異議ヲ持ツテ居ルモノデ
ハナイノデ、或ル必要ナル、謂ハバ極メテ
狭イ解釋ニ於テハ之ヲ制限スルガ、原則ト
シテハ此ノ制限ヲ餘リシナイ、斯ウ云フ工
合ニ御考ヘヲ願ヒタイト思ヒマスルガ、其
ノ御考ヘハゴザイマセヌカ

ソレカラ二十五條ニハ「地方裁判所ノ事
件ト雖モ刑事訴訟法第三百四十三條第一項
ニ規定スル制限ニ依ルコトヲ要セズ」斯ウ
云フコトガアリマス、從來ニ於ケル事犯ノ
實例ヲ見マスルト、司法警察官又ハ檢事ノ
聽取書ヲ罪證ニ供スルコトノ危險ナルコト
ハ、其ノ實例ガ少クナインデアリマス、若
シモ本案ノ如クデアリマスト、檢察權ノ
濫用、人權蹂躪ヲ激成致シマシテ、裁判所
ガ恰モ罪人ノ製造所デアルガ如ク、國民ノ
怨府トナルベキ處方十分アルノデアリマ
ス、此ノ質問ハ若シ前ニアリマシタラ記録
ヲ見テ諒承シマスカラ宜シウゴザイマス
ガ、私ハナイト思ヒマシテ申上ゲタノデア
リマス

次ニ第一二十六條ノ「有罪ノ言渡ヲ爲スニ當リ證據ニ依リテ罪ト爲ルベキ事實ヲ認メタル理由ヲ説明シ法令ノ適用ヲ示スニハ證據ノ標目及法令ヲ掲グルヲ以テ足ル」斯ウ云フ風ニ極メテ簡潔ニ手續ヲ終了セントスル趣旨デアルヤウデアリマスガ、實質的理由ヲ附セザル場合ニ於テハ、如何ナル譯デ其ノ判決ノ言渡ヲ受ケタカ、洵ニ被告ニ不安デアリ、控訴若シクハ上告スル場合ニ於テ洵ニ不自由ヲ感ズルノデアリマス、第二十六條ハ私共ハ削除致シタイト云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居リマスガ、其ノ御所見ハ如何デアリマスカ

ソレカラ第二十五條ノ所謂聽取書ノ證據
力ノ問題デゴザイマスガ、過去ニ於キマン
テ聽取書ヲ罪證ニ供シマスルコトノ危険ナ
事例ガ絶無デアリマセヌデシタコトハ、洵ニ
相濟マヌコトデゴザイマス、深ク恐縮スル
次第デゴザイマスケレドモ、鹽野司法大臣
ガ慥カ司法省ノ刑事局長デアラタ頃ト思
ヒマスガ、非常ニ司法警察官吏ノ指導訓練
ニ力ヲ注ガレマシテ、特ニソレガ爲ノ豫算
モ得マシテ、實ハ數年前カラ司法警察官吏
ノ教養、訓練ニ全國的ニ非常ナ努力ヲ致シ
テ居リマス、檢事ニ於キマシテモ機會アル
毎ニ實ハ戒飭ヲ加ヘテ居ルヤウナ状態デゴ
ザイマシテ、此ノ第二十五條ヲ設ケマスコ

目的ヲ全ク達スルコトガ出來ヌカト申シマスレバ、必ズシモサウデナイ、斯様ニ考ヘタノデアリマス、或ル程度之ヲ簡易化ジテモ、有罪判決ノ理想トスル所ヲ甚ダシク害シナイデ、而モ戰時下ニ於ケル事件ノ的確ナル處理ノ要求ニ應ズルコトガ出來ル、斯様ニ考ヘマシテ第二十六條ノ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、隨ヒマシテ先ヅ證據説明ニ付テ申シマスレバ、有罪ノ言渡ヲナスニ當リマシテハ、必ズ證據ニ依ツテ罪トナルベキ事實ヲ認メタ理由ヲ説明スルコトヲ要スルモノ致シマシテ、其ノ點ニ於テハ刑事訴訟法ノ理想ニ從ツテ居ル譯デゴザイマス、唯其ノ方法トシテハ、從來ノ勤モスレバ須鑽ナル方法ニ

訟法ト違ヒマシテ、刑事手續ニ斯様ナ規定ヲ設ケマスルコトノ是非善惡ノ問題ハ、ヨリ批評ノ餘地ガアルコトト思ヒマス、併シナガラ御承知デモゴザイマス通リニ、上告裁判所ハ上告趣意書ニ包含セラレタル事項ニ限ツテ調査ヲナスコトニナツテ居リマスシ、上告趣意書其ノ他職權ニ依ツテ調査致シマシテ、上告ノ理由ナキコトガ明白ナル場合ニ於キマシテハ、必ズシモ公判ヲ開カナイデ、書面審理ノ途ヲ開イテ置キマスルコトガ、戰時ニ於キマスル上告裁判所ノ機能ヲ、ヨリ能ク發揮スルコトヲ得シムルモノダ、斯様ニ考ヘマンテ、第二十九条ヲ立

其ノ他ノ書類ニ依リ上告ノ理由ナキコト明
白ナリト認ムルトキハ檢事ノ意見ヲ聽キ辯
論ヲ經ズシテ判決ヲ以テ上告ヲ棄却スルコ
トヲ得」トアリマシテ、檢事ノ意見ノミニ
テ辯論ヲ經ズシテ結審スル、斯ウ云フ譯デア
リマス、是モ極メテ被告本人ニ取ツテハ不
安デアリ、國民モ亦峻嚴ナル、神聖ナル裁
判ニ對スル崇敬ノ念ヲ損フヤウナ感ガゴザ
イマスカラ、茲ニ斯ウ云フ規定ヲ設ケラレ
ルト云フコトハ穩當ヲ缺クモノデアルト
考ヘマスガ、ソレニ對スル御意見ヲ承リ

トニ依ツテ、或ハ此ノ警察權ノ濫用、或ハ人權踩躡ト云フヤウナ問題ヲ激成スルヤウナコトハ萬々ナイト私ハ信ジマス、檢事ニ於キマシテモ、司法警察官吏ニ於キマシテモ、其ノ責任ノ輕カラザルコトヲ十分反省致シマシテ、取調ニ無理ノナイ、正シイ無理ノナイ調書ヲ作ルコトニ心掛けマスシ、司法當局ニ於キマシテモ、凡ユル機會ヲ通ジマシテ、其ノ點ニ付テハ十分注意ヲ致ス積リデゴザイマス

第二十六條ノ、判決書ノ方式ニ關スル問題デゴザイマスガ、實ハ此ノ點ニ付キマシ

瓦リマシタ點ヲ改メマシテ、如何ナル證據ヲ以テ犯罪事實ヲ認定シタカノ根據ヲ、證據ノ標目ヲ示スコトニ依ツテ遂ゲ得ラレヤ、ウ、斯様ニ考ヘマシタ次第デアリマス、法令ノ適用ニ付キマシテモ、如何ナル法令ノ根據ニ基イテ處罰スルカヲ明カニシマスル爲ニ、必ず其ノ法令ヲ掲ゲマスルコトハ、是ハ刑事訴訟法ノ規定ニ從ヒマシタ、唯其ノ方法トシテハ處罰ノ根據トナツタ法令ヲ示セバ足リルノダ、斯様ニ致シマシタノデゴザイマシテ、刑事訴訟法ノ有罪判決書ノ方式ニ關シマスレ問題ニ從ヒツツ、裁時下

案致シマシタ次第デゴザイマス、併シナガラ是ハ飽マデモ刑事事裁判ノ本旨ニ鑑ミマシテ例外的ナ措置デゴザイマスカラ、此ノ書面審理ヲナシ得マス場合ニモ、上告ノ理由ナキコト明白ナル場合ヲ限局致シタ譯デゴザイマス、但シ判決ヲ以テ言渡ス譯デゴザイマスノデ、必ズ公判期日ヲ指定致シマシテ、公判廷ニ於テ其ノ判決ノ宣告ガナサレル、其ノ點ハ是ハ第二十九條ニ於テ、「判決ヲ以テ」云々ト云フ風ニ規定シマシタコトデ以テ明カニアリマス、左様ナ趣旨ニ於キマシタコト見三ナシゴザイマント、即ち公判期日ヲ

○池田(克)政府委員 御尋ネノ第一點ノ、
二十一條ノ書類ノ謄寫ニ關スル問題デゴザ
イマスガ、是ハ實際ノ運用ニ於キマシテハ
御意見ノ通リニアルト思ヒマス、成程一應
ハ裁判長、豫審判事ノ許可ヲ要スルコト
ニナツテ居リマスケレドモ、是ハ特別ノ事
情ノアル場合ダケデゴザイマシテ、原則ト
致シマシテハ許可セラルベキコトハ當然ノ
コトト思ヒマス

テハ、有罪ノ判決ハ申スマデモナク人ノ罪責ヲ定メマシテ、之ニ刑罰ヲ科スルコトデアリマスカラ、其ノ證據説明及ビ法令ノ適用ヲ、何人ニモ納得セシメ得ルヤウニ鄭重ニスベキコトハ當然デアリマスシ、又是ハ刑事手續法ノ理想デナケレバナラヌト思ヒマス、併シナガラ此ノ刑事訴訟法ノ規定ノ如クニ致シマセヌケレバ、詰リ三百六十條ノ第一項ノヤウニ致シマセヌケレバ、其ノ

ニ於キマスル已ムヲ得ザル訴訟法的ナ手當ヲ致シマシタノガ、此ノ第二十六條ノ規定デゴザイマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ幾重ニモ御諒承ヲ賜リタイト存ズルノデゴザイマス

第二十九條ノ問題デゴザイマスガ、此ノ上告審ニ書面審理ノ途ヲ開イタ點デゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通り民事訴訟法ニ於キマシテモ既ニ先例ガゴザイマス、民事訴

○服部(英)委員 書面審理ノコトハ能ク諒致シマシタ、司法警察官又ハ検事ノ聽取書ヲ罪證ニ供スルコトノ危険ナルコトハ、只今御説明ノヤウニ御當局デモ御心配ニナツテ居ル、常ニ相當研究ヲ致サレテ居ルニハ相違ゴザイマセヌガ、實際ニ於テハソレハ理想デアルケレドモ、實現ヲセラレテ居ナイ憾ミガ多イヤウデアリマスカラ、將來

ハ其ノ憾ミナキヤウニ徹底ラスルヤウニ、
御奮發ヲツ御願ヒ致シテ置キマス

〔鹽川委員長代理退席、委員長着席〕

ソレカラ最後ノ公開ヲシナイデ、檢事ノ意見ヲ聽イテ判決ヲ言渡ス、判決期日ハ通知シテ言渡ス、斯ウ云フコトヲナサルナラバ

モウ一步進ンデ辯論ヲ許シタ方ガ極メテ事件ニ對スル國民ノ感ジガ明朗ニナルト考ヘ

テ居ルノデアリマス、出來得ベクンバサウ云フ風ニ御願ヒ致シタイ、希望ヲ申上ゲア

置キマス

次ニ裁判所構成法戰時特例案ノ第三條ニ「控訴ヲ爲スコトヲ得ズ」ト言切ツテアリマスアルガ、如何ニモ是デハ心細イ、不安ノ感ガ

アルノデアリマス、控訴ヲナスコトヲ得ザ

ル場合ヲ多ク認ムルコトハ客カナラヌノデアリマスガ、又控訴ヲナスコトヲ得ル一部

ノ途ヲモ一ツ講ジテ置キタイト云フ考ヘヲ

持ツテ居ル者デアリマスガ、私共ノ考ヘヲ

御容レ下ナル餘地ハアリマセヌカ、ソレカラ第七條ノ抗告ヲコトデアリマス、是モ亦

同様ナ理由デナシ得ル場合モ餘地ヲ置ク、

斯ウ云フヤウニ御考ヘガ願ヘマセヌノデア

リマスカ

次ニ證人調べノ問題デアリマスルガ、戰時民事特別法案ノ第九條ニ「裁判所相當ト認

ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ代へ書面ノ提出ヲ爲サシムルコトヲ得」先づ假ニ

是ハ戰時體制下ニ於テ已ムヲ得ヌト致シマ

シテモ、其ノ場合デモ書面ニ依ツテデモ、

證人ヨリ宣誓ノ書面ヲ送ツテ、其ノ書面ニ署名ヲサシテ、サウシテ其ノ證言書類ヲ取

ルヤウニ致シタラ、僅カナ勞苦デ極メテ安

心ラスルコトガ出來ルヤウニ考ヘマスガ、

ソレニ付テノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

ソレカラ第三章ノ破産及和議デアリマス、此ノ第三章ニ於テ和議條件ヲ債務者ニ於

テ履行セザルトキハ裁判所ハ債權者ノ申立

テニ依リ、直チニ當該和議決議ヲ取消シテシマツテ、直チニ破産ノ宣告ヲナシ得ル、是

スカ

斯ウ云フ規定ガアル方ガ迅速ニ取計ラヘルト思ヒマスガ、其ノ御所見ハ如何デアリマ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

○大森政府委員 只今ノ御尋ネノ點ニ付キ

マシテ順次御答ヘヲ致シマス、先づ第一點

デアリマスルガ、裁判所構成法戰時特例案

第三條ニ牽聯シテノ御意見ノヤウニ拜承致

シマシタ、第三條ハ民事事件ニ付テ控訴審

省略ニ關ル規定デアリマスルジ、第四條

ハ刑事事件ニ付テノ同様ナ規定デアリマス、

御質問ノ御趣旨ハ恐ラクハ第三條及ビ第四

條ノ二箇條ニ瓦ルコトト拜察ヲ致シマス、

此ノ點ニ付キマシテハ屢々申述ベマシタ通

リデ、私其控訴審ノ省略ト云フコトハ決シ

テ望マシクハナイン、デアリマスルケレドモ、

戰時下人員ノ不足其ノ他種々ノ都合ニ依リ

マシテ、ドウカ是ダケハ一ツ御勘辨ヲ願ヒ

リテ、私其控訴審ノ省略ト云フコトハ決シ

テ望マシクハナイン、デアリマスルケレドモ、

戰時下ニ於テハ少クトモ是ダケノ手ヲ省イ

テ、ソレヲ本當ノ生粹ノ裁判ノ方ニ廻ハシ

得ルヤウニシテ戴キタイ、斯様ニ考ヘルノ

デアリマシテ、戰時ダケノ特例デハアリマ

スルガ、戰時中ニ限ツテハ一ツ御辛抱ヲ願

ヒ緊ツテモ持チ耐ヘテ乗り切りマセウ、斯ウ云フ横リデアリマヘ、デアリマスルカラ、此ノ第三條及ビ第四條ニ於テハ、是ダケハ少クトモ控訴審ノ省略ハ一ツ御辛抱ヲ願ヒタイ、斯様ニ考ヘル譯デアリマス、次ニ第一點デアリマスルガ、第七條ノ民事ノ所謂再抗告ノ廢止ノ問題デアリマス、斯亦趣旨ニ於キマシテハ第三條第四條ニ於マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

ヒ緊ツテモ持チ耐ヘテ乗り切りマセウ、斯ウ云フ横リデアリマヘ、デアリマスルカラ、此ノ第三條及ビ第四條ニ於テハ、是ダケハ少クトモ控訴審ノ省略ハ一ツ御辛抱ヲ願ヒタイ、斯様ニ考ヘル譯デアリマス、次ニ第一點デアリマスルガ、第七條ノ民事ノ所謂再抗告ノ廢止ノ問題デアリマス、斯亦趣旨ニ於キマシテハ第三條第四條ニ於マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

マスルヤウニ御取計ラヒヲ願ヒタイト云フ

希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレニ付テノ御

考ヘヲ伺ヒタイ

ニ於テ慎重ニ事業ヲ調査ノ上デ之ヲ取計ヒ

ヒ緊ツテモ持チ耐ヘテ乗り切りマセウ、斯

ウ

ニ私共ハ、宣誓ニ極メテ重キヲ置クノデア

リマシテ、宣誓違反ナラバ相罰ノ刑罰ヲ之ニ

下サナケレバナラナイト思フノデアリマス、

斯様ニ宣誓ニ重キヲ置キマスル以上、宣誓

ヲ置キタイノデアリマス、即チ森嚴ナル法

廷ニ於テ宣誓ヲスル、茲ニ重キヲ置キタイ

ノデアリマス、デスカラ何レカノ場所ニ於

テ宣誓ヲシテ、其ノ宣誓ヲシタト云フ書面

ダケヲ法廷ニ送ルト云フダケデハ、ドウモ

満足ガ出来ナイノデアリマス、然ラバ宣誓

ヲモサセナインデアリマスルカラ、此ノ便

法ニ依リマスルト、證人鑑定人ノ書面ト云

フモノハ、易スク信ズルコトガ出来ナイダ

ラウ、斯ウ云フ御懸念デアリマシテ、是ハ

御尤モデアリマス、デアリマスルカラ、左

様ナ信ジニクイヤウナ證人鑑定人ニ付テ

ハ、斯様ナ手續ハ執ルベキモノデハナイト

云フ積リデ立案ヲシタノデアリマシテ、茲

ニ「裁判所相當ト認ムルトキハ」ト申シマスル

ノハ、相當嚴格ニ私共ハ解釋ヲシテ行キタ

イト存ズル次第デアリマス

ハ、斯様ナ手續ハ執ルベキモノデハナイト

云フ積リデ立案ヲシタノデアリマシテ、茲

ノハ、相當嚴格ニ私共ハ解釋ヲシテ行キタ

イト存ズル次第デアリマス

アリマシテ、此ノ戰時民事特別法案ハ戰時

ニ付テノ必要已ムヲ得ザル限度ノ特例デア

リマスルガ、別途私共ハ破產法ノ和議法ニ

付テ相當改正ヲスル必要ガアルモノト思ツ

テ居ルノデアリマス、現ニ司法省内ニ於テ

數年間掛リマシテ廣範圍ノ改正ノ準備ヲシ

テ居ツタコトモアルノデアリマス、戰時等

ノ爲ニ此ノ仕事ハ一時中絶ハシテ居リマス

テ居ツタコトモアルノデアリマス、現ニ司法省内ニ於テ

數年間掛リマシテ廣範圍ノ改正ノ準備ヲシ

テ居ツタコトモアルノデアリマス、現ニ司法省内ニ於テ

數年間掛リマシテ廣範圍ノ改正ノ準備ヲシ

テ居ツタコトモアルノデアリマス、現ニ司法省内ニ於テ

ジタイト思ヒマス、其ノ時ニ十分考慮ヲ致

シタ

タイト

存ズル

シタ

第五ノ御希望ノ點ニ於テモ全ク同様デア
リマシテ、御趣旨ヲ十分ニ參酌ヲ致シマシ
テ、從事ヲ致シタイト存ジマス、右御諒承
ヲ願フ次第デアリマス

○服部(英)委員 私ハモウニツデ終リマス、
司法大臣ニ御伺ヒ致シマスルガ、最初ニ定
年制ヲ撤廢スル意思ハナイカ、定年制ハ判
事ハ六十三、大審院長、檢事總長ハ六十五
ト拜承致シテ居リマス、同ジ人間デアラ
ルノニ、大審院長サント普通ノ判事サント
ノ間ニ定年規定ヲ異ニシテ居ルト云フコト
ハ、ドウ云フ根據ガアルノデアリマスカ、
大審院長サン、又ハ判事サント何レモ必ズ
シモ早ク弱ラレルト云フ譯デモナシ、又必
ズシモ強イト云フ譯デモナインデアリマス、
此ノ差別ハドウ云フ根據デ設ケラレマシタ
カ、其ノ理由ガ一ツ、今一ツハ此ノ戰時下
ニ於ケル特例ノ此ノ法規ハ、戰時中ダケデ
アルト云フコトヲ屢々、伺ツテ居リマスルノ
デ、私共ハ諒承致シテ居リマスルガ、然ラ
バ戰時トハ始期ハ宣戰ニ依ツテ戰爭方始マ
ル時、是ハ明瞭デアルガ、終期ハ講和ガ成
立シナシタラ、其ノ時ヲ以テ戰局終レリト
シテ直チニ此ノ法律ガ失效スルカ、御説明
ヲ伺ヘバ失效スルノ手續ヲ執ルト云フ仰セ
デアリマシタガ、其ノ手續ヲ執ルニモ依リ
ケリ、戰爭ハ濟ンダガ、マダ戰時狀態ノヤ
ウナガワノガワ付イテ居ルカラ、其ノ手
續ヲ執レナイト云フ譯デ、一年モ二年モ、三
年モ五年モ其ノ手續ヲ御執リ下サルコトガ
延引スルヤウナ場合ガナシトモ限ラレナイ
ト心配ヲ致シマスソレニ付テノ御所見、此
ノ二點ヲ伺ツテ置キマス

○岩村國務大臣 定年制ニ二種アルガ如何
ト云フ御説ガアリマシタガ、私ハ其ノ當時
ノ立法ニハ直接關係アリマセヌガ、恐ラク
先程御話ノ通り七十二ナツテモ八十二ナツテ
モ、立派ニ健全ニ勵ラケル人ガアルノデス、
殊ニ司法部ニ長イ間奉職致シマシテ非常ニ
經驗ヲ積ミ有用ナ人ハアリ得ル譯デアリマ
ス、サウ云フヤウナ點カラ、特ニ大審院長
檢事總長ハ六十五ト云フコトニシタノデハ
ナイカト思ヒマス、勿論身體虛弱ナ人ハ無
論奉職ヲ致シ得ナイ譯デアリマス、先程御
話ノ七十二ナツテモ八十二ナツテモ健全ナ
ス
人ガアルト云フコトハ私モ認メマスガ、左
様ナ點デヤハリ經驗ノアル人ヲ要スルト云
フヤウニ考ヘテ居タノデハナイカト思ヒマ
ス
ソレカラ次ニ戰爭ノ關係デアリマス、戰
爭ハ平和條約ニ依ツテ終了スルモノト存ジ
ニ付テ此ノ大東亞戰爭ヲ目當ニシテ立法シ
マスガ、先程政府委員カラ御答ヘシテアツ
タヤウデアリマス、ソコデ此ノ三ツノ法律
付テハ別ニ特異ナル理由モナイヤウデアリ
マス、ソコデ私ハ希望ト致シマシテ、同ジ
司法權運用ニ携ツテ居ル判事諸公デアルノ
デアリマスカラ、此ノ際大審院長デアル
ガ故ニ六十五判事デアルガ故ニ六十三、斯
ユ云フコトハ餘り感ジガ好クナイヤウニ考
ヘル人モ或ル階級ニハナイデハナイカト思
ヒマスカラ、私ノ要望ト致シマシテハ、之
ヲドチラニ統一スルカト云ヘバ、人的資源
不足ナ今日ノ場合ニ六十五ノ方ニ統一セラ
レマシテ、判官諸公ノ間ニ拙イ感ジノ起ラ
ナイヤウニシテ戴キタイト云フ希望ヲ申上
ゲテ置キマス

○大森政府委員 此ノ三法案ハ大東亞戰爭
ニ依ツテ之ヲ廢止スルト云フコトダケハハ
ツキリ申上ゲテ置イテ宜イト思ヒマス、左
様ナ譯デ、實體ト手續ニ付テ稍、法律解釋ニ
差異ヲ生ズルカモ知レマセヌ、左様ニ御諒
承願ヒマス
○服部(英)委員 モウ一點デ止メマス、說
明ハ十分諒解致シマシタガ、第一點ノ御答
辯ノ六十三ト六十五ノ差ヲ設ケタルコトニ
付テハ別ニ特異ナル理由モナイヤウデアリ
マス、ソコデ私ハ希望ト致シマシテ、同ジ
司法權運用ニ携ツテ居ル判事諸公デアルノ
デアリマスカラ、此ノ際大審院長デアル
ガ故ニ六十五判事デアルガ故ニ六十三、斯
次ノ大東亞戰爭ト同様ノ斯カル大規模ノモ
ノデアルカ否ヤ、分リマセヌカラ、勿論大
東亞戰爭限リデアリマシテ、第二次、第三
次ノ大東亞戰爭ト同様ノ斯カル大規模ノモ
ノデアルカ否ヤ、分リマセヌカラ、勿論大
東亞戰爭限リデアリマシテ、第二次、第三
次ノ大東亞戰爭ニハ適用シナイ積リデアリマス、
若シ第二次、第三次ノ戰爭ニ於キマシテ同
等ノ必要ヲ生ジマスルナラバ、其ノ時ニ改
メテ考慮ヲスル積リデアリマス
○野村委員長 高橋君
次第一ノ戰爭ノ終了、只今大臣ノ御説明
デ能ク諒解致シマシタ、只今ノ御説ニ依ル
ト、大東亞戰爭ノ終了ト云フコトヲ承リマ
シタガ、此ノ大東亞戰爭ガ所謂終了シテ、終
了スルヤ間モナク引續イテ、例ヘテ見レバ、
「シベリア」ニ於テ戰爭ガ始マツタ、又ハ日
本軍ガ「ヨーロッパ」ニ出陣シテ戰争ブシ

ナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ場合ハコ
ニ含ムカ含マスカ、緣遠イ話デアリマス
ケレドモ、大東亞戰爭ハ終了シタ、日「ゾ」
戰争ガアル、其ノ場合ニ尙ホ是ハ繼續シテ
實施スルモノデアルトノ御考ヘデアリマス
カ、其ノ時ニハ切替ヘルト云フヤウナ御考
ヘデモアリマスカ
○大森政府委員 此ノ三法案ハ大東亞戰爭
ニ限ツテ適用セラルル趣旨ヲ以テ立案シタ
モノデアリマシテ、又左様ニ運用ヲ致ス積
リデアリマス、私ハ將來ノコトハ素ヨリ分
リマセヌケレドモ、我ガ日本ニ關スル限り
大東亞戰爭終了後再ビ戰爭ノアルヤウナコ
トハ考ヘテ居リマセヌ、併シ是ハ將來ノコ
トデアリマスカラ分リマセヌ、假ニ若シ
第一次、第二次ノ戰爭ガアリマシタ場
合、此ノ第二次、第三次ノ戰爭が果シテ今
トハ考ヘテ居リマセヌ、併シ是ハ將來ノコ
トデアリマスカラ分リマセヌ、假ニ若シ
第二次、第三次ノ戰爭ニ於キマシテ同
等ノ必要ヲ生ジマスルナラバ、其ノ時ニ改
メテ考慮ヲスル積リデアリマス
○野村委員長 高橋君
○高橋(義)委員 私ノ御尋ネ申上ゲタイ
ハ司法部ノ方ニ御尋ネ申上ゲマスル點モア
リマスガ、先程要求シテ置イタ大藏省ノ主
計局長、ソレカラ石田政府委員ガ居ラレマ
セヌト其ノ趣旨ガ貫徹致シマセヌガオイデ
ニナツテ居リマセウカ
○大森政府委員 只今御指名ノ二人ノ政府
委員デアリマスガ、丁度生憎貴族院ノ豫算
委員會ニ出テ居リマシテ、兩名トモ直グニ
參ル譯ニ參リマセヌガ、如何致シマセウカ

〔速記中止〕

○野村委員長 前年來質問モシ主張モシテ居リマスガ、民事訴訟カラ勝訴ト云フ言葉、敗訴ト云フ言葉、攻撃、防禦ト云フ言葉ヲ何トカ變ヘテ貰ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデス、天皇ノ名ニ於テスル裁判ガ勝ツノ敗ケルノト云フ問題ニ關聯ノアルモノデハナイト云フコトヲ信ジテ居ル、勝ツトカ敗ケルトカ云フコトニナルト相撲ノヤウナ氣ニナリマシテ、運ガ好カツタソニ勝ツタトカ、敗ケタトカ、或ハ上手デ勝ツタトカ敗ケタトカ云フ觀念ヲ抱ク、正義ノ宣言ト云フモノハソンナモノデハナイノデスカラ、勝ツトカ敗ケルトカ云フ言葉ヲ民事訴訟法カラ取去ツタラドウカ、申立ガ立ツトカ或ハ立タナイト云フコトデ宜イ譯デス、サウ云フヤウナ主張ヲ持ツテ居リマスカラ之ヲ御考ヘヲ願ヒタイ、ソレカラ攻撃防禦ト云フコトモ、ドウモ攻撃スルトカ防禦スルトカ云フヤウナコトハ穩ヤカデナイト私ハ思フノデアリマス、是ハ鬭争形態カラ來タ訴訟ノ一ツノ言葉ダト思ヒマスガ、之ニ對スル御考ヘヲ承リタイ、ソレガ一ツモウ一ツハ司法ノ仕事ニ從事スル者ニ對シテモウ少シ教育的ナ教育ヲ致サレタラドウカト思フノデアリマス、判事ニ致シマシテモ檢事ニ致シマシテモ、或ハ刑務所ノ職員ニ致シマシテモ、教育的ナ頭ガ少シモアリマセヌ爲ニ、事案ヲ事務的ニ取扱ヒマシテ效果ガ薄イ、之ヲ少シ教育的ナ頭デ取扱ヒマスト、刑事ノ被告人ノ如キハ非常ニ改悛ノ機會ヲ得ル譯デス、教育的ナ頭ガアリマセヌノデ、事務的ニ調ベラレテ投リ込マレテ出サレテ來ル、是デハ何時改悛スルカ、改

委員會議録 第七回 昭和十七年一月九日
悛ノ時機スラナイ譯デアリマス、刑事被害
人ノ如キハ取扱ニ依リマシテハ裁判ナドヲ
シナクテモ、僅カナコトデ感激ヲ與ヘルコ
トモアル譯デスカラ、私ハ司法家ノ再教育
ナンカノ場合ニハ、教育的ナ科目ヲ加ヘテ
教育ノ一つノ技術ヲ少シ教ヘタラドウカ、
斯ウ思フノデアリマス、教育ニハヤハリ技
術ガアリマシテ、僅カナ技術デ以テ大變ニ
モノガ和ヤカニ行クト云フコトヲ法廷ヤ法
廷外デツクル感ズルコトガアリマスノ
デ、之ニ對スル司法當局ノ御意見ヲ伺ヒタ
イ

イト云フヤウナコトヲ言ウテ居ラレルノデス、併シ日ニ計ツテ足ラズ月ニ計ツテ餘アリト云フ言葉ガアリマス、之ヲ横ニ考ヘルト、一人ニ計ツテ足ラズ百人ニ計ツテ餘アリト言ヒ得ルノデス、ソコデ目安ハ一日三合デモ宜シウゴザイマスガ、家ヲ中心ニシテ配給スル、或ハ又隣組ナリ町内會ナリヲ單位ニシテヤルトカ云フコトニアルト、人々ガ三合ヅツダト云フ觀念モ大變緩和スルコトガ出來ルノデハナイカ、是ハ司法省ガドウスルト云フ問題デハアリマセスガ、思想取締ニ關シテ御心配ニナツテ居ル當局トシテドウ御考ヘニナリマスカ

ソレカラ私ハ能ク調ベタコトハアリマセヌガ、調停デ裁判ヲシタ例ハ割合少イヤウデゴザイマスガ、若シ申立人被申立人ガ合意シタラバ裁判ラシテ片付ケテシマツタラドウカト思ヒマス、之ニハ色々ナ議論モアリマシテ、調停裁判ヲシナイ、スルト裁判ノ權限ニ入ルト云フヤウナコトモ言ウテ居リマスケレドモ、斯ウ云フ時局デモアリマスカラ、諒解ガ付イタ時ニ適當ナ調停裁判デモシテ貴ツタラドウカト思フノデス、現在ハ成ベクヤラヌヤウニサレテ居リマスガ、私ノ感ジタ所ヲ申上げルト、事件ヲ早ク處理シ、中へ入ツテ貴ツタ裁判所ノ裁斷ニ任スノモ、物ヲ裁クノニ惡イコトデハナイト云フヤウニ考ヘマスカラ、之ニ對スル御見解ヲ伺ヒマス

第五ハ、私ハ司法ト云フ仕事ハ文教ノ一部デアルト思フノデス、例ヘバ公序良俗ト云フヤウナコトハ道義ノ問題デアリマシン、此ノ點ハ文部省ト密接ナ關係ガアルト思ヒマス、文部省ガボンヤリシテ居ツテ、學校ノ管轄ダケデヨシシテ居ルヤウデスガ、

私ハモツト文部大臣ガシツカリシテ、軍部ニ對シテモ、鐵砲ノコトハ知ラヌケレドモ、モ検事ニ致シマシテモ、人ヲ教育スル技倆ヲ必要トスルト云フ點ニ付キマシテハ、徹頭徹尾御同感デアリマス、若シ人ヲ教育スル技倆ガ十分ニアリマスルナラバ、刑事被工省ニモ配給機構ノ商人ニハ斯ウ云フ風ニト云フコトヲ文部省ガ教ヘル、司法省ノ方トモ連絡ヲ取ルヤウニシタラ宜イデハナイカト思フケレドモ、是ハドウモ文部省ハボンヤリシテ居ツテ一向ニ駄目デス、ソコデ司法省ノ方ト連絡ヲナサツテ——道義國家ノ建設、道義的ナ東亞共榮圈ノ建設ト云フコトガ、大キナ題目ナノデアリマスカラ、一般ノ法理ニ對スル見解ヲ一ツニスルヤウニ、連絡ヲ御取リニナルヤウナ方法ハナイモノデアルカ、是ダケデアリマス

○大森政府委員 順次御答ヘヲ致シマス、第一點デアリマスルガ、御指摘ノ勝訴、敗訴、攻撃方法又ハ防禦方法、此ノ文字ハ實ハ私モ大ニ嫌ヒデアリマス、御承知デモアリマス通リニ、是ハ外國ノ法律語ノ翻譯デアリマシテ、我が國ニハ全ク相應シクナイヤウニ存ジマスガ、唯民事訴訟法ノヤウナ大法典カラ、此ノ字ダケヲ俄カニ除クト云フコトモドウカト思フノデアリマシテ、將來民事訴訟法全體ニ付テ改正ヲ企テマスル時ニハ、此ノ文字ヲ撤廻スルト云フコトハ、必ズ考慮シテ宜カラウト思フノデアリマス、氣持ニ於テハ全ク御同感デアリマス、唯ソレヲ如何デル時期ニ實現スルカト云フ點ニ付キ、多少躊躇シテ居ルト云フ程度ニ御諒承ヲ願ヒタインデアリマス

第二點デアリマスガ、判事ニ致シマシテモ檢事ニ致シマシテモ、人ヲ教育スル技倆ヲ必要トスルト云フ點ニ付キマシテハ、徹頭徹尾御同感デアリマス、若シ人ヲ教育スル技倆ガ十分ニアリマスルナラバ、刑事被

告人ヲ説得スルコトモ勿論容易デアリマセ
ウシ、又裁判上ノ和解ニ致シマシテモ、又
先程御述ベニナリマシタ調停ニ致シマシテ
モ、極メテ樂々ト進捗ヲスルノデアリマス、
デアリマスカラ此ノ點ニ付キマシテハ、私
共モ全ク思ヒヲ同ジクスルノデアリマシテ、
司法研究所ノ教養訓練ニ於テハ、此ノ點ニ
重キヲ置キタイト思ツテ居リマス、實ハ既
ニ多少ノ考慮ハ致シテ居ルノデアリマスル
ガ、其ノ方法等ニ付テマダ不十分ノ點ガア
リマスカラ、今ノ御言葉ニ依リマシテ、益々
努力ヲ致シタイト存ジテ居ル次第デアリ
マス

次ニ第三點デアリマスガ、近頃ノ統制經
濟ト其ノ思想ニ齎ス影響トノ問題デアリマ
ス、申上ゲルマデモナク、此ノ戰時下ニ於
テ經濟統制ノ必要ナルコトハ、固ヨリ言フ
マデモナインデアリマシテ、吾々此ノ點ニ
付テハ相當ノ辛抱ヲシナケレバナラナイ、
又辛抱スルノハ當リ前ト存ジマス、併シ其
ノ本當ノ必要ヲ實際ニ知ラナイデ、時ニ不
平ヲ言フ、此ノ不平ガ又變ナ所へ伸ビマシ
テ、思想問題ニ惡影響ヲ來スト云フコトハ、
確カニ憂慮シテ宜カラウト思フノデアリマ
ス、又サウ云ツタ不平ニ乘ジテ此ノ思想ノ
傳播ヲスルト云フコトモ、決シテナイトハ考
ヘテ居ナイノデアリマシテ、經濟統制ノ思想
問題ニ及ボス影響ニ付キマシテハ、私共モ十
分ニ考慮ニ考慮ヲ重ねナケレバナラナイト
思ツテ居リマス、何ヲ申シマシテモ思想問題
ニ付キマシテハ、鐵壁ノ陣ヲ張ツテ動搖ノナ
イヤウニシナケレバナリマセヌカラ、四方
八方ニ氣ヲ配リタイト存ジテ居リマス
次ニ第四點デアリマスガ、調停ニ付テ強
制調停ヲ今少シク擴張シタラドウデアル

カ、詰リ運用上之ニ今少シク力瘤ヲ入レロ
ト云フヤウナ御趣旨ノヤウニ拜聽致シマシ
タ、是ハ私共屢々申シテ居ルコトデアリマス
ルガ、強制調停ハ謂ハバ傳家ノ寶刀ミタイ
ナモノデアリマシテ、是ハ容易ニ拔イテハ
ナラナイケレドモ、借テ又拔カナイ爲ノ寶
刀デハナインデアリマス、必要ナ場合ニハ
大イニ拔カザルヲ得ナイノデアリマス、但
シ總テノ調停ヲ通ジマシテ、御熟知ノ通り
ニ當事者雙方ノ眞意ニ於テ、心カラ出テ來
ル互讓妥協ト云フコトガ必要デアリマスカ
ラ、若シ調停主任官タル判事ニ於テ、又調
停委員ニ於テ、強制調停ト云フコトヲ仄メ
カシテ、互讓妥協ヲ無理ニ促進スルト云フ
コトガアリマスナラバ、是ハ調停制度トシ
テハ由々シキ問題デアリマス、デアリマス
カラ其ノ運用ニハ細心ノ注意ヲ要スルノデ
アリマシテ、勿論適正ナル善用ト云フコト
ニ付テハ私共大賛成デアリマス、其ノ故ラ
以チマシテ、此ノ度御審議ヲ願ヒマス戰時
民事特別法案ニ於キマシテハ、人事調停ヲ
除キマシテ、總テノ調停ニ付テハ、所謂強
制調停ノ途ヲ開イタ次第デアリマス、運用
ニ付テハ大イニ考慮ヲ致シマシテ、適正ナ
ル善用ト云フコトデ、進ンデ參リタイト存
ズルノデアリマス

第五點デアリマスガ、申上ゲルマデモナ
ク法律ト道徳トハ、密接ナル關係ノアルコ
トノ間ニ、連絡ガ深クナラケレバナラナ
事ヲ配置スル、殊ニ區裁判所ニ於テ其ノ必
要ヲ痛感スルノデアリマス、御承知ノ通り
區裁判所判事ハ單獨制デアリマスルカラ、
斯ウ云フ御尋ネデアリマス、之ニ付キマシテ
ハ私共ハ先づ第一ニ第一審ニ練達堪能ノ判
事ヲ配置スル、殊ニ區裁判所ニ於テ其ノ必
要ヲ痛感スルノデアリマス、御承知ノ通り
是ガ事實審ニ當ルト云フ場合ニ、未經驗者
デハ困ルノデアリマス、サウシテ此ノ配置
ノ充實ヲ期スルガ爲ニハ、今朝一松委員ノ
御質問ニ對シテモ御答ヘシタノデアリマス
ガ、私共ハ十分ナル決意ヲ有シテ居ル積リ
デアリマス、即チ斯様ナ案ヲ以テ臨ミマス
ル以上、相當ノ覺悟ガナクテハナラナイノ
デアリマシテ、十分ナル見込ヲ付ケテ、シ
カカリト肚ラ据エテ此ノ運用ニ當リタイト
シマス

亞戰爭ニナリマシテ、文教當局ト私共トノ
從來ノ連繫ヲ更ニ密接ニシテ、雄大ナル理
想ヲ茲ニ立テルト云フ必要ノアルコトハ御
說ノ通リデアリマス、文教當局ト相俟ツテ、
大イニ之ニ向ツテ進ミタイト考ヘル次第デ
アリマス、右御答ヘヲ致シマス

○長井委員 只今ノ御答辯ヲ戴キマシタガ、
配給ト思想ノ問題デ次官ノ御考ヘニナルノ
ト、私ノ申シタコトハ少シ違フノデアリマ
ス、例へバ米ヲ二合五勺ト云フ風ニ頭割リ
ニ致シマスコトガ、非常ニ危險ナ思想ヲ醸
成スル、何モ彼モソレダケデ宜イデハナイ
カト云フコトヲ考ヘテ來ル、着物デモ住居
デモ其ノ通り、ソレガ縱ニ向ツテ問題ニナ
ツテ來タラ、國ハ全ク破壊シテシマフ、今
ノ御話ニ不平ダト云フヤウナコトデシタガ、
不平デハナイ、満足シテ居ツテモ斯様ナ考
ヘ方ガ危險ダト云フノデアリマス

○大森政府委員 委員長一寸速記ヲ……
〔速記中止〕

○野村委員長 速記ヲ中止致シマス

○北浦圭太郎君 ソレデハ速記ヲ始メテ——

○北浦委員 簡單ニ四、五點御伺ヒ致シマス、
私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、審級ヲ減少シヨ
ウト致シマスルト、益々辯護人ノ防禦方法ノ
協力ヲ必要トスル、ソレハ被告人ノ利益資
料ト云フモノハ専ラ辯護人カラ提出サレテ
居リマス、是ハ御承知ノ通リデアリマス、
然ルニ此ノ特別法案ハ著シク辯護權ヲ制限
致シテ居リマス、其ノ第一ハ辯護人ノ人數
ノ制限、其ノ第二ハ上告審ノ辯論省略、其
ノ第三ハ必要辯護ノ撤廢、其ノ第四ハ三審
制度ノ變更、其ノ第五ハ一件記錄ノ交付制
度マダ其ノ他ニモゴザイマセウガ、一貫シテ

思ツテ居リマス

ソレカラ次ニ第一ノ點デアリマスルガ、司法官
是亦屢々申述ベタ點デアリマシテ、司法官
ノ教養訓練ト云フコトニ重キヲ置キタイト
存ジテ居リマス、兎ニモ角ニモ第一審ラシ
ツカリヤツテ行クト云フ覺悟ハ、私共十分
ニ持タナケレバナラスト存ジテ居ルノデア
リマス、一應是ダケノ御諒承ヲ願ツテ置キ
タイノデアリマス

○北浦委員 戰時下已ムヲ得ナイト云フ御
説明ハ再々承ツテ居ルノデアリマスルガ、
私ハ斯様ニ考ヘマス、陸海軍コソハ此ノ戰
時下ト云フコトニ付テ直接ノ原因ヲ持ツテ
居ル、直接ヤツテ居ラレルノニ、今回ノ軍
法會議法ノ改正ニ付キマシテモ、別ニ審級
ト云フ所マデハ手ハ觸レテ居ラレマセヌ、
尤モ私ハ軍法會議法ハ詳細ニ調べテ居リマ
セヌガ、軍ハ一審裁判デモ宜イノニ二審制
デアルト思ヒマス、然ルニ是ハ却テ反対デ、
戰爭ニ直接關係アル所ノ軍隊ハ、法律ニ明
ルイ者ヲ軍人トシテ待遇ヲシテ、サウシテ
人權保護ノ實ヲ舉ゲヨウトシテ居ラレル、
司法官ハ色々説明ヲセラレマスルガ、軍ニ
比ベテ戰時下已ムヲ得ナイト云フ程度ガ甚
ダ薄弱デアル、斯様ニ考ヘマス、此ノ點軍
ノヤリ方ト非常ニ矛盾ガアルヤウニ考ヘマ
スガ、此ノ點モウ一應簡單ニ明快ナル御說
明ヲ願ヒマス

○大森政府委員 軍法會議ハ御承知ノ通り
ニ二審制ノ場合ガアリ、又一審制ノ場合ガア
ルノデアリマス、軍ノ方ハ更ニ此ノ二審制
ヲ一審制ニスルト云フコトヲシナニ拘ラ
ズ、吾々ノ方デ控訴審ヲ省略シタノハ如何
デアルカ、同ジコトヲ屢々御答辯申上ガルヤ
ウデ恐縮デアリマスケレドモ、吾々ノ今日

ノ人員ノ配置ニ於キマシテハ、是ダケ御辛

抱ヲ願ハナケレバ到底ヤリ切レナイノデア
リマス、今日ニ於テ當然豫想セラルベキ狀
態ノ下ニ於テ確カニ不足デアリマスカラ、
是ダケノ御勘辨ヲ願フト云フノデアリマシ
テ、戰時下事ヲ好ンデ手續ヲ省略スルト云
フ趣旨ハ毛頭モナイノデアリマス

○北浦委員 モウ一ツ軍ニ關スルコトデ、
民事訴訟ニ於テ家屋明渡シノ場合、執行猶
豫ノ場合、是ハ控訴ヲ許サザル件ト、斯ウ
云フ風ニナツテ居リマスガ、出征兵士ガ戸
主トカ世帯主デアル、即チ家ノ中心人物ガ
戰線デ國家ノ爲ニ一生懸命ニ戰ツテ居ル、
其ノ留守中ニ事件處理ヲ迅速ナラシムルト
云フガ如キコトハ殘酷ナ仕打デ、甚ダ國家
的デナイ、之ニ付テハ何カ特例ヲ御考ヘニ
ナツテ居リマスカ、此ノ點ヲ伺ヒマス

○大森政府委員 法律的ニハ特例ヲ考ヘテ
居リマセヌ、併シナガラ御熟知ノ通リ既ニ
裁判上ノ和解ナリ、調停ナリ、其ノ點ハ十
分考慮ニ入レマシテ、現ニ適正ナル手續ヲ
ナシツツアルノデアリマシテ、其ノ方針ハ
今後モ決シテ改メルコトハアリマセヌ、寧
ロ此ノ方針ヲ擴大シツツ進ンデ參ラウト思
ツテ居リマス

○北浦委員 刑事特別法案中ノ第三十二條ハ、
ニ付テ御伺ヒ致シマス、此ノ司法ノ刑事手
續ヲ軍法會議ノ刑事手續ニ準用シテ居ラレ
マスガ、斯クノ如キハ司法權ノ範圍ヲ逸脱
シテ居ルト云フ虞ハナイカ、此ノ點ヲ伺ヒ
マス

○池田(克)政府委員 此ノ第三十一條ハ、
第二章ノ規定ト、陸軍軍法會議法、海軍軍
法會議法トノ關係ヲ規定シタモノデゴザイ
マシテ、必要ナ規定ヲ軍法會議ノ刑事手續
ニモ適用スルコトヲ明カニシタノデアリマ
ス、憲法ノ六十條ノ大精神ハ、特別裁判所
ノ管轄ニ屬スベキ基本的ナ規定ハ別ニ法律
ヲ以テ定ムルト云フコトヲ御示シニナツテ
居ルノデゴザイマシテ、軍法會議ニ付キマ
シテハ陸軍軍法會議法、海軍軍法會議法ト
云フ此ノ特別裁判所ノ管轄ニ屬スベキ基本
的大法典ガ別ニ定マツテ居ル、三十一條ハ
此ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、別ニ軍法會議法ノ
改正法或ハ單行法ト云フ風ナ規定デ致シマ
スデモ、此ノ法案ノヤウナ立法ノ手續ニ
依リマシテモ憲法第六十條ノ大精神ニハ背
離スル所ナイト、斯様ニ確信シタ次第デゴ
ザイマス

○池田(克)政府委員 第三十二條ノ規定
ハ、必要ナル規定ヲ軍法會議ノ刑事手續ニ
付テ御伺ヒ致シマス、此ノ司法ノ刑事手
續ヲ軍法會議ノ刑事手續ニ準用シテ居ラレ
マスガ、斯クノ如キハ司法權ノ範圍ヲ逸脱
シテ居ルト云フ虞ハナイカ、此ノ點ヲ伺ヒ
マス

リマス、軍法會議ノ方ノ問題ニ付キマシテ
ハ、根本法ハ軍法會議法ト云フ特別法デ規
定スベキコトハ、是ハ憲法デ命ズル所デゴ
ザイマス、此ノ刑事特別法案ニ於キマシテ
ハ、軍法會議法ニ於キマス特別規定ヲ場所
的ニ此處ヘ利用シタノダ、詰リ刑事手續法
ニ於キマスル一種ノ特別法、ソレカラ軍法
會議ノ特別法、單行法ガ二ツ合ハサツテ居
ルノダト云フ意味合ニ於キマシテ、憲法ノ
精神ニハ反シナイト考ヘマス次第デアリマ
ス、尙ホ立法上ノ前例ト致シマシテハ、既ニ
國防保安法、或ハ治安維持法等々ガゴザイ
マシテ、憲法ノ精神ニハ相反シナイトモノト
考ヘマシタ次第デゴザイマス

○北浦委員 前例ト仰シヤルノデゴザイマ
スガ、是ガ悪ケレバ是モ修正シ、ソレカラ
先例ガ惡ケレバ先例モ改メナケレバイケナ
イ、御承知ノ通り、舊刑法ハ大赦、特赦、
減刑、復權ニ關スル規定ガ設ケタル、是
ハ憲法大權事項ナルノ故ヲ以テ現行法ハ之
ヲ削除シテ居ル、多分現政府委員ノ方々モ
削除スル時ニハ參與サレタト思ヒマス、サ
ウシテ現今ハ勅令、即チ恩赦令ノ公布ニ依
ツテ之ヲ實際ニ行ハレテ居ル、此ノ三十一條ハ
ハドウモ不思議ナ御説明ラササイマスルガ、
ソレヲ共同ノ規定ヲスルト云フコトモ惡ケ
レバ、斯ウ云フコトガ宜イト致シマスト、司
法ノ規定ニ依ツテ軍ノ行動ヲ左右出来る、動
例外デス、軍法會議ハ全然別個ノモノデス、
ソレヲ共同ノ規定ヲスルト云フコトモ惡ケ
レバ、斯ウ云フコトガ宜イト致シマスト、司
法ノ規定ニ依ツテ軍ノ行動ヲ左右出来る、動
カスコトガ出來ルト云フコトニナリマスト、左

是ハ大變デゴザイマス、司法當局トシテハ、
憲法上明白ニ違フ、此ノ領域ガ達フモノヲ
先例ノ一事ヲ以テ御答辯ナサルト云フコト
ハ、如何デゴザイマセウカ、其ノ點ハ切ニ御
考ヘラ煩ハサナケレバイカヌ、斯様ニ思ヒ
マス、又先例ガアルカラ是デ宜イノダ、ソ
レカラ只今御説明ノヤウニ、軍法會議ノ特
別法、ソレカラ又刑法若シクハ裁判所構成
法ノ特別法トカ、左様ナ司法部内ト軍トノ
ソレ以外ノ特別法ト云フモノハ理解シ難イ
ノデゴザイマス、其ノ點モウ一度御説明ヲ
煩ハシタイ

○池田(克)政府委員 此ノ第三十一條ハ、
第二章ノ規定ト、陸軍軍法會議法、海軍軍
法會議法トノ關係ヲ規定シタモノデゴザイ
マシテ、必要ナ規定ヲ軍法會議ノ刑事手續
ニモ適用スルコトヲ明カニシタノデアリマ
ス、憲法ノ六十條ノ大精神ハ、特別裁判所
ノ管轄ニ屬スベキ基本的ナ規定ハ別ニ法律
ヲ以テ定ムルト云フコトヲ御示シニナツテ
居ルノデゴザイマシテ、軍法會議ニ付キマ
シテハ陸軍軍法會議法、海軍軍法會議法ト
云フ此ノ特別裁判所ノ管轄ニ屬スベキ基本
的大法典ガ別ニ定マツテ居ル、三十一條ハ
此ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、別ニ軍法會議法ノ
改正法或ハ單行法ト云フ風ナ規定デ致シマ
スデモ、此ノ法案ノヤウナ立法ノ手續ニ
依リマシテモ憲法第六十條ノ大精神ニハ背
離スル所ナイト、斯様ニ確信シタ次第デゴ
ザイマス

尙ホ此ノ案ノ立案、更ニ議會ノ御協賛ヲ
經マスニ付キマシテハ、陸軍大臣、海軍大
臣ト司法大臣トガ、何ト申シマスカ、責任
大臣トシテソレム、成規ノ手續ニ從ヒマシ
テ手續ガ履マレテ居ルノデアリマシテ、左

様ナ黒ニ付キマシテモ何等御心配ノ點方ニ
ザイマセヌノデ、御諒承ヲ賜ハリタイト存
ジマス

裁判言渡ノ形式、其ノ他書類謄寫ノ點ヲ此ノ法律デ軍法會議ノ刑事手續ニ之ヲ準用ス。トオ書キニナツテ、軍法會議法ニハ何等ノ

ニ私ハ經濟違反ノ手口ガ複雜巧妙ニナツタ、
是モ大シタ問題デハアリマセヌガ、特ニ豫防
ト云フカ、私ハ一昨年カラ此ノ經濟事犯ノ
豫防ト云フコトヲヤカマシク申シテ居ルノデ
ゴザイマスガ、是ハ内務省ノ管轄カモ分リマ
セヌガ、實際ハ警察官ハ御承知ノ通り検舉
摘發ヲ手柄トスル、豫防ト云フコトニ如何ニ
努力致シマシテモ、豫防警察ヨリモ摘發警察ニ全
ヘナイ、グンヽ摘發致シマスト、各府縣
力ヲ盡ス、ソコデ司法次官ハ大阪デモ何處
デモ會議ヲ開イタト云フコトデゴザイマス
ガ、ソレデハマダ足リス、一年中豫防ト云
フコトニ力ヲ入レテ戴キタイ、此ノ豫防ト
云フコトニ付テ政府ハ今後——今日マデノ
コトヲ彼此レ言ウテモ仕方ガアリマセヌ
ガ、今後ドウ云フ成案ヲ持ツテ居ラレルカ、
是モ簡條書ニ簡單デ宜シウゴザイマス
○大森政府委員 經濟事犯ニ付テ豫防ヲ旨
トスベシトノ御意見ニハ全ク御同感デアリ
マス、今後私共司法部内トシテヤリ得ルコ
ト、又ヤリタイト思ツテ居リマスコトハ、先
づ吾々機會ノアル限り衝頭ニ出テ座談會ナ
リ講演會ナリヲ聞クコトデアリマス、先ヅ
ソレ等ノ人ト胸襟ヲ開イテ此ノ必要ナル所
以ヲ真正面ニナツテ話合フコトヲ必要ト存
ジマス、私共去年ノ秋ノ經濟道德昂揚週間、
能ク分ツタト云フ人モアルノデアリマシテ、
是ハ相當ノ成果ハアツタト思フノデアリマ
ス、會ツテ見マスト全ク見解ヲ誤ツテ居タ、
縣命ニナツテ見タイト存ジテ居リマス、尙

○北浦委員 次ニ裁判遲延ノ原因ハ、裁判所書記以下下級官吏ノ待遇ガ非常ニ悪イ、私ハ司法省ニ御親切ニ言フノデヤアリマセヌ、司法省ノ最高幹部ノ方々ノ怠慢ヲ私ハ責メタク、是デ飯ヲ食ツテ行ケマスカ、此ノ表デ見マシテモ十年以上經チマシテ書記以下ノ人ハ六十三圓デハアリマセヌカ、十年勤メテ、ドウシテ是デ飯ヲ食ツテ行ケマスカ、前ノ總理大臣ハ總テ此ノ戰時下ニ於テハ最低生活ヲ保證スルト言ハレタガ、是デハ飯ヲ食ツテ行ケナイ、殊ニ是ガ本官ノ書記デアリマスガ、廷丁邊リニナリマスト十年以上勤メテ三十八圓トハ是レ如何デゴザイマスカ、洵ニ悲慘ナ話デアリマス、私は昨年カラサウ申シテ居ル、ソコデ是ハ司法省ノ方々ニ話シテモ駄目ナノデアリマスガ、今大藏省ノドナタカオイデニナツタト云フコトデアリマスカラ、大藏省ノ方ニ私は申上げタク、如何ニ司法省ノ下級職員ノ方々ガオトナシイ、是ハ本當ニオトナシイ、ソレダカラト言ツテ十年經ツテ三十八圓、二十一年經ツテ四十五圓トハ、是ハ實ニドウモ酷イ、大藏省ノ方ニ私ハ質問致スノデゴザイマスガ、昨年、是ハ議員俱樂部ノ政務調査會長砂田重政氏カラ私ニ對スル書面デゴザイマスガ、前ノ大藏大臣ハ立派ニ約束シタ、同僚ノ贊成ヲ得マシテ私ハ決議案ヲ提出シヨウト致シマシタ時ニ、砂田重政氏ハソレヲ抑ヘテ、決議案ヲ提出シナクテモ大藏大臣ハ斯ウ言ツタ、「大藏大臣ニ交渉致シ就中司法裁判所ニ於ケル下級吏員ノ平均俸給、初任給等ノ他ニ比シ極端ニ薄給ナル狀態等

ア 強調シテ、小學校教員、農業技術員等ト
同様臨時手當ヲ支給スル様交渉候處」此
ノ次ギデス「大藏大臣モ其ノ實情ヲ認メ速
カニ調査ヲ遂ゲ、同様支給方針ノ下ニ、第
二豫備金ニハ斯カルモノノ經費ヲ豫想シテ
計上シアル旨言明セラレ申シ候」ト、斯ウ
書イデアル、ソレダカラ決議案ヲ止セ、大
藏大臣ガ政務調査會長——前ノ議員俱樂部
全議員ヲ以テ組織シテ居ツタノデアリマ
スカラ、先ヅ衆議院モ同様、ソレト大藏大
臣ハ約束致シテ置イテ、騙ストハ何事ダ、
大藏省ノ政府委員ガ見エテ居ルサウデゴザ
イマスカラ、此ノ點御答辯ヲ願ヒタイ
○野村委員長 北浦君、大藏省ノ政府委員
ハ來テ居リマセヌカラ、今呼ビニヤリマシ
タ
○北浦委員 ソレデハ司法當局ニモウ一
點、此ノ改正刑法ハ可ナリ詳細ニ出來テ居
リマシテ妥當ト思ヒマス、唯斯ウ云フノガ
脱ケテ居ル、此ノ頃各府縣ニ參リマスト、商
工省或ハ縣ノ所謂公認組合ガ認メラレマセ
ヌカラ、任意組合ト云フモノヲ組織スル、其
ノ任意組合ノ役員ガ業務上不正ノ利益ヲ得
ル目的ヲ以テ配給ヲ私スル、是ハモウ澤山
ゴザイマス、任意組合トヤル、各府縣ハ配
給ノ機構トシテ之ヲ認メル、流ス所ハゴザ
イマセヌカラ之ヲ認メル、サウスルト此ノ
任意組合ヘ向ケテ重要物資ノ配給ガ流レテ
行ク、ソコデソコノ役員共ハ、實績アツテ
モ無クテモ自分ダケ澤山ノ配給ヲ取ル、是
ハ奈良縣邊リデ大騒ギヤツテ居ル、旅館、
料理屋ニ酒ヤ砂糖ヲ配給スル所ノ其ノ配給
機關ハ、賄組合ト云フ任意組合ガアル、サ
ウシテ舊來カラアリマシタ所ノ、澤山ノ配

イ、賄ト申シマシテ、餽餉屋トカ或ハ小賣屋トカ云フ連中ガ賄組合ヲヤツテ、サウシテ酒、砂糖、味噌ト云フヤウナモノヲ受取ル、旅館料理屋ノ大キナ所ヘハヤラナイデ、己レガ澤山取ツテ、而モ此ノ組合ハ任意組合デアルケレドモ、此ノ組合ニ入ラナケレバ配給ハイカヌゾト稱シテ、毎月甲ハ三十圓、乙ハ二十圓、丙ト云フ第三級ハ十圓、月ニ一万圓取ツテ年ニ十二万圓ト云フ金ヲ取ル、其ノ金ヲ何處ニ使ツテ居ルカ、調べテ御覽ナサイ、洵ニドウモ不都合千萬ナ話デアル、是ダケ申上ゲテ置キマスガ、傷痕軍人ヲダシニ使ツテ、一回ニ付テ千圓以上モ使ツテ居ル、是ハ奈良縣ダケヂヤアリマセヌ、傷痕軍人ヲダシニ使ツテ、藝者ヲ連レテ傷痕軍人慰問ナリト稱シテ、毎月一万圓ヅツ金ヲ集メテ其ノ一部ヲ役員ガ使ツテ居ル、是ハ奈良縣ダケヂヤアリマセヌ、全國ニ任意組合ノ惡口ヲ言フ人ハ澤山アリマス、ソコニ總動員法ノ十八條ノ今度ノ改正法案ヲ讀ンデ見マスト、是ハ公認組合ニハ當缺リマスガ、斯ウ云フ任意組合ノ役員ガ業務上不正ノ利益ヲ得ル目的ヲ以テ配給スルコトヲ罰スル規定ハゴザイマセヌ、刑法ニモナケレバ何處ニモナイ、配給ヲ貰ツタラ配給ダケノ金ヲ拂ツテ居ルノデアリマスウ云フ事實ガアレバドウシテ御防ギニナリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ、是ハ奈良縣ダケヂヤナイ、到ル處ニアリマス任意組合ノ役員ガ業務上不正ノ利益ヲ得ル目的ヲ以テ配給ヲ私スル、配給ヲ澤山取ル、酒ノ例ヲ以テ申シマスト、今マデ酒三十本位配給ヲ受ケテ居ツタ者ガ、任意組合ノ役員ニナツ

テ一遍ニ九十本位取ル、百本モ取ル、サウシテ商賈繁昌スル、時ニ依レバソレヲ分ケテヤル、非常ニ不都合デアル、サウ云フ者三十圓、乙ハ二十圓、丙ト云フ第三級ハ十圓、月ニ一万圓取ツテ年ニ十二万圓ト云フ者覽ナサイ、必ズアリマスマイ、之ヲ如何ニナサイマスルカ、斯ウ云フ場合ニ罰スル法律ガナイ、而モ是ハ此ノ時局ニハ一番惡イ、此ノ點御意見ヲ伺ヒマス○北浦委員 只今ノ御尋ネノ點デゴザイマスガ、具體的ナ事實ガドウデゴザイマスカ、私今具體的ニ分リマセヌケレドモ……○北浦委員 具體的ナ事實ハ今申上ゲタ通りデス○北浦委員 具體的ナ事實ハ今申上ゲタ通りシテハ更ニ調べモシナケレバナラスト思ヒマスガ、現在ノ刑罰法規ノ下ニ於キマシテハ背任トカ或ハ詐欺ト云フ風ナ犯罪ノ成立スル餘地ガアルノデハナカラウカ、兎ニモ角ニモ此ノ戰時刑事特別法案ハ、度々申上ゲマシタ通りニ戰時下ニ於キマスル治安確定ニ加ヘマセヌ行爲ニ付キマシテハ、現在保ノ爲ニ最小限度ノギリ／＼結着ノ規定ヲ設ケタ次第ゴザイマシテ、此ノ刑罰ノ規定ニ加ヘマセヌ行爲ニ付キマシテハ、現在ノ色々ナ刑罰法規ヲ活用スルコトニ依ツテ、戰時下ニ於キマスル治安ノ確保ニ支障ナキコトヲ期スルコトガ出來ル、斯様ニ考

モウ一遍申シマセウ、任意組合ノ賄組合ヲ組織シタ、名前モ其ノ通リデス、大阪ニモ起ツテ居リマス、賄組合ト云フ任意組合ヲ作ツテ、是ハ旅館、料理屋、飯屋ト云フモノニ關係シテ居ルノデスガ、奈良縣ハ遊覽都市デスカラ斯ウ云フ業者ハ非常ニ多イノデス、サウ云フモノノ上ニ賄組合ト云フ任意組合ヲ作りマシテ、ソレカラ酒トカ、味噌トカ、砂糖ト云フモノヲ、其ノ賄組合ヲ一遍通シテ其ノ旅館や料理屋等ニ配給ヲ致シマス、ソコデ此ノ組合ノ幹部共ハ一級二級三級ト旅館や料理屋等ヲ分ケテ、一級カラ八月ニ三十圓ヅツ取ル、之ヲ出サナケレバ物ヲ配給シナイ、二級ハ二十圓、三級ハ十圓出サセル、是ガ月ニ一万圓デ年ニ十二万圓集マルノデアリマス、業者ハ酒ヲ貰ハナケレバイカヌ、砂糖モ貰ハナケレバイカスト云フノデ、仕方ガナイカラソレヲ拂ツテ居リマス、今ソレニ付テ奈良縣デ非常ニ揉ンデ居リマス、サウシテ其ノ役員共ハ此ノ間マデハ餽餉屋トカ齋麥屋トカ云フヤウナ小サナ店ヲヤツテ居タ人達デアルガ、ソレ等ガ發起シタノデ、其ノ賄組合ノ役員ニナツテ居ル、是等ノ役員ハ從來ハ酒ナラ十本カ二十本シカ貰ツテ居タ人カツタノニ、今日ハ役員ノ地位ヲ利用シテ九十本モ百本モ配給ヲ受ケテ居ル、勿論は金ヲ拂ツテ居リマス、サウシテ從來立派ニ澤山ノ實績ノアツタ人ニハ餘リヤラヌデ、自分ガ餘計取ツテナキコトヲ期スルコトガ出來ル、斯様ニ考

テ、其ノ金ヲドウ云フ所ヘ使ツテ居ルカト云フコトヲ調べテ御覽ナサイ、其ノ點ニ付テ不都合ガアレバ横領モ成立致シマセウガ、任意組合ノ役員トナツテ配給ヲ餘計貰テモ、之ヲ罰スル法律ハナイ、背任罪ニモナリマセヌ、第二百四十七條デアツタカト思ヒマスガ、「他人ノ爲メ其事務ヲ處理スル者自己若クハ第三者ノ利益ヲ圖リ又ハ本人ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ」云々トアリマスガ、是ハ法人デモ何デモアリマセヌカラ、ドウシテモ背任罪ニハナラナイ、法人ノ事務ヲ處理スルモノハ背任罪デヤレマスガ、モナリマセヌ、大阪ノ賄組合ヲ奈良縣ハ眞似シテ居ルノデアリマスガ、大阪デモ何處デモ調べテ御覽ナサイ、斯ウ云フコトハ皆大ナリ小ナリヤツテ居ル、サウ云フ只今政府ノ御答辯ニ依リマスト、最少限度マデ規定シテ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ中々多イシ、其ノ犯情ノ憎ムベキコトハ、今ハ國家ハ非常時局ダ、此ノ物資ノ足ラナニ時ニ、彼此レ言フ奴ニハ配給ヲヤラヌト言ツテ居ル、ソコマデハ宜シイ、ソレナラ己ガ澤山取ルト云フ理由が何處ニアルカ、是ハ奈良縣ノタツタ一ツシカナイ新聞ニモ出マシタシ、經濟部長ナドモ非常ニ心配シテ反對シテ居ル、サウ云フヤリ方ニハ反對デアル、知事モ心配シテ居ル、併シ罰スル法律ガナイ、サウ云フノハ政府委員ノ方モ將來斯ウ云フコトハ起ルマイト云フコトデアル、是ハ能ク御取調ノ上ニ善處ヲ願ヒタコトニハ規定ガナケレバイカスト思ヒマスカラ、是ハ決シテ嘘デハアリマセス、是ハ決シテ嘘デハアリマセス

尙ホ二十圓、三十圓デ人ヲ使ツテ居ル、

司法省ノ書記以下ノコトニ付キマシテハ、
是ハ是非大藏省ニ質問シタイノデゴザイマ
シテ、午前中ニ一松委員カラモ大藏省ノ政
府委員ノオイデヲ待ツテ留保サレテ居リマ
スカラ、私モ同様ニ之ヲ留保致シマス

○池田(清)委員 委員長、今日ハ此ノ程度
デ散會ヲ願ヒマス
○野村委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會
致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマ
ス、明日ハ午前、午後打通シテヤリマス
午後四時四十一分散會

昭和十七年一月十二日印刷

昭和十七年一月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局